大阪大學總合學術博物館
年報
2014



大阪大学総合学術博物館
The Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館

年報　２０１４

はじめに

大学改革の時代に、本館もユニバーシティ・ミュージアムの原点に立ち返って館の将来像を見据え、調査研究活動をはじめ、企画展や社学連携などの活動を展開してきました。『年報』刊行にあたり、平成 26（2014）年度の主要な活動をご紹介します。

本館収蔵品で一番知られる学術標本がマチカネワニ化石でしょう。発掘 50 周年を迎えたこの年、国の登録記念物に指定され、記念事業として夏期特集展覧会「奇跡の古代鰐 マチカネワニ ―発見 50 年の軌跡―」を開催、秋には豊中市と連携して、大阪大学シンポジウム「マチカネワニ・サミット 2014」を開催しました。シンポジウムでは、国内外の研究者から、古生物研究に対するマチカネワニ化石研究の重要性と、国際的な研究体制整備の必要性が提言されています。

春の展覧会は、館員の研究成果である第 7 回特別展「漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー」、秋は世界結晶年 2014 を記念して「魅惑の美 Crystal ―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」を開催しました。また、街と大学の“記憶”をテーマに「阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクト」を企画し、廃止された阪大石橋宿舎の建物を使ったインスタレーション、パフォーマンス、建築リノベーション、音響作品、旧住人の聞き取り調査と映像化が行われ、大阪市中央公会堂で成果が公開されました。このプロジェクトは、2015 年度の春季展「待兼山少年 ―大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室―」へつながります。

他に全国大学博物館等協議会、かんさい･大学ミュージアムネットワーク、北大阪ミュージアム・ネットワークに参加し、昨年度に続いてシンポジウム「大学ミュージアムを熱く語る ―街と大学の“記憶”をめぐって―」を開催し、教育普及では「サイエンスカフェ@待兼山」、「夏の小学生科学体験教室」、湯川記念室「最先端の物理を高校生に Saturday Afternoon Physics 2014」も好評を博しました。

国立大学のなかで大阪大学は博物館設立が遅れ、発足は平成 14（2002）年でした。設立後は様々な試みを重ね、「阪大スタイル」を誇る個性的な館として社会的な評価も定着してきました。博物館を支えるのは、館員・職員の努力と博物館を愛する幅広い皆様のご理解ご支援です。大阪大学総合学術博物館は、研究活動と教育活動を基盤に、一層アクティブに交流型ミュージアムとして親しまれ、地域になくてはならない館を目指します。ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2015 年 8 月

大阪大学総合学術博物館長

橋爪 節也

目　次

1. 展覧会報告Ⅰ …… 5

大阪大学総合学術博物館 第7回特別展
漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー

・概要 …… 6
・報告（大阪大学総合学術博物館 准教授　髙橋 京子） …… 9

2. 展覧会報告Ⅱ …… 15

マチカネワニ化石発見50周年記念事業
大阪大学総合学術博物館 2014年夏期特集展覧会
奇跡の古代鰐　マチカネワニ ―発見50年の軌跡―

・概要 …… 16
・報告（大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員　伊藤 謙） …… 19

3. 展覧会報告Ⅲ …… 23

世界結晶年2014 (International Year of Crystallography 2014) 記念
大阪大学総合学術博物館 第18回企画展
魅惑の美 Crystal ―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―

・概要 …… 24
・報告（大阪大学総合学術博物館 准教授　豊田 二郎） …… 29

4. 博物館事業 実施報告

・マチカネワニ化石発見50周年記念事業
　大阪大学シンポジウム「マチカネワニ・サミット2014」 …… 35
・阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクト …… 36
・大学ミュージアムを熱く語る ―街と大学の“記憶”をめぐって― …… 38
・阪大生がつくった展覧会2014 ベスト …… 40

5. サイエンスカフェ@待兼山 …… 41

・2014年度（カフェ No.117 ～ 126） …… 41

6. 夏の小学生科学体験教室 …… 44

・授業内容 …… 45

7. 専任教員活動報告 …… 47

総合学術博物館 研究・教育部

・資料基礎研究系　准 教 授　髙橋　京子 …… 48
　特任助教(常勤)　髙浦佳代子 …… 51
・資料先端研究系　教　　授　上田　貴洋 …… 52
　准 教 授　豊田　二郎 …… 54
　准 教 授　宮久保圭祐 …… 55
・資料先端研究系　教　　授　橋爪　節也 …… 56
　助　　教　横田　　洋 …… 62

総合学術博物館 資料部

　特任講師(常勤)　松永　和浩 …… 63

8. 資料 …… 65

・2014年度の主な活動一覧 …… 66
・入館者数及びアンケート集計結果一覧 …… 70
・団体見学一覧 …… 80
・受賞・表彰等一覧 …… 82
・関連記事一覧 …… 84
・寄贈図書一覧 …… 88
・館内配置図 …… 91

1. 展覧会報告Ⅰ

大阪大学総合学術博物館 第７回特別展

漢方今昔物語

ー生薬国産化のキーテクノロジーー

概　要

大阪大学総合学術博物館 第 7 回特別展「漢方今昔物語:生薬国産化のキーテクノロジー」を 2014 年 4 月 26 日（土）から 7 月 19 日（土）の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館および大阪大学会館において開催した。

江戸幕府による享保改革期の薬草政策の一端を担った史跡・森野旧薬園の歴史検証から最新の薬･理･農学の共創的連携研究を高知県立牧野植物園と共催して紹介した。260 年間、門外不出の家宝 森野初代藤助賽郭真写「松山本草」の全カラー映像公開や牧野富太郎博士の貴重標本資料の展示も行った。本展覧会の期間中の来場者は、5,423 名と好評であった。

大阪大学総合学術博物館 第 7 回特別展

テーマ：「漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー」
期　間：2014 年 4 月 26 日(土) ～ 2014 年 7 月 19 日(土)
会　場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム
　　大阪大学会館 3 階歴史展示室
主　催：大阪大学総合学術博物館
共　催：森野旧薬園、高知県立牧野植物園
協　力：農研機構 九州沖縄農業研究センター、(株) 栃本天海堂、小太郎漢方製薬 (株)、
　　奈良県、パナソニック(株)、大阪大学大学院薬学研究科、
　　兵庫県立人と自然の博物館、大阪大学 21 世紀懐徳堂・大阪大学適塾記念センター
入館者数：5,423 人

学術シンポジウム「医・薬・理・農学の共創的連携：22 世紀の薬草政策につなぐ今」
　6 月 7 日(土)　会場：大阪大学会館 講堂　来場者：219 人
　　シンポジスト：小山 鐵夫 氏 (高知県立牧野植物園 名誉園長)
　　合田 幸広 氏 (国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長)
　　三谷 和男 氏 (奈良県立医科大学大和医学薬学研究センター 特任教授)
　　後藤 一寿 氏 (農研機構 中央農業総合研究センター 主任研究員)
　　姜　 東孝 氏 ((株) 栃本天海堂 副社長)
　　髙橋 京子 (大阪大学総合学術博物館 准教授)

ミュージアム・レクチャー
　第 61 回　5 月 10 日(土)「森野旧薬園と松山本草：薬草のタイムカプセル」
　　来場者数：72 人
　　髙橋 京子 (大阪大学総合学術博物館)
　第 62 回　5 月 31 日(土)「植物園の歴史をひも解く：薬草研究から植物学へ」
　　来場者数：94 人
　　田中 伸幸 氏 (高知県立牧野植物園)
　第 63 回　7 月 12 日(土)「大和産生薬を守れ：栽培指導者の育成」来場者数：90 人
　　辻元 康人 氏 (奈良県医療政策部 薬務課)

ワークショップ
　5 月 17 日(土)「450 年の伝統を今に伝える～吉野本葛」参加者数：25 人
　　株式会社 森野吉野葛本舗　森野智至氏
　6 月 14 日(土)「漢方をよりよく、より多くの人に」参加者数：25 人
　　小太郎漢方製薬 株式会社　近藤誠三氏
　7 月 19 日(土)「生薬に一意専心～五感でみる生薬の品質」参加者数：26 人
　　株式会社 栃本天海堂　宮嶋雅也氏


森野旧薬園






大阪大学薬学部生薬資料室（昭和期）






高知県立牧野植物園

大阪大学総合学術博物館 第7回特別展

漢方今昔物語

生薬国産化のキーテクノロジー


●ミャンマー産チクセツニンジン属標本

2014年 4月26日[土] → 7月19日[土]

開館時間　10：30～17：00（日・祝休館、ただし4月27日（日）、5月3日（土・祝）は開館）
開催場所　大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館、大阪大学会館
※大阪大学会館は平日のみ開館

入場無料

学術シンポジウム

「医・薬・理・農学の共創的連携：22世紀の薬草改革につなぐ今」
6月7日（土）　13：00～17：30　会場：大阪大学会館 講堂

ミュージアムレクチャー

5月10日（土）/ 5月31日（土）/ 7月12日（土）

ワークショップ（要事前申込）

5月17日（土）/ 6月14日（土）/ 7月19日（土）

主催：大阪大学総合学術博物館
共催：森野旧薬園、高知県立牧野植物園
協力：農研機構 九州沖縄農業研究センター、（株）栃本天海堂、
小太郎漢方製薬（株）、奈良県、パナソニック（株）、
大阪大学大学院薬学研究科、兵庫県立人と自然の博物館、
大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学適塾記念センター


●松山本草図譜

MOU Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館
〒560-0043　大阪府豊中市待兼山町1-20　Tel.06-6850-6284
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/
阪急宝塚線「石橋駅」下車　徒歩10分　※公共交通機関をご利用ください。

大阪大学総合学術博物館 第7回特別展

漢方今昔物語

生薬国産化のキーテクノロジー

江戸幕府の薬草政策の一端を担った史跡・森野旧薬園の温故知新の示唆から22世紀の薬草政策につなぐ最新の薬・理・農学による共創的連携研究を紹介する。薬食同源を謳い、自然環境保全や生薬の安全・有効性を担保できる品質に関する国際連携を強め、生薬を国内で確保・供給できるシステムの実用化を目指す。260年間、門外不出の森野藤助賽郭真写「松山本草」の全カラー映像の初公開や日本の植物分類学の父・牧野富太郎博士の貴重標本資料を展示する。



【展示構成】

第1章　温故知新：森野旧薬園と江戸・享保期の薬種国産化
- 第1部　享保期に発展した本草学の特質
- 第2部　森野藤助賽郭と松山本草の世界

第2章　生薬栽培の伝統：博物学/植物学から学ぶ生物多様性の原点と実践
- 第1部　薬草のタイムカプセル：国産生薬のルーツ
- 第2部　博物館/植物園の機能

第3章　22世紀の薬草政策：文理融合研究が創る実践力
- 第1部　アクションリサーチ：漢方産業を知る
- 第2部　マテリアルサイエンス：臨床生薬学
- 第3部　資源植物学：植物の恵みを資源に変えて

終　章　日本の植物研究〜本草から植物学へ



●市場で売られる生姜（ミャンマー）



●ソロモン産カギカズラ標本

学術シンポジウム

医・薬・理・農学の共創的連携：22世紀の薬草政策につなぐ今

●日時：2014年6月7日（土）13：00〜17：30　30分前より受付開始（当日先着順　定員：200名）

●会場：大阪大学会館 講堂　〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13（豊中キャンパス内）

●シンポジスト

◆高知県立牧野植物園 名誉園長	小山鐵夫（理学）
◆国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長	合田幸広（薬学）
◆奈良県立医科大学大和医学薬学センター 特任教授	三谷和男（医学）
◆農研機構 九州沖縄農業研究センター 主任研究員	後藤一寿（農学）
◆（株）栃本天海堂 副社長	姜　東孝（薬学）
◆大阪大学総合学術博物館 准教授	髙橋京子（薬学）



●メルク社製生薬標本資料

ミュージアムレクチャー　（会場：待兼山修学館3階セミナー室　定員：60名）

●いずれも14：00〜15：30　聴講自由、30分前より受付開始（当日先着順）

第61回 5月10日（土）「森野旧薬園と松山本草：薬草のタイムカプセル」
髙橋京子 大阪大学総合学術博物館

第62回 5月31日（土）「植物園の歴史をひも解く：薬草研究から植物学へ」
田中伸幸 高知県立牧野植物園

第63回 7月12日（土）「大和産生薬を守れ：栽培指導者の育成」
辻元康人 奈良県医療政策部 薬務課



●松山本草（森野旧薬園所蔵）

ワークショップ　（会場：待兼山修学館3階セミナー室　定員：30名）

●いずれも14：00〜15：30　要事前申込

5月17日（土）「450年の伝統を今に伝える〜吉野本葛」　株式会社 森野吉野葛本舗
■申込期間：4月17日〜4月30日（必着）

6月14日（土）「漢方をよりよく、より多くの人に」　小太郎漢方製薬 株式会社
■申込期間：5月14日〜5月27日（必着）

7月19日（土）「生薬に一意専心〜五感でみる生薬の品質」　株式会社 栃本天海堂
■申込期間：6月19日〜7月2日（必着）

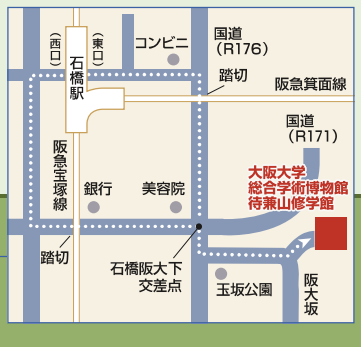
申込方法

1名につき1枚の往復はがきで、タイトル（複数不可）・住所・氏名・電話番号・年齢を記入し、返信はがきの表に住所・氏名を明記のうえ、下記「申込先」宛にご応募ください。（ただし、ご家族での応募に限り複数名での応募が可能です。全員分の氏名・年齢をご記載ください）後日、当否の結果をはがきでお知らせいたします。

■申込先：〒560-0043 豊中市待兼山町1-13（大阪大学会館4階）　大阪大学総合学術博物館

交通のご案内

阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩10分。
※公共交通機関をご利用ください。



大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館
〒560-0043　大阪府豊中市待兼山町1-20　Tel.06-6850-6284
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

報　告

大阪大学総合学術博物館 第 7 回特別展

「漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー」

大阪大学総合学術博物館

准教授　髙橋 京子

1.　本展開催の経緯

漢方薬原料の生薬基原種は大半を野生植物に依存しているため、自然破壊や植物資源ナショナリズム(原産国による植物資源独占政策)の影響は甚大で、資源小国・日本における漢方薬産業の未来は厳しい。原料生薬の維持と安定供給を志向して、生薬国産化に大きな期待が寄せられている。

史蹟・森野旧薬園(奈良県宇陀市)は、現存する日本最古の私立植物園で、1729 年に森野初代藤助通貞賽郭(：賽郭)により創始された。江戸享保期、八代将軍徳川吉宗が推進した薬種国産化政策は、自国の植物資源から代替種を見出し栽培へとつなげ、高品質生薬を開発するなど産業化の原動力が得られた事例とされる。賽郭は幕府採薬使が実施した多くの薬草調査に協力した功により貴重な外国産薬用種の種苗や種を下賜され、自宅薬園で育成・栽培化に尽力した。本草学/博物学の研鑽に努め、その成果は手稿真写「松山本草」に結実する。薬園は数百年の時を経てなお、大和の地に旧態を残す。

本展では、森野旧薬園の“温故知新”による示唆から、22 世紀の薬草政策につなぐ最新の医薬学・理学・農学による共創的連携研究を紹介した。それは、薬食同源を謳い、自然環境保全や生薬の安全・有効性を担保できる品質に関する国際連携を強め、生薬を国内で確保・供給できるシステムの実用化を目指すものである。植物資源国への支援を実践する高知県立牧野植物園や、六次産業化モデルを提唱する農研機構・九州沖縄農業研究センターとの学際的連携研究が、新たな視点からの生薬国産化のキーテクノロジーの構築を可能にする。

2.　特別展の構成

特別展のテーマを「漢方今昔物語」とした意図は、260 年の時空を超えてなお展開する生薬国産化政策及び活動の普遍的共通性をビジュアル化することで、現在直面する課題克服の方向性を提案できると考えたからである。260 年間門外不出の森野藤助通貞賽郭真写「松山本草」の全カラー映像の初公開や日本植物分類学の父・牧野富太郎博士の貴重標本資料を展示した。その構成内容は、テー



第 1 章 温故知新：森野旧薬園と江戸・享保期の薬種国産化
第 1 部 享保期に発展した本草学の特質

マに即して 4 章に分け、1～3 章は総合学術博物館修学館展示場、終章は大阪大学会館歴史展示室で行った。1～3 章は回遊式としながら、過去と現在の類似性について、互いに行き来できるように通路を設け、温故知新を体感できるようデザインした。特に、最新研究をわかりやすく発信するため、オムニバスで作製したブルーレイ映像を放映した。



第 1 章 温故知新：森野旧薬園と江戸・享保期の薬種国産化
第 2 部 森野藤助賽郭と松山本草の世界

第 1 章　温故知新：森野旧薬園と江戸・享保期の薬種国産化
　　第 1 部　　享保期に発展した本草学の特質
　　第 2 部　　森野藤助賽郭と松山本草の世界
第 2 章　生薬栽培の伝統：博物学/植物学から学ぶ生物多様性の原点と実践
　　第 1 部　　薬草のタイムカプセル：国産生薬のルーツ
　　第 2 部　　博物館/植物園の機能
第 3 章　22 世紀の薬草政策：文理融合研究が創る実践力
　　第 1 部　　アクションリサーチ：漢方産業を知る
　　第 2 部　　マテリアルサイエンス：臨床生薬学
　　第 3 部　　資源植物学：植物の恵みを資源に変えて
終章　　日本の植物研究～本草から植物学へ

ブルーレイ映像放映「漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー（約 10 分）」

- イントロダクション（1 分）
- 温故知新：大和芍薬（3 分）
- 暗黙知～採薬篤農技術～の継承（3 分）
- 植物多様性が支える漢方産業の未来・資源植物学（3 分）

3. 展示の特色

第 1 章「温故知新：森野旧薬園と江戸・享保期の薬種国産化」では、第 1 部において、享保改革期に発展した本草学の特質について、森野旧薬園が薬種国産化政策と密な関係にあったことを、当時の関係者直筆の書簡・日誌・公文書写し等の森野家文書で裏付けた。森野家 10 代目の初代藤助である賽郭以来、子孫代々藤助を名乗り、450 年続く吉野葛製造を家業としてきた。その伝統を今に伝える実体物として、古石コレクション(甲乙 2 箱)、五代藤助繁通桂叢編纂の「草木葉譜・2 巻」、吉野本葛の原料葛根及び自然製法(水飛法)の葛粉を展示した。草木葉譜は桂叢が初代以降の歴代藤助により保存されていた 200 年以上前の腊葉標本で、本草学者・山本錫夫・榕室の選と添削の痕跡がある。本品は当時の植物研究

を可能にする文化財で、今回初めて森野家以外での展示が実現した。

特筆すべきは、森野家が 260 年以上、門外不出として守り伝えてきた「松山本草：10 巻」を初めて全巻フルカラーで iPad をツールにして公開したことで、第 2 部(森野藤助賽郭と松山本草の世界)として展開した。賽郭は本草学の研鑽を積みながら、栽培者の観察力で薬園内の植物を写生した精緻な原色植物画を描いている。植物学分類学的検証に値する植物描写として当時、栽培・生息した植物の姿を伝える資料であり、大和の自然環境を知るタイムカプセルである。賽郭から始まる薬種国産化の意思は、伝統殖産として確立された暗黙知である。賽郭に由来する藤助防風並びに国産生薬のルーツ・大和当帰を栽培技術の確立例として、松山本草図や生薬標本類を用いて解説した。また、地下部が薬用部位となる植物の様態を樹脂包埋物で可視化した。



第 2 章　生薬栽培の伝統：博物学/植物学から学ぶ生物多様性の原点と実践
第 1 部　薬草のタイムカプセル：国産生薬のルーツ

第 2 章では、生薬栽培の伝統を博物学/植物学から学ぶ生物多様性の原点と実践のもと、高知県立牧野植物園所蔵の多様な植物の腊葉標本並びに大阪大学所蔵の生薬標本から構成した。植物園は世界中の植物の戸籍調査を使命とする植物のインベントリー研究の拠点である。高知県立牧野植物園は、日本の植物分類学の父と称される牧野富太郎博士を顕彰するために 1958 年に設立され、1999 年以降、国内外で有用資源植物研究事業を展開している。これら大学博物館・植物園に蓄積された膨大な学術標本や生殖質、フィールドワーク記録、篤農技術に関する知識の蓄積は問題解決策を探る基盤となる。特に腊葉標本は植物の生存時の情報を得るツールであり遺伝子資源・証拠標本である。また、森野家の接点について牧野博士が愛したバイカオウレンの樹脂標本と共に紹介した。

一方、1900 年前半に蒐集された国内外の製薬企業や研究所製の生薬標本類(大阪大所蔵)は、実地医療で品質が担保された証拠物で、今回イーライリリー社製標本(216 点)を紹介した。当時最新の医薬品かつ医薬学教育の教材であり、過去の医療文化財研究(正倉院薬物他)では、基原が明確な比較資料として活用された。


第 3 章　22 世紀の薬草政策：文理融合研究が創る実践力
第 1 部　アクションリサーチ：漢方産業を知る

第 3 章の 22 世紀の薬草政策：文理融合研究が創る実践力は 3 部構成とした。第 1 部(アクションリサーチ：漢方産業を知る)は農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター及び九州沖縄

農業研究センターが展開する品種育成から産業化までを紫サツマイモ、ダイズやハトムギの新品種並びに加工品・商品を用い解説した。特にハトムギとヨクイニンは医薬品と食品を並べて展示することで薬食同源を体感し、薬用作物を用いた六次産業化モデルの提唱を試みた。篤農技術の継承を目的としたウェアラブルカメラの活用による知の映像化の最新研究をマネキンに装着した機種とブルーレイ映像にて紹介した。


第 3 章 22 世紀の薬草政策：文理融合研究が創る実践力
第 3 部資源植物学：植物の恵みを資源に変えて

第 2 部(マテリアルサイエンス：臨床生薬学)では、生薬国産化にむけての有用品種探索に無機物の網羅的分析法(メタロミクス)を導入した芍薬の品質評価を紹介した。大和芍薬同様の品質で商品性が高い栽培奨励種の提案を目的とする。実地臨床で使用される日本薬局方品である生薬類、調剤用の百味箪笥ごと展示に供することで、漢方調剤を来館者がイメージできる演出とした。

第 3 部(資源植物学：植物の恵みを資源に変えて)は、前述の高知県立牧野植物園からの提案である。本園は 2003 年以降、文部科学省から研究機関指定を受け、ミャンマーやソロモン諸島国、中国、タイ、北米の植物園と研究協力関係を樹立し、植物多様性研究の拠点として現在に至る独自の活動を展開している。その成果の一端を、植物多様性ホットスポットに生息する植物調査をフィールドノートや熱帯に生息する植物の姿を iPad で閲覧できるコーナーを設けた。ミャンマー産チョウセンニンジン類縁種の評価や東アジア・北米隔離分布を開設し、理学領域から見る生薬基原種多様化研究を紹介した。

終章・歴史展示室でのエピローグには、本草から植物学へと進化した日本の植物研究の歴史において牧野博士が果たした役割を、牧野文庫の貴重書、フィールドでの標本採集道具、自筆の植物画(ボタニカルイラストレーション)、兵庫県氷ノ山での植物採集映像記録と共にたどった。


終章 日本の植物研究～本草から植物学へ（大阪大学会館 歴史展示室）

本特別展の関連イベントとしては、ミュージアム・レクチャーを計 3 回、次の通り開催した。5 月 10 日に特別展企画の髙橋による「森野旧薬園と松山本草：薬草のタイムカプセル」、5 月 31 日に田中伸幸氏(高知県立牧野植物園)による「植物園の歴史をひも解く：薬草研究から植物学へ」、7 月 12 日に辻元康人氏(奈良県医

療政策部 薬務課)による「大和産生薬を守れ：栽培指導者の育成」を実施した。講演後、展示物の示説に時間を設け、会毎に盛況であった。

また、ワークショップでは共催及び協力機関の全面協力を賜った。5 月 17 日の「450 年の伝統を今に伝える～吉野本葛」において、森野家当主 (株)森野吉野葛本舗社長・森野智至氏による伝統技術に基づく吉野葛粉製造解説や国産原料に対する理念と入手の苦労などの説明をうけ、続いて森野旧薬園顧問・森野燾子氏が持参されたゴマ豆腐や葛湯の調理実演から吉野葛の伝統の味を堪能した。6 月 14 日は、小太郎漢方製薬(株)・近藤誠三氏による「漢方をよりよく、より多くの人に」から、現代医療における漢方薬製剤の歴史と役割を伺った。7 月 19 日には、(株)栃本天海堂・宮嶋雅也氏による「生薬に一意専心～五感でみる生薬の品質」と題し、持参された生薬類の香りや質感・味を体感しながら、天産物でかつ医薬品である生薬品質の重要性について理解を深めた。

特筆すべきは、6 月 7 日の学術シンポジウムである。収益性と生態持続性を満足する資源植物栽培には、新品種薬種の栽培型開発に活用できる潜在的資源植物の多様化を意図せねばならない。自然環境保全や生薬の安全性・有効性を担保できる品質の標準化には、国際連携を強め、生薬を国内で確保・供給できるシステムの実用化が求められる。従来の医薬学、理学、農学による相互接点が欠落している非現実的な縦割り研究から脱却した共創的連携こそが、国産薬種殖産の鍵になる。そこで、米国ニューヨーク市立大学大学院教授でニューヨーク植物園のアジア部長を務め、牧野博士の直弟子であった植物分類学者で、高知県立牧野植物園名誉園長・小山鐵夫氏と共に、「医・薬・理・農学の共創的連携：22 世紀の薬草政策につなぐ今」企画した。各シンポジスト、合田幸広氏(国立医薬品食品衛生研究所)、三谷和男氏(奈良県医大・大和医学薬学研究センター)、後藤一寿氏(農研機構 中央農業総合研究センター)、姜東孝氏(栃本天海堂)のご専門は医・薬・理・農学と異なるが、漢方医学・漢方薬の意義とその重要性を深く理解し、日本の未来医療に欠くべからざる医薬品として継続的活用を切望している。専門性が高く 4 時間以上の講演・討論にもかかわらず、200 人以上の来場者とともに、活発な質疑応答が繰り広げられた。江戸幕府による享保改革期の薬草政策の一端を担った史跡・森野旧薬園の歴史検証から最新の薬・理・農学の共創的連携研究の実践をめざすプラットフォームの一助を担う展覧会・学術シンポジウムであったと総括したい。

2. 展覧会報告Ⅱ

マチカネワニ化石発見 50 周年記念事業
大阪大学総合学術博物館 2014 年夏期特集展覧会

奇跡の古代鰐 マチカネワニ

― 発見 50 年の軌跡 ―

概　要

大阪大学総合学術博物館 2014 年夏期特集展覧会「奇跡の古代鰐 マチカネワニ ー発見 50 年の軌跡ー」を 2014 年 7 月 26 日(土)から 8 月 30 日(土)の間、大阪大学総合学術博物館待兼山修学館において開催した。

本展覧会は 2014 年 10 月 6 日に国の登録記念物となった本館所蔵のマチカネワニ化石の発見 50 周年を記念するもので、昨年度に続き春期・秋期の展覧会の間を埋める特集展示でもある。マチカネワニ化石の発見の経緯やこれまでの研究を紹介するだけでなく、復元画や復元模型、アート作品も展示することでマチカネワニに対する知的好奇心を満たしてもらえることを目指した。本展覧会の期間中の来場者は、3,757 名と好評であった。

マチカネワニ化石発見 50 周年記念事業

大阪大学総合学術博物館 2014 年夏期特集展覧会

テーマ：「奇跡の古代鰐 マチカネワニ ー発見 50 年の軌跡ー」

期　間：2014 年 7 月 26 日(土) ～ 2014 年 8 月 30 日(土)

会　場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

主　催：大阪大学総合学術博物館

共　催：豊中市・豊中市教育委員会

協　力：北海道大学総合博物館、京都造形芸術大学、兵庫県立大学自然・環境科学研究所、
早稲田大学、大阪 ECO 動物海洋専門学校、大阪市立自然史博物館、
きしわだ自然資料館、兵庫県立人と自然の博物館、和歌山県立自然博物館、
島根県立三瓶自然館、栃木県立博物館、北九州市立自然史歴史博物館、
近畿地学会、益富地学会館、パナソニック(株)、海洋堂(株)、大成モナック(株)、
大阪大学 21 世紀懐徳堂

入館者数：3,757 人

ワークショップ

8 月 2 日(土)「ガチンコ化石調査体験！ マチカネワニがいた時代の化石を発見しよう！！」
参加者数：19 人

渡辺 克典（きしわだ自然資料館）

8 月 9 日(土)「世界に一つだけのマチカネワニを作ろう！」参加者数：18 人

古田 悟郎 氏（株式会社 海洋堂）

8 月 22 日(土)「レゴブロックでワニを作ろう」参加者数：17 人

大阪大学レゴ部一同



奇跡の古代鰐 マチカネワニ

発見50年の軌跡

マチカネワニ化石発見50周年記念事業
大阪大学総合学術博物館　2014年夏期特集展覧会

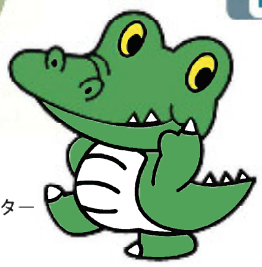
2014年7月26日(土)
～8月30日(土)
日曜・祝日は休館

開館時間　10時30分～17時

入場無料

会場　大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館
〒560-0043
大阪府豊中市待兼山町1-20
電話06-6850-6284

マチカネワニも
おまちかね！



大阪大学
公式マスコットキャラクター
「ワニ博士」



主　催　大阪大学総合学術博物館
共　催　豊中市・豊中市教育委員会
協　力　北海道大学総合博物館、京都造形芸術大学、兵庫県立大学自然・環境科学研究所、
早稲田大学、大阪ECO動物海洋専門学校、大阪市立自然史博物館、きしわだ自然資料館、
兵庫県立人と自然の博物館、和歌山県立自然博物館、島根県立三瓶自然館、栃木県立博物館、
北九州市立自然史歴史博物館、近畿地学会、益富地学会館、パナソニック㈱、
海洋堂㈱、大成モナック㈱、大阪大学21世紀懐徳堂

奇跡の古代マチカネワニ

発見50年の軌跡

本館所蔵マチカネワニ化石は、2014年5月3日で発見50周年を迎えた。その発見の経緯や研究の歴史・最新のマチカネワニ化石研究を紹介し、その関連化石群を展示する。マチカネワニのイメージを膨らませるしかけとして、古生物イラストレーターによる復元画、恐竜復元モデルの制作などで世界的に著名な、海洋堂(株)による復元模型、京都造形芸術大学の教員や学生によるマチカネワニ・アート作品、そして本学学生が制作したレゴ®ブロック製のマチカネワニを展示する。さらに発見者やマチカネワニの発掘・命名・学術研究に携わった歴代研究者の生の声をＶＴＲで紹介する。

▼ゾーン１
マチカネワニの発見と研究史
*Tomistoma machikanense*から
*Toyotamaphimeia machikanensis*への研究の変遷



▼ゾーン２
マチカネワニの兄弟たち
日本で産出したワニ化石を一堂に展示

▼ゾーン３
マチカネワニ研究者の肉声
マチカネワニ研究者へのインタビューをＶＴＲで放映

▼ゾーン４
マチカネワニ・復元からアートへ
学術情報に基づく復元画・復元模型
京都造形大の教員・学生によるアート作品
大阪大学の学生によるレゴ®ブロック製ワニの展示









ワークショップ

▼「ガチンコ化石調査体験！マチカネワニがいた時代の化石を発見しよう！！』
講師：渡辺克典（きしわだ自然資料館）
8月2日（土）11時～12時30分

▼「世界に一つだけのマチカネワニを作ろう！」
講師：古田悟郎（株式会社　海洋堂）
8月9日（土）11時～12時30分

▼「レゴブロックでワニを作ろう」
講師：大阪大学レゴ部一同
8月22日（金）11時～12時30分

会　　場　大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館３階セミナー室

対　　象　小学校4年生～中学生（豊中市在住者を優先）
※小学生は必ず保護者同伴のこと

申込方法　住所・氏名・学年・電話番号・希望するワークショップ名を明記の上、往復はがきにてお申し込み下さい。
（返信はがきの表に、住所・氏名も明記ください。）
往復はがき1通につき、１つのワークショップのみ有効です（多数併記は無効とします）。

（各回・定員20名）、参加費無料
※応募多数の場合は抽選

宛　　先　〒561-8501大阪府豊中市中桜塚３－１－１
豊中市人権文化部文化芸術室宛

申込期間　平成26年7月1日～7月14日（消印有効）

申込みについてのお問い合わせ　06-6858-2503



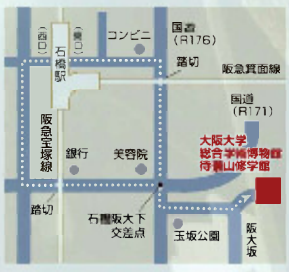
▲ illustration by 川崎 悟司

展示解説

▼館員によるミュージアムトーク
期間中の毎週土曜日に実施（14時から30分）、申込不要



▲ producted by 古田 悟郎



交通のご案内
阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分
※公共機関をご利用ください。

大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館
〒560-0043大阪府豊中市待兼山町1-20
電話06-6850-6284

Designed by DOI AYAKA

報　告

大阪大学総合学術博物館 2014 年夏期特集展覧会
「奇跡の古代鰐　マチカネワニ ー発見 50 年の軌跡ー」

大阪大学総合学術博物館
研究支援推進員　伊藤　謙

本館所蔵マチカネワニ化石は、2014 年 5 月 3 日で発見 50 周年を迎えた。本化石は、日本の古脊椎動物学の歴史上もっとも重要な学術標本の一つであり、またワニ類の進化を解明する研究においても不可欠なタイプ標本として世界から注目されており、2014 年 10 月に国の登録記念物として登録された。その発見の経緯や、*Tomistoma machikanense* から *Toyotamaphimeia machikanensis* へと学名が変遷してきたことを軸にした研究の歴史について詳しく解説する特集展を実施した。さらに本館主導で行われた最新のマチカネワニ化石研究と現在進行中のプロジェクトの一部、他の研究機関にも拡がる研究の一端を紹介し、再発見のマチカネワニ化石およびその関連化石群を展示した。マチカネワニのイメージを膨らませるしかけとして、古生物イラストレーターによる復元画、恐竜復元モデルの制作などで世界的に著名な株式会社海洋堂による復元模型、京都造形芸術大学の教員や学生によるマチカネワニ・アート作品、そして本学 2013 年度 課外研究奨励費採択プロジェクトの支援により本学学生が制作したレゴ®ブロック製のマチカネワニを併せて展示した。いずれも研究成果に基づいた作品であり、大学博物館の学術的なクオリティを堅持しつつ、来場者が楽しみながら知的好奇心を満たせる企画とするべく鋭意努力した。さらに、発見者・高村（旧姓・人見）功氏をはじめ、マチカネワニの発掘・命名・学術研究に携わった歴代研究者の生の声を VTR で紹介し、次の 50 年への記録とした。また、豊中市と連携し、本展覧会の地域住民への浸透を図った。以下に、本特集展の詳細について述べようと思う。

マチカネワニ化石発見 50 周年にあたり企画したのは、マチカネワニ発掘から研究の歴史の再確認である。実際マチカネワニ発見から 50 年を経て、いくつかの異なる通説が文書化されている事象も見受けられていた。そこで、特にマチカネワニ発見者、発掘者、そして研究者に直接聞き取り調査を行い、パネルを作成した。最初にマチカネワニ発見者の一人である、高村功氏と直接コンタクトをとることからスタートした。2 人の発見者がいるとされている文献も散見されるのだが、お話を伺っていく中で、第一発見者は高村氏であり、マチカネワニは氏が単独で発見したことがわかった。その詳細については、他の機会に公表していこうと考えている。展覧会では、氏が長年所蔵しておられたマチカネワニ発見時に使用されていた採集用具やマチカネワニ関連標本もお借りして展示することができた。さらに発掘者である千地万造氏（元大阪市立自然史博物



マチカネワニ発掘に使用された採集用具（中央）

館館長）にお会いし、直接インタビューを試みた。氏は、数年前に脳梗塞を患われ、自宅療養されていたのだが、その状況をおしてご来館下さり、マチカネワニ化石を前に当時の状況を長時間に渡り、語って下さった。加えて発掘の責任者であった本学の教員について、特に焦点をあてた。まず発掘団のリーダーであった故・小畠信夫氏（元大阪大学教養部教授）の業績である、神戸層群の植物化石の展示を行った。本学博物館化石資料中に近年存在が確認され、大阪市立自然史博物館の主任学芸員である塚腰実氏の協力を得て、小畠氏が論文に記載したことがわかった新出資料を公開した。さらにマチカネワニ化石発掘を精力的に推進した人物である、中世古幸次郎氏（元大阪大学教養部教授）の業績にもスポットをあてた。氏は、地層に含まれる微小な放散虫の化石による年代判定の研究を先駆的に行ったことで知られている。その研究により日本の地層の対比と地質年代の判定は飛躍的に進み、業績の大きさから「放散虫革命の立役者」ともよばれる。氏は油田開発や日本の高度成長における住宅などの大規模開発を支えた応用地質学の分野でも広く知られ、その研究は関西国際空港の建設にも応用された。氏が研究に用いた土壌サンプルなどを、氏に教えを受けた兵庫県立大学・佐藤裕司教授に筆跡などをご確認頂き、展示した。また氏の業績については、生前懇意にされていた京都大学総合博物館・大野照文館長に詳細を伺った。展覧会期間中は、故小畠氏のご子孫や千地氏のご家族がお越しになられるという嬉しい出来事もあり、展示を行った者の冥利に尽きるところがあった。続いて、マチカネワニ研究の歴史を主題に展示を行った。研究の歴史として、マチカネワニの最初の命名から現在の学名への変遷を解説、そして現在本館で行われているマチカネワニ研究を主導した江口太郎前館長（本館招へい教授）および北海道大学小林快次准教授（本館招へい准教授）の業績を紹介した。さらに本館が、北海道大学、兵庫県立大学などと進めるマチカネワニ再研究についても明らかになっている部分を展示した。この成果の一部分は「マチカネワニ化石産出層（大阪層群中部更新統）における堆積環境の再検討」として、日本第四紀学会 2014 年大会（柏）にて発表している。



特集展覧会 展示風景

古生物の学術標本の展示としては、ワニ類化石を一堂に展示した。昨年同様日本で産出された化石を中心にさまざまな館や大学から標本をお借りしたのだが、初公開の資料も多くあり、日本産のワニ化石がこれほど多く一堂に会した展覧会は過去に例をみないものとなり、来場した古生物学関係者からは高い評価を得ることができた。特筆すべきは、本邦初公開となる台湾産マチカネワニ類似種頭蓋化石（早稲田大学所蔵）や北海道羽幌町産後期白亜紀ワニ化石、静岡県外で初めての展示となった静岡県浜松市谷下産中期更新世ワニ化石（通称 ヤゲワニ）であろう。これらの標本は、今後の研究に期待高まる標本であり、貴重な標本を展示させて頂くことができたのは望外の喜びであった。快く標本をお貸し下さった早稲田大学・平山研究室（平山廉教授、青木良輔氏、武川愛氏）、北海道大学・小林

研究室（小林快次准教授、飯島正也氏）、浜松市博物館およびヤゲワニ研究会、そして標本貸借の交渉にご協力頂いた、きしわだ自然資料館・渡辺克典専門員にこの場を借り、厚く御礼申し上げる。

本展覧会では「マチカネワニを復元からアートに」をテーマに、科学とアートの融合を試行した。古生物の復元には、絵画や模型を製作する技術はもちろん、生物への学術的な知識が不可欠である。そこで、古生物復元に卓越したスキルを有する株式会社海洋堂のアーティスト・古田悟郎氏および古生物イラストレーターの川崎悟司氏にマチカネワニの復元をして頂いた。古田氏は、小林快次准教授およびマチカネワニ学名の命名者である青木良輔氏の 2 人から学術的なアドバイスを受け、マチカネワニの復元を行った。復元模型の原型の著作権や所有権は制作会社にあることから、大成モナック株式会社の協力を受け、3D スキャナーにより立体情報を取得した後、3D プリンターにより複製を制作した。塗装は古田氏がマチカネワニの生息状況を加味した体表色をほどこし、博物館エントランスに常設展示されている。古生物復元という匠の技と、最新の 3D 技術の融合した成果となった。エントランスの壁面に展示されたマチカネワニ全身骨格のレプリカの横にある本模型は多くの来館者の目を惹き、本館の新たな見どころの一つとなっている。なお本模型の展示に使用している LED 照明は、パナソニック株式会社から寄贈を受けたことを付け加えておく。


京都造形芸術大学の教員・学生によるアート作品

さらに昨年に続き、京都造形芸術大学・柴田純生教授の協力を受けたアート作品を展示した。本年は、美術工芸学科の教員および学生の多数のご協力を頂くことができた。マチカネワニの誕生から成長、死、そして化石に至る過程を、アーティスト各々が自らの解釈と創造性を生かし、制作した。この一連の作品の展示は学術性の高い展覧会前半部分とユニークな対比を成すこととなり、見る者に展覧会鑑賞への深みをもたらしたと思われる感想も聞かれた。アート作品と関連し、本学 2013 年度課外研究奨励費採択プロジェクトの支援により本学学生が制作したレゴ®ブロック製のマチカネワニを併せて展示した。このマチカネワニ模型は電動で動く、いわば「マチカネワニ・ロボット」であり、観客の興味を集めていた。

本展覧会では、毎週土曜日のミュージアムトークとあわせ、計 3 回のワークショップを開催した。ミュージアムトークには、筆者だけなく、当日来館していた古生物のエキスパートたちを交え行い、多くの参加者を得ることができた。

最後に、本展覧会では 3,757 人（1 日平均 121 人）の来館実績を上げることができ、多くの来館者にマチカネワニ化石、そして大阪大学の魅力を発信できたことを嬉しく思っている。


本学学生が制作した「マチカネワニ・ロボット」

3. 展覧会報告Ⅲ

世界結晶年 2014 (International Year of Crystallography 2014) 記念
大阪大学総合学術博物館 第 18 回企画展

魅惑の美 Crystal

ー最先端科学が拓く新しい結晶の魅力ー

概　要

2014 年はユネスコが定めた国際結晶年にあたり、日本結晶学会を中心に様々な企画が開催された。大阪大学総合学術博物館でも大阪大学蛋白質研究所と共に第 18 回企画展として「魅惑の美 Crystal―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」を 2014 年 10 月 25 日(土)から 2015 年 1 月 16 日(金)の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。この展覧会では、最先端科学を支える学術的側面と、その美しさで人を魅きつける美術品としての側面を融合する。たとえば、江戸時代の画家、尾形光琳の作品《紅白梅図屏風》は、顔料の結晶状態を粉末 X 線結晶解析等にて分析することで、その描法をふくめて現在に蘇らせることができた。このように新しい結晶の魅力を伝えるとともに、本学における結晶学研究の歩みを振り返った。期間中の来場者は 5,481 名であった。

世界結晶年 2014（International Year of Crystallography 2014）記念

大阪大学総合学術博物館 第 18 回企画展

テーマ：「魅惑の美 Crystal―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」
期　間：2014 年 10 月 25 日(土) ～ 2015 年 1 月 16 日(金)
会　場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム
主　催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学蛋白質研究所
共　催：大阪大学大学院理学研究科、Protein Data Bank Japan
協　力：日本結晶学会、株式会社リガク、日本電波工業株式会社、
　　株式会社福田結晶技術研究所、株式会社イーディーピー、大阪大学 21 世紀懐徳堂
入館者数：5,481 人

体験教室

11 月 22 日(土)「のぞいてみよう結晶の世界」参加者数：17 人
　　栗栖 源嗣 氏 (大阪大学蛋白質研究所 教授)
12 月 13 日(土)「雪は天から送られた手紙である」参加者数：28 人
　　豊田 二郎 (大阪大学総合学術博物館 准教授)

シンポジウム「魅惑の美 Crystal―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」

12 月 20 日(土)　会場：大阪大学シグマホール（基礎工学部国際棟）　来場者数：72 人
　第 1 部　講演
　　講演 1「世界結晶年　―結晶学と大阪大学―」
　　栗栖 源嗣 氏 (大阪大学蛋白質研究所 教授)
　　講演 2「国宝「紅白梅図屏風」の 300 年前の姿を解き明かす」
　　中井 泉 氏 (東京理科大学グリーン&セーフティ研究センター長)
　　講演 3「光琳に倣う日本の美」
　　森山 知己 氏 (画家)
　　講演 4「ガスからダイヤモンド単結晶を作る」
　　藤森 直治 氏 (株式会社イーディーピー 代表取締役社長)
　第 2 部　パネルディスカッション
　　栗栖 源嗣 氏 (司会)、中井 泉 氏、森山 知己 氏、藤森 直治 氏

世界結晶年 2014 (International Year of Crystallography 2014) 記念

大阪大学総合学術博物館 第 18 回企画展

魅惑の美 Crystal

― 最先端科学が拓く新しい結晶の魅力 ―



森山知己作《描法再現紅白梅図屏風》（部分）
尾形光琳作、国宝「紅白梅図屏風」の描法を
科学的な考察に基づき再現したものです。

2014 年 10 月 25 日 土 ～ 2015 年 1 月 16 日 金

開館時間：10:30～17:00　休館：日・祝・年末年始（12/28～1/4）
ただし、11 月 2 日（日）、3 日（祝）は開館

会　　場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
主　　催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学蛋白質研究所
共　　催：大阪大学大学院理学研究科、Protein Data Bank Japan
協　　力：日本結晶学会、リガク株式会社、日本電波株式会社、株式会社福田結晶技術研究所、
株式会社イーディーピー、大阪大学 21 世紀懐徳堂

大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-20 Tel. 06-6850-6284
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

大阪大学総合学術博物館第 18 回企画展「魅惑の美 Crystal―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」

日本語の「結晶」という言葉は、物質が規則正しく集合してできたキラキラ輝く物を意味します。美しく輝く結晶は自然が作り出した芸術です。現在も宝石として人を魅了し続ける一方、結晶を用いて物質の構造を決定する『結晶学』は、物理、化学、生物学、地学など幅広い学問領域で重要な役割を担っています。

大阪大学では、理学部物理化学講座初代教授である仁田 勇（1899 -1984）の流れをくむ多くの研究者が活躍してきました。仁田によってカイニン酸やフグ毒テトロドトキシンなどの生理活性物質の絶対構造が決定され、角戸正夫 (1917-2005) は、日本で最初に巨大分子である蛋白質の立体構造（カツオ由来チトクロム c）を解析しています。理学部化学教室は、X 線結晶学をベースとした構造化学、構造生物学の研究に伝統と実績があり、大阪大学は自他ともに認める結晶学研究のルーツの一つと言えます。

2014 年はユネスコが定めた国際結晶年にあたり、日本結晶学会を中心に様々な企画が開催されています。この展覧会では、最先端科学を支える学術的側面と、その美しさで人を魅きつける美術品としての側面を融合し、新しい結晶の魅力を伝えるとともに、本学における結晶学研究の歩みを振り返ります。

展示構成

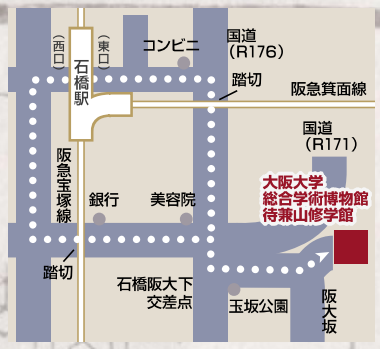
序　章　芸術の中の結晶
《描法再現紅白梅図屏風》（11/5 より）、
『雪華図説』『続雪華図説』

第１章　結晶は美しい
人工ダイヤモンド、人工水晶、人工サファイア、鉱物等、理学部中之島時代のプリズム結晶

第２章　結晶学繁明期の大阪大学
結晶学会設立時の資料、炭素の正四面体の 4 本の手のモデル、カイニン酸、フグ毒結晶（写真）、理学電機の古い X 線カメラ、手回しローター

第３章　結晶学の中心地としての大阪大学
チトクロム c 等の蛋白質模型、3D-CG、顕微鏡で見る蛋白質結晶、SPring-8（パネル）、PDBj (PC)

終　章　結晶の未来
非線形光学材料、X 線自由電子レーザー（パネル）、金属有機構造体結晶



阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩 10 分
※公共交通機関をご利用ください。

体験教室　待兼山修学館３階セミナー室

●11 月 22 日（土）14:00～15:30
「のぞいてみよう結晶の世界」
講師：栗栖源嗣　大阪大学蛋白質研究所 教授

●12 月 13 日（土）14:00～15:30
「雪は天から送られた手紙である」
講師：豊田二郎　大阪大学総合学術博物館 准教授

定員は各 30 名、Web にて事前申し込みをお願いします。

シンポジウム「魅惑の美 Crystal―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」

近代結晶学誕生 100 周年を祝し、日本におけるこれまでの、現在の、そして将来への結晶学の役割を紹介します。新規分析法による尾形光琳「紅白梅図屏風」の科学分析調査と、その成果をもとに描法を再現した同屏風の作成過程を紹介します。また、最先端の電子デバイスとして、様々に応用できる単結晶材としてのダイヤモンドの作成技術と、今後の可能性についても検討します。



阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩 17 分
大阪モノレール本線「柴原駅」下車 徒歩 8 分
※公共交通機関をご利用ください。

日　時　2014 年 12 月 20 日 (土)13:00～17:00
（12:30 開場）
会　場　大阪大学シグマホール（基礎工学部国際棟）

第１部　講 演 13:00 ～

講 演 1　「世界結晶年　―結晶学と大阪大学―」
栗栖（くりす）　源嗣（げんじ）　大阪大学蛋白質研究所教授

講 演 2　「紅白梅図屏風の 300 年前の姿を探る」
中井（なかい）　泉（いずみ）
東京理科大学グリーン光科学技術研究センター長

講 演 3　「光琳に倣う日本の美」
森山（もりやま）　知己（ともき）　画家

講 演 4　「ガスからダイヤモンド単結晶を作る」
藤森（ふじもり）　直治（なおじ）
(株) イーディーピー　代表取締役社社長

第２部　パネルディスカッション 16:15 ～17:00

12 月 13 日 (土) までに Web にて事前申し込みをお願いします。
定員（200 名）に達し次第締め切ります。
Web で申し込みできない方はお問い合わせください。

大阪大学総合学術博物館　待兼山修学館
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-20 Tel. 06-6850-6284
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

『雪華図説』 西尾市岩瀬文庫

世界結晶年 2014 (International Year of Crystallography 2014) 記念

シンポジウム

魅惑の美 Crystal

入場無料

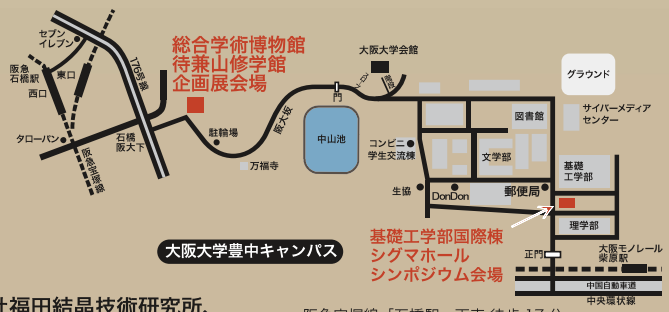
― 最先端科学が拓く新しい結晶の魅力 ―



森山知己作《描法再現紅白梅図屏風》

江戸時代の画家、尾形光琳が描いた「琳派」を代表する作品「紅白梅図屏風」（国宝）。東京理科大学 中井 泉教授の結晶化学的分析調査により、中央に流れる川部分に銀箔がはられ、金地には金箔をはり、硫黄により銀箔を硫化させた硫化銀により黒い川の流水模様を表現したことがわかりました。この調査結果をもとに、尾形光琳がこの水流をどのように描いたのか、日本画家の森山知己が「紅白梅図」を再現しました。江戸時代と同様の極薄の銀箔を用い、その銀箔を硫黄粉末で硫化させ黒く描きました。さらに金箔の上から琳派独特の手法である「たらしこみ」の技法を使って梅を描きます。「紅白梅図」の描法再現により、尾形光琳のすばらしさを改めて確認してください。

2014年12月20日（土）
13:00～17:00（12:30開場）



阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩17分
大阪モノレール本線「柴原駅」下車 徒歩8分
※公共交通機関をご利用ください。

会　　場：大阪大学シグマホール（基礎工学部国際棟）
主　　催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学蛋白質研究所
共　　催：大阪大学大学院理学研究科、Protein Data Bank Japan
協　　力：日本結晶学会、株式会社リガク、日本電波工業株式会社、株式会社福田結晶技術研究所、株式会社イーディーピー、大阪大学21世紀懐徳堂

※12月13日（土）までにWebにて事前申し込みをお願いします。定員（200名）に達し次第締め切ります。Webで申し込みできない方はお問い合わせください。

参加者には、日本電波工業株式会社提供のラスカ（人工水晶の原料となるブラジル産天然水晶のかけら）をプレゼントいたします。

大阪大学総合学術博物館
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-20 Tel. 06-6850-6284
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

近代結晶学誕生 100 周年を祝し、日本におけるこれまでの、現在の、そして将来への結晶学の役割を紹介します。新規分析法による尾形光琳「紅白梅図屏風」の科学分析調査と、その成果をもとに描法を再現した同屏風の作成過程を紹介します。　また、最先端の電子デバイスとして、様々に応用できる単結晶材としてのダイヤモンドの作成技術と、今後の可能性についても検討します。

第１部　講 演 13:00 ～

講 演１　世界結晶年　ー結晶学と大阪大学ー

栗栖（くりす）　源嗣（げんじ）　大阪大学蛋白質研究所教授



講演概要

物質科学，生命科学の分野では，結晶を用いて物質の構造を決定する『結晶学』という研究領域が，大変重要な役割を担っています。理学部・仁田 勇（物理化学講座初代教授）から始まる大阪大学における結晶学研究は，化学・生物学の領域におけるルーツの一つであると言っても過言ではありません。本学における結晶学研究の歩みを振り返るとともに。我々の身近で活躍する『結晶の世界』についてお話します。

略 歴

1969 年生まれ。広島県出身。1997 年大阪大学博士（工学）。1997 年大阪大学蛋白質研究所助手。その間、米国パデュー大学博士研究員。2004 年東京大学大学院総合文化研究科助教授、2009 年大阪大学蛋白質研究所教授。専門は蛋白質結晶学，特に光合成や分子モーターといった生体エネルギー変換反応を担う蛋白質の構造研究。生体超分子装置の構造原理を生物化学の言葉で記述する事を目標としている。

講 演２　国宝「紅白梅図屏風」の 300 年前の姿を解き明かす

中井（なかい）　泉（いずみ）　東京理科大学グリーン＆セーフティ研究センター長



講演概要

江戸時代の画家、尾形光琳が描いた「琳派」を代表する作品「紅白梅図屏風」（国宝）の制作当時の 300 年前の姿は、今とは大きく異なっていました。最先端のポータブル X 線分析装置をつかって、結晶化学的分析調査を行なった結果、中央に流れる川部分に銀箔がはられ、金地には金箔をはり、硫黄により銀箔を硫化させた硫化銀により黒い川の流水模様を表現したことがわかりました。

略 歴

1953 年生まれ。1980 年筑波大学理学博士。1980 年より筑波大学文部技官、化学系助手、講師 を経て、1994 年東京理科大学理学部応用化学科助教授、1998 年より教授。2005 年よりグリーン光科学技術研究センター長、2010 年よりグリーン＆セーフティ研究センター長。世界最高性能のポータブル X 線分析装置をメーカーと開発し文化財を分析し、物質史を解読。特に、日本の古代ガラスの起源を解明することを目的にトルコ、シリア、インド、ベトナムなどユーラシア大陸各地の古代ガラスを分析して回っている。

講 演３　光琳に倣う日本の美

森山（もりやま）　知己（ともき）　画家



講演概要

科学調査による結果、研究を受け、紅白梅図の再現制作を試みる画家として求められた技術それぞれを具体的に確認することにより、日本美術における価値観の所在、光琳に倣った事について考察します。

略 歴

1958 年生まれ。画家　東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了（日本画）失われつつある材料、表現技法に着目し、それらを用いた制作を実際に行うことによって日本絵画の伝統的価値観を現代に活かす制作を行っている。2011 年、科学調査結果を基に尾形光琳作　国宝　紅白梅図屏風（MOA 美術館所蔵）の描法再現制作を行う。

講 演４　ガスからダイヤモンド単結晶を作る

藤森（ふじもり）　直治（なおじ）　（ 株) イーディーピー　代表取締役社社長



講演概要

ダイヤモンドは超高圧法という人工合成の手段が確立しており、既に大量に生産がおこなわれています。一方、約 30 年前にガスからダイヤモンドを製造する技術が発明され、板や膜などの新しい形のダイヤモンドによる新しい応用が始まっています。単結晶ダイヤモンドはダイヤモンド本来の特性を持つという意味で、非常に重要な材料ですが、これまで大型品を作ることができず、このことによって応用が制限されてきました。当社はガスから単結晶のダイヤモンドを製造する会社で、既に 25x25 mm もある板状の結晶も製造しています。様々な応用に適合する単結晶材を作る技術と、今後の可能性について解説します。

略 歴

1975 年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。1995 年　京都大学工学博士。1975 年住友電気工業㈱入社し、ダイヤモンドの製造技術や製品開発に従事する。2002 年同社 IT コンポーネント事業部長。2003 年 (独) 産業技術総合研究所入所、ダイヤモンド研究センター長　(2010 年まで)。2004 年ニューダイヤモンドフォーラム会長　(2010 年まで)。2009 年　(株) イーディーピー設立　同社取締役。2010 年　同社代表取締役社長　現在に至る。

第２部　パネルディスカッション 16:05 ～16:40

栗栖源嗣（司会）・中井　泉・森山知己・藤森直治

報　告

世界結晶年 2014 (International Year of Crystallography 2014) 記念
大阪大学総合学術博物館 第 18 回特別展
「魅惑の美 Crystal ―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」

大阪大学総合学術博物館
准教授　豊田 二郎

日本語の「結晶」という言葉は、物質が規則正しく集合してできたキラキラ輝く物を意味する。美しく輝く結晶は自然が作り出した芸術ともいえる。現在も宝石として人を魅了し続ける一方、結晶を用いて物質の構造を決定する『結晶学』は、物理、化学、生物学、地学など幅広い学問領域で重要な役割を担っている。

大阪大学では、理学部物理化学講座初代教授である仁田 勇（にった いさむ, 1899-1984）の流れをくむ多くの研究者が活躍してきた。仁田によってカイニン酸やフグ毒テトロドトキシンなどの生理活性物質の絶対構造が決定され、角戸正夫（かくど まさお, 1917-2005）は、日本で最初に巨大分子である蛋白質の立体構造（カツオ由来チトクロムｃ）を解析した。理学部化学教室は、X 線結晶学をベースとした構造化学、構造生物学の研究に伝統と実績があり、大阪大学は自他ともに認める結晶学研究のルーツの一つと言える。

展示構成

この企画展では、展示会場を 5 つの章に分け、構成した。

序　章　芸術の中の結晶

《描法再現紅白梅図屏風》、『雪華図説』『続雪華図説』



《描法再現紅白梅図屏風》と絵の具類



『雪華図説』『続雪華図説』

第 1 章　結晶は美しい

人工ダイヤモンド、人工水晶、人工サファイア、鉱物等、
理学部中之島時代のプリズム結晶



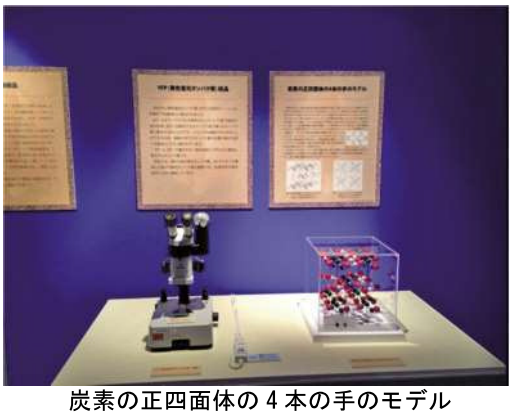
人工水晶と人工水晶から作成された水晶発信子



世界最大の人工サファイア

第 2 章　結晶学繁明期の大阪大学

結晶学会設立時の資料、炭素の正四面体の 4 本の手のモデル、カイニン酸、
フグ毒結晶（写真)、理学電機の古い X 線カメラ、手回しローター



炭素の正四面体の 4 本の手のモデル



テトロドトキシン分子モデルとフグ毒結晶(写真)

第 3 章　結晶学の中心地としての大阪大学

チトクロム c 等の蛋白質模型、3D-CG、顕微鏡で見る蛋白質結晶、SPring-8（パネル)、
PDBj（PC)



チトクロム c 分子モデル(左)とそのバルサモデル(右)



顕微鏡で見るタンパク質結晶

終　章　結晶の未来

非線形光学材料、X 線自由電子レーザー（パネル）、金属有機構造体結晶



金属有機構造体結晶



非線形光学材料（KDP）

期間中、5,481 人が入館した。期間中には高等学校など多くの団体見学もあり、企画展としては大変盛況なものとなった。

体験教室

企画展の関連イベントとして、待兼山修学館 3 階セミナー室にて、以下の体験教室を行った。

「のぞいてみよう結晶の世界」

講師：栗栖源嗣　大阪大学蛋白質研究所 教授
日時：11 月 22 日（土）14:00～15:30
概要：『結晶』と聞いて何を思い起こしますか？ 体育会系の人であれば『汗と涙の結晶』かもしれませんし、おしゃれに敏感な大人であれば『宝石としての結晶』かもしれません。このように結晶は大変身近な物質です。しかし実は、科学・技術の分野でも見えないモノをみる“必殺技”として、結晶は人気者なのです。宝石のように固い結晶、塩のように砕ける結晶の他に、豆腐のように崩れる蛋白質の結晶に実際に触ってみると共に、その違いを考えながら、科学者になった気分ですこし結晶の世界をのぞいてみましょう。

「雪は天から送られた手紙である」

講師：豊田二郎　大阪大学総合学術博物館 准教授
日時：12 月 13 日（土）14:00～15:30
概要：「雪は天から送られた手紙である」というのは北海道大学の中谷 宇吉郎（なかや うきちろう）先生の有名な言葉です。雪がどんな形をしているのかは、「アナと雪の女王」の映画の中でしか見たことがない人も多いかもしれません。この体験教室では、ペットボトルの中で実際の雪の結晶を成長させ、その形を観察します。また、溶液の中で結晶が熱を出しながらキラキラと成長する様子を観察したり、結晶で雪の花を作ったりして、結晶とは何か？を体験します。

「のぞいてみよう結晶の世界」では、17 人が参加し、「雪は天から送られた手紙である」では、28 人が参加した。どちらの体験教室もアンケートからは大変好評であった。

シンポジウム

近代結晶学誕生100周年を祝し、日本におけるこれまでの、現在の、そして将来への結晶学の役割を紹介した。新規分析法による尾形光琳「紅白梅図屏風」の科学分析調査と、その成果をもとに描法を再現した同屏風の作成過程を紹介した。また、最先端の電子デバイスとして、様々に応用できる単結晶材としてのダイヤモンドの作成技術と、今後の可能性についても検討した。

シンポジウム「魅惑の美 Crystal―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」

日時：2014年12月20日(土) 13:00～17:00 (12:30開場)
会場：大阪大学シグマホール (基礎工学部国際棟)
主催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学蛋白質研究所
共催：大阪大学大学院理学研究科、Protein Data Bank Japan
協力：日本結晶学会、株式会社リガク、日本電波工業株式会社、株式会社福田結晶技術研究所、株式会社イーディーピー、大阪大学21世紀懐徳堂

第1部　講演 13:00～

［講演1］世界結晶年　―結晶学と大阪大学―

登壇者：栗栖源嗣　大阪大学蛋白質研究所教授
概要：物質科学、生命科学の分野では、結晶を用いて物質の構造を決定する『結晶学』という研究領域が、大変重要な役割を担っています。理学部・仁田 勇(物理化学講座初代教授)から始まる大阪大学における結晶学研究は、化学・生物学の領域におけるルーツの一つであると言っても過言ではありません。本学における結晶学研究の歩みを振り返るとともに我々の身近で活躍する『結晶の世界』についてお話します。

［講演2］国宝「紅白梅図屏風」の300年前の姿を解き明かす

登壇者：中井泉　東京理科大学グリーン&セーフティ研究センター長
概要：江戸時代の画家、尾形光琳が描いた「琳派」を代表する作品「紅白梅図屏風」(国宝)の制作当時の300年前の姿は、今とは大きく異なっていました。最先端のポータブルX線分析装置をつかって、結晶化学的分析調査を行なった結果、中央に流れる川部分に銀箔がはられ、金地には金箔をはり、硫黄により銀箔を硫化させた硫化銀により黒い川の流水模様を表現したことがわかりました。

［講演3］光琳に倣う日本の美

登壇者：森山知己　画家
概要：科学調査による結果、研究を受け、紅白梅図の再現制作を試みる画家として求められた技術それぞれを具体的に確認することにより、日本美術における価値観の所在、光琳に倣った事について考察します。

［講演4］ガスからダイヤモンド単結晶を作る

登壇者：藤森　直治　(株)イーディーピー　代表取締役社社長
概要：ダイヤモンドは超高圧法という人工合成の手段が確立しており、既に大量に生産がおこなわれています。一方、約30年前にガスからダイヤモンドを製造する技術が発明され、板や膜などの新しい形のダイヤモンドによる新しい応用が始まっています。単結晶ダイヤモンドはダイヤモンド本来の特性を持つという意味で、非常に重要な材料ですが、これまで大型品を作ることができず、このことによって応用が制限されてきました。当社はガスから単結晶のダイヤモンドを製造する会社で、既に25x25㎜もある板状の結晶も製造しています。様々な応用に適合する単結晶材を作る技術と、今後の可能性について解説します。

第2部　パネルディスカッション 16:05～16:40

登壇者：栗栖源嗣(司会)・中井泉・森山知己・藤森直治

ミュージアムトーク 17:00～18:00

参加者の中から希望者に企画展会場においてミュージアムトークを行った。

シンポジウムの事前予約では、91 人が参加登録していただいたが、あいにく当日は午前中より大雨が降り、72 人の参加にとどまったが、逆に討論の内容は白熱し、パネルディスカッションでは、終了時間を超えての議論が行われたので、途中で打ち切り、ミュージアムトークの企画展会場内にて、続きのディスカッションを行うなど、非常に充実した内容となった。

謝　辞

本企画展を実行するにあたり、本学蛋白質研究所の栗栖源嗣教授、中川敦史教授、中村春木教授はじめ蛋白質研究所の皆様には、大変お世話になりました。また、貴重な資料の展示にご協力いただきました、森山知己画伯、株式会社リガク、日本電波工業株式会社、株式会社福田結晶技術研究所、株式会社イーディーピー、展示資料の貸し出しや仲介いただきました、岩瀬文庫の福冨 幸学芸員、岡山県立美術館の林知左子学芸員、本学理学研究科の今野 巧教授、桑村直人先生、今田勝巳教授には、大変感謝いたします。

最後に、ポスター発送や企画展アナウンスにご協力いただきました、大阪大学 21 世紀懐徳堂、事務全般にご尽力いただきました、総合学術事務職員を始め教職員の皆様には、大変感謝いたします。

4. 博物館事業 実施報告

マチカネワニ化石発見 50 周年記念事業 大阪大学シンポジウム

「マチカネワニ・サミット 2014」

主　催：大阪大学　（企画）大阪大学総合学術博物館
共　催：豊中市、豊中市教育委員会
協　賛：北海道大学総合博物館
後　援：大阪府教育委員会、朝日新聞社、産経新聞大阪本社、日本経済新聞社大阪本社
　　毎日新聞社、読売新聞社
協　力：大阪市立自然史博物館、大阪大学 21 世紀懐徳堂
実　施：2014 年 11 月 16 日（日）10:30～16:00
会　場：豊中市立アクア文化ホール
来場者数: 369 人

概　要：

大阪大学豊中キャンパス・理学部の建設現場から 1964 年に発掘されたマチカネワニの発見以降、日本各地でワニ化石が発見されている。中でも、大阪府岸和田市のキシワダワニや静岡県浜松市のヤゲワニは、マチカネワニと同じトミストマ亜科のワニ化石と考えられている。また、最近では、島根県隠岐諸島で約 2000 万年前の巨大ワニの化石が見つかっている。そこで、海外のワニ化石研究者も招き、マチカネワニを中心とした化石研究の現状を紹介するとともに、まだ残されている謎をわかりやすく議論した。

プログラム

10:30～	開催挨拶 司会	小川 哲生	(大阪大学理事補佐)
	主催者挨拶	平野 俊夫	(大阪大学総長)
	主催者挨拶	淺利 敬一郎	(豊中市長)
	趣旨説明	江口 太郎	(大阪大学招へい教授)
	第 1 部	司会	小川 哲生
11:00～12:25	基調講演		
	「日本で発見されたトミストマ亜科マチカネワニの古生物地理学と進化における重要性」		
	クリストファー・ブロシュー (米国アイオワ大学准教授)		
	通訳：小林 快次 (北海道大学准教授)		
12:25～13:30	昼食休憩 (ゆるキャラ撮影会：ホワイエ)		
(13:00～13:20)	「マチカネワニブギ」発表会		
	ピアノ演奏　宮本 貴奈 (ピアニスト・作曲家)		
	出演：てしま幼稚園 園児のみなさん、公民分館関係者のみなさん、マチカネくん		
	第 2 部	各講演司会	小林 快次
13:30～13:50	「台湾のマチカネワニ：東京大空襲を生き延びたワニ化石の再発見」		
	武川 愛 (早稲田大学)、平山 廉 (早稲田大学教授)、青木 良輔 (ワニ研究家)		
13:50～14:10	「島根のワニ化石：隠岐諸島から巨大ワニの発見」		
	河野 重範 (栃木県立博物館研究員)		
14:10～14:30	「マチカネワニ研究のこれまでとこれから」		
	小林 快次		
14:30～14:50	「キシワダワニとその仲間」		
	飯島 正也 (北海道大学)		
14:50～15:10	「骨の内部組織から探るマチカネワニの謎」		
	林 昭次 (大阪市立自然史博物館学芸員)		
15:10～15:30	「共産化石から推定するマチカネワニの生息環境」		
	小原 正顕 (和歌山県立自然博物館主査学芸員)		
15:30～15:40	休憩 (ゆるキャラ撮影会：ホワイエ)		
	第 3 部	ファシリテータ	江口 太郎
15:40～16:30	パネル討論		
	「よみがえるワニ王国・大阪」		
	クリストファー・ブロシュー、小林 快次、武川 愛、河野 重範、飯島 正也、林 昭次、小原 正顕		
16:30	閉会挨拶	橋爪 節也	(大阪大学総合学術博物館長)

阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクト

主　催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学大学院文学研究科
「声なき声 いたるところにかかわりの声 そして私の声《芸術祭》」（主催：大阪大学文学研究科、助成：平成 25 年度文化庁「大学を活用した文化性術推進事業」）の一環として
会　場：大阪大学石橋職員宿舎

概　要：
大阪大学とその周辺の地域をめぐる人々や建築物にしみこんだ“記憶” をテーマにしたイベントを開催しました。大阪大学豊中キャンパスの石橋職員宿舎は、大学敷地と地元商店街との境界線上に位置し、また地域と直接つながる大学職員の生活の場でした。半世紀以上にわたり大学と地域の接点としての役割を果してきた石橋宿舎の廃止にともない、解体前の宿舎を活用し、“地域に生き 世界に伸びる” のモットーのもと、大学と地域の“記憶”をテーマに学術的な調査研究と合わせ芸術作品の制作などを行いました。

実施企画一覧

1.「建築物ウクレレ化保存計画」イベント
美術家 伊達 伸明による石橋宿舎を利用したアートイベント
公開日程：2014 年 10 月 10 日～2014 年 10 月 11 日

2. 映像作品展示
石橋宿舎 1 号棟の 2 階窓面でのサッカードディスプレイによる映像展示
公開日程：2014 年 10 月 1 日～2014 年 11 月 24 日

3. 工学研究科 リノベーション・プロジェクト
大阪大学大学院工学研究科の学生による新しい居住空間の構想プロジェクト
公開日程：2014 年 10 月 10 日～2014 年 10 月 11 日

4. パフォーマンス・ワークショップ
クリッシー・ティラー（ロンドン大学）によるワークショップの一環として石橋宿舎を利用したプログラム
「声なき声 いたるところにかかわりの声 そして私の声《芸術祭》」（主催：大阪大学文学研究科、助成：平成 25 年度文化庁「大学を活用した文化性術推進事業」）の一環として実施
公開日程：2014 年 11 月 14 日～2014 年 11 月 16 日

5. トークイベント 阪大石橋宿舎おみおくり・プロジェクト
全てのプロジェクトの終了を記念したトークイベント。各企画担当者が一堂に会し、その報告を行い、また本プロジェクトの経験を生かし、大学が行う芸術活動やその理念、今後のあり方などについて語り合った。
開催日時：2014 年 12 月 9 日（火）18:30～21:00
会　場：大阪市中央公会堂
主　催：大阪大学総合学術博物館、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会
後　援：全国大学博物館等協議会
協　力：大阪芸術大学、大阪大学 21 世紀懐徳堂
※平成 26 年度文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「交流する大学ミュージアムを目指して ―関西における文化遺産の継承―」の助成金の支援を受けて開催
来場者数：43 人
出演者：司　会　橋爪 節也(大阪大学総合学術博物館)
ゲスト　伊達 伸明(美術家)
小浦 久子(大阪大学大学院工学研究科)、
安藤 英由樹(大阪大学大学院情報科学研究科)
富田 大介(大阪大学大学院国際公共政策研究科)
永田 靖(大阪大学大学院文学研究科)
音　楽　宇都宮 泰(音楽家、音楽プロデューサー、大阪芸術大学音楽学科非常勤講師)

平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業　交流する大学ミュージアムを目指して　関西における文化遺産の継承

TALK EVENT

阪大石橋宿舎おみおくり・プロジェクト

2014.12.9 (Tue)　18:30 - 21:00 (open 18 : 00)

日　　時： 2014年12月9日(火) 18：30〜21：00（開場 18：00）
会　　場： 大阪市中央公会堂 〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-27
参 加 費： 無料
お申し込み： 下記URLよりWEBフォームにてお申し込みください。
大阪大学総合学術博物館 http://www.museum.osaka-u.ac.jp/
お問い合わせ： 大阪大学総合学術博物館　TEL 06-6850-6714（平日 9：00〜17：00）

司　会： 橋爪節也（大阪大学総合学術博物館）
ゲスト： 伊達伸明（美術家）　小浦久子（大阪大学工学研究科）
安藤英由樹（大阪大学情報科学研究科）
富田大介（大阪大学国際公共政策研究科）　永田靖（大阪大学文学研究科）
音　楽： 宇都宮泰（音楽家、音楽プロデューサー、大阪芸術大学音楽学科 非常勤講師）
※大阪市中央公会堂特別室を見学予定

主催：大阪大学総合学術博物館
かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会（事務局 関西大学博物館）
後援：全国大学博物館等協議会
協力：大阪芸術大学　大阪大学21世紀懐徳堂



大学と住居とアートの融合

関西から　大学から

デザイン：大阪芸術大学　堀あすか

大学ミュージアムを熱く語る！ ―街と大学の“記憶”をめぐって―

期　間：2014 年 11 月 23 日（日）13:30～17:00
会　場：大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール
主　催：大阪大学総合学術博物館、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会
後　援：全国大学博物館等協議会
協　力：大阪大学 21 世紀懐徳堂
※平成 26 年度文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「交流する大学ミュージアムを目指して ―関西における文化遺産の継承―」の助成金の支援を受けて開催
来場者数：56 人

概　要：

大阪大学総合学術博物館が昨年度（2014 年度）から継続的に開催している大学博物館をめぐる問題を扱ったシンポジウムを開催しました。

大学と大学周辺の街・地域との関係、さらにその歴史などが、いかに大学博物館で語られ、社会に発信されているかについて、近年、社会的にも関心が高まっている“記憶”の問題も踏まえ、事例報告とそれに基づいた討議を行いました。

第 1 部では、各大学における学校史の扱いや街・地域との関係に関する活動について、展覧会や講座のあり方、研究者としての立場などから報告が行われました。

第 2 部では第 1 部の報告を受けながら、大学内外の研究者も交えて、大学博物館のあり方、地域との関係の将来像などがどうあるべきか討議を行いました。

プログラム

13:30～13:40　趣旨説明　　橋爪 節也　（大阪大学総合学術博物館 館長）

第 1 部　報告

13:40～14:00　企画展「浪花慕情～菅楯彦とその世界～」
明尾 圭造（大阪商業大学商業史博物館 主席学芸員）

14:00～14:20　地域と“大学”　愛媛大学ミュージアムの活動事例
徳田 明仁（愛媛大学ミュージアム 講師）

14:20～14:40　大阪芸術大学博物館の成り立ちについて　オーディオ資料室よもやま話
柳 知明　（大阪芸術大学博物館 事務長・学芸員）

14:40～15:00　企画展「学船」に見る大学博物館の役割
藤田 良治（北海道大学総合博物館 助教）

15:00～15:20　“待兼山少年”プロジェクト
―大学と地域の“記憶”によるキャンパスのエコミュージアム化
橋爪 節也

第 2 部

15:40～17:00　パネル討論
伊木 稔　（大阪商業大学商業史博物館 館長）
明尾 圭造
徳田 明仁
柳 知明
藤田 良治
橋爪 節也
高島 幸次（大阪天満宮文化研究所）
熊 博毅　（関西大学博物館 学術情報事務局次長・学芸員）

平成２６年度 文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

交流する大学ミュージアムを目指して

関西における文化遺産の継承

シンポジウム 大学ミュージアムを熱く語る！

―街と大学の記憶をめぐって―

2014年11月23日（日）

13:30 ～ 17:00（開場 13:00）

会場：大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール（〒530-0005　大阪市北区中之島 4-3-53）

参加費：無料

お申し込み：下記 URL より WEB フォームにてお申し込みください。

大阪大学総合学術博物館 http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

お問い合わせ：大阪大学総合学術博物館　TEL 06-6850-6714（平日 9：00～17：00）

出演者：柳 知明（大阪芸術大学博物館）・明尾 圭造（大阪商業大学商業史博物館）・藤田 良治（北海道大学総合博物館）
徳田 明仁（愛媛大学ミュージアム）・橋爪 節也（大阪大学総合学術博物館）・高島 幸次（大阪天満宮文化研究所）
熊 博毅（関西大学博物館）・伊木 稔（大阪商業大学商業史博物館）

主催：大阪大学総合学術博物館　かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会（事務局　関西大学博物館）

後援：全国大学博物館等協議会

協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂

デザイン：大阪芸術大学 河合葉香

阪大生がつくった展覧会 2014 ベスト

期　間：2014 年 11 月 1 日（土）～ 2014 年 11 月 28 日（金）〔A 日程〕
　　2014 年 12 月 10 日（水）～ 2015 年 1 月 23 日（金）〔B 日程〕

会　場：大阪大学会館 歴史展示室

概　要：

2010 年度より大阪大学の共通教育科目として開講している博物館実習では、受講生が A・B 各日程 4 班ずつに分かれて模擬展示を企画・実施しています。2013 年度末よりその一端を大阪大学総合学術博物館のホームページにて公開を行っていますが、2014 年度は大阪大学会館 歴史展示室にて一般にも公開しました。

一般公開は A 日程と B 日程の 2 回に分けて行い、博物館実習の模擬展示で高い評価を得た劇団くるみ座資料と、女流水墨画家・松本奉山作品を扱った展示を行いました。

展示概要

新劇の菊枝 －くるみ座の女優　毛利菊枝－　〔A 日程〕

毛利菊枝　1903 年 11 月 3 日、群馬県利根郡沼田町生まれ。

“言葉”に対する人一倍の強い感受性を持ち、たびたび叔母訪ねては上京し、歌舞伎に浸りました。演劇へも関心を抱き、言葉の世界に魅了される女学生時代を過ごしました。

女学校を 2 年で中退すると、岸田國士・岩田豊雄・関口次郎らが開設した新劇研究所の 1 期生となります。こののちに、新劇研究所を母体に結成された劇団・喜劇座の旗揚げに加わり、女優としての毛利菊枝の人生が始まり、京都に活動拠点を移した後は劇団くるみ座を主宰しました。

企画展示では 、くるみ座を中心とした女優・毛利菊枝の軌跡を 3 部構成でたどった。

松本奉山 －THE SUIBOKU EYES－　〔B 日程〕

松本奉山（1925－2010）は松本尚山に師事し、水墨画の道に入った女流の画家です。1963 年の渡米をはじめ、生涯 13 か国を巡り各地の風景を色彩豊かに描く中、国際交流基金文化使節に就任し、国外で多数の個展を開催するなど世界的な視野で活動しました。一方、晩年には日本へ拠点を移して国内の風景を画題としており、その感受性の豊かさは美しい筆致や彩りとともに私たちを魅惑してやみません。

生誕 90 周年を控えた本展では、狭義の水墨画の技法や主題にとらわれない奉山の軽快なまなざしを、2 つのスケールから再現しました。彼女がその目に映し、画面に閉じ込めた雄大な風景と細やかな植物や人物は、どちらも精緻な技巧や豊かな色彩で皆様を楽しませてくれることでしょう。また、複数のスケールに焦点を当てることにより、ひいてはそのまなざしが、水墨画の伝統と新しい風景の探求を往還し、交錯させる、奉山の画業に通底する価値観として皆様の前に描きだされることを願います。

関連イベント

ワークショップ

2014 年 12 月 13 日(土)　わくわく子供教室「筆と墨で絵を描こう」参加者数：8 人
　松本奉山水墨画会

ミュージアム・レクチャー

2015 年 1 月 10 日(土)「朝の光が待てなくて―水墨画家松本奉山と関西―」
　来場者数：10 人
　橋爪 節也（大阪大学総合学術博物館）

5. サイエンスカフェ@待兼山
“土曜の午後はミュージアム”

主催：大阪大学総合学術博物館
共催：豊中市立中央公民館
協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂
実施：2014 年 12 月 6 日（土）～ 2015 年　3 月 14 日（土）　カフェ No.117 ～ 126

大阪大学で行われている最新の研究を広く人々に紹介するとともに、普段の中で接する機会が少ない専門家と一般の方々の間のコミュニケーションの場となることを目指して「サイエンスカフェ@待兼山」を開催した。「サイエンスカフェ@待兼山」は 2008 年度から豊中市と連携して開催し、文系、理系を問わず様々な分野のテーマを扱ってきた。現在では総合学術博物館のイベントとして定着し、幅広い年代に参加していただいている。家族や友人と一緒に参加される方もおり、実施当日には会場が大いに盛り上がっている様も見られる。

サイエンスカフェの実施状況：

2008 年度	前期	カフェ No.　1 ～　13	実施 13 回
	後期	カフェ No. 14 ～　27	実施 14 回
2009 年度	前期	カフェ No. 28 ～　37	実施 10 回
	後期	カフェ No. 38 ～　46	実施　9 回
2010 年度	前期	カフェ No. 47 ～　55	実施　9 回
	後期	カフェ No. 56 ～　65	実施 10 回
2011 年度	前期	カフェ No. 66 ～　80	実施 15 回
	後期	カフェ No. 81 ～　88	実施　8 回
2012 年度	前期	カフェ No. 89 ～　99	実施 11 回
	後期	カフェ No.100 ～ 107	実施　8 回
2013 年度	前期	カフェ No.108 ～ 112	実施　5 回
	後期	カフェ No.113 ～ 116	実施　4 回
2014 年度	通年	カフェ No.117 ～ 126	実施 10 回

サイエンスカフェ@待兼山（2014年：2014年12月6日～2015年3月14日　カフェNo.117～126）

No.	実施日	タイトル コーディネーター	要　旨
117	2014年 12/6（土）	ゲノム編集ってどんな技術？～遺伝子組み換えマウスの未来～ 伊川　正人 氏	遺伝子組み換えマウスをご存知ですか？外から遺伝子を足せばトランスジェニックマウス、内在性の遺伝子を潰せばノックアウトマウスと呼ばれます。いずれも人の病気を理解したり再現したり、さらには治療法開発や創薬に役立つ実験動物です。今回は、約40年の遺伝子組み換えマウスの歴史を振り返りながら、1塩基単位で遺伝子操作できるゲノム編集技術が切り開く遺伝子組み換えマウスの未来を紹介します。
118	2015年 1/10（土）	錯覚を利用したインタフェース 安藤　英由樹 氏	日常生活の中では携帯端末やスマートフォンなど、いつでも情報が取り出せる環境が整ってきている。しかし、これらの情報の選択や入力など情報利用には常に注意を向けていなければならない。本研究では、注意を向けなくとも利用できるインタフェースについて解説する。特に錯覚を効果的に利用した方法について述べ、これらの応用方法について具体的な事例や体験の様子を説明する。
119	1/24（土）	紛争解決の新しい方式 仁木　恒夫 氏	地域、学校、職場、趣味のサークル…　私たちは人の集まる場所に所属しています。しかし、さまざまな人が集まれば、認識のズレや利害対立も起こり、関係がギクシャクすることもあるでしょう。法律家は、このような場面で、法に基づいて利害を調整して紛争を解決する専門家です。しかし、近年、みぢかな紛争は私たち自身で自律的に解決する「対話調停」という方法が少しずつ広がっています。この対話調停とはどのような特徴をもった紛争解決なのでしょうか。今回のワークショップでは､その特徴を簡単に紹介したうえで、参加者にその技法の一部を使って模擬調停を実践してもらう予定です。
120	1/31（土）	ニュートリノが解き明かす不思議 佐藤　透 氏	ニュートリノと呼ばれる粒子は、太陽・宇宙や地球からも降り注ぎ、私たちをつらぬいていきます。 ごく微弱な相互作用しかしない粒子、ニュートリノにまつわる不思議な現象と、これを解き明かすうちに解ってきた自然の仕組みについて、できるだけ簡単にお話ししたいと思います。
121	2/7（土）	「食べる」はたらきを科学してみよう 小野　高裕 氏	ヒトは毎日「食べる」ことで生きるための栄養をからだに取り入れているだけでなく、おいしい、たのしい気持ちになります。口から「食べる」はたらきはとても複雑で、まるで口という大きなキッチンのようなものです。そこでは、取り入れた食べ物を、あご、歯、歯ぐき、舌、頬などが協力することによって、飲み込みやすいようにもう一度料理しています。今回のサイエンスカフェでは、さまざまな装置を使って、このはたらきを調べてみましょう。おいしさの秘密が見えてくるかも知れません。
122	2/14（土）	ホタルの光のひみつ 豊田　二郎	ホタルを素手でとったことがありますか？　熱かったでしょうか？　いまでは、アニメ映画「火垂るの墓」でしかホタルを知らない人も多いかもしれません。ホタルが光るしくみとまったく同じことを試験管の中で行い、電灯とは違う光（化学発光）の性質と酵素反応について、参加者全員に体験していただきます。
123	2/21（土）	絵巻物賞翫 橋本　遼太 氏	詞書とよばれる文章と、それに対応する絵とが交互に配列された巻物のことを絵巻物といいます。「対応する」といっても、ある文章をどのように描きだすのかには無限の方法があるはずです。今回は、絵巻物の最高傑作のひとつである信貴山縁起絵巻を題材に、物語る絵画の手法を考えてみたいと思います。
124	2/28（土）	コンピューターで分子を“見て”みよう 川上　貴資 氏	皆さんは化学の研究というと、どのような光景を思い浮かべますか？多分、白衣を着て、様々なガラス器具や測定装置に囲まれている、というイメージではないでしょうか。しかし、最近ではコンピューターの中で、様々な物質を取り扱うことができるのです。これは､原子や分子の中の「電子」の様子が、方程式を解く事によって理解できるからです。今回はその原理を簡単に説明し、家庭用のコンピューターで分子の性質を“体感”してみましょう。
125	3/7（土）	マーケット化石群集を考える 西岡　佑一郎	動物の化石なんてそうそう簡単に見つかるものではありません。デパートや市場、オークションなどで綺麗なアンモナイトの化石が売られているのを見たことがある人も多いと思います。こうした化石を私は「マーケット化石群集」と呼んでいます。マーケットには非常に貴重な化石が出回ることもあり、野外で汗水たらして探すよりもマーケットを散策していた方が大発見に至ることも珍しくないでしょう。私はこれまで東南アジアで哺乳類の化石を研究してきましたが､「化石＝金」という考え方は万国共通のようで、マーケット化石群集に接する機会が多々ありました。今回は、こうしたマーケット化石群集の良し悪しについて考えていきたいと思います。
126	3/14（土）	「マッサン」と竹鶴政孝－ドラマと史実の“ビミョーな距離感”－ 松永　和浩	NHK連続テレビ小説「マッサン」の主人公は、実在した日本初のウイスキー蒸留技師・竹鶴政孝とその妻・リタをモデルとしたドラマです。史実に基礎を置きつつも、魅力的な作品に仕上げるべく、時代背景を踏まえたアレンジが随所に織り交ぜられて いま す。このドラマと史実の“ビミョーな距離感”について､「マッサン」の制作に関わった歴史研究者の立場から紹介します。名場面を振り返りながら､「マッサン」をもう一度楽しむ機会を提供したいと思います。

Museum of Osaka University

Science Café at Machikaneyama

大阪大学総合学術博物館で、サイエンスカフェを楽しみませんか。コーヒーを片手にゆったりとした雰囲気で、「科学する」とはどういうことか、研究者とともに考えていきます。それを通して専門家と一般の方々の間のコミュニケーション不全を少しでも改善したいと思っています。お気軽にご参加ください。

No.117 2014年12月6日(土)

ゲノム編集ってどんな技術？ ～遺伝子組み換えマウスの未来～
伊川　正人(微生物病研究所)
時間:14:00～15:30
対象:高校生以上

No.118 2015年1月10日(土)

錯覚を利用したインタフェース
安藤　英由樹(情報科学研究科)
時間:14:00～15:30
対象:制限なし

No.119 2015年1月24日(土)

紛争解決の新しい方式
仁木　恒夫(法学研究科)
時間:14:00～15:30
対象:高校生以上

No.120 2015年1月31日(土)

ニュートリノが解き明かす不思議
佐藤　透(理学研究科)
時間:14:00～15:30
対象:高校生以上

No.121 2015年2月7日(土)

「食べる」はたらきを科学してみよう
小野　高裕(大阪大学歯学部招聘教授、新潟大学医歯学総合研究科)
時間:14:00～15:30
対象:高校生以上

No.122 2015年2月14日(土)

ホタルの光のひみつ
豊田　二郎(総合学術博物館)
時間:14:00～15:30
対象:制限なし

No.123 2015年2月21日(土)

絵巻物賞翫(しょうがん)
橋本　遼太(文学研究科)
時間:14:00～15:30
対象:中学生以上

No.124 2015年2月28日(土)

コンピューターで分子を"見て"みよう
川上　貴資(理学研究科)
時間:14:00～15:30
対象:高校生以上

No.125 2015年3月7日(土)

マーケット化石群集を考える
西岡　佑一郎(総合学術博物館)
時間:14:00～15:30
対象:中学生以上

No.126 2015年3月14日(土)

「マッサン」と竹鶴政孝 ―ドラマと史実の"ビミョーな距離感"―
松永　和浩(総合学術博物館)
時間:14:00～15:30
対象:制限なし

サイエンスカフェ@待兼山

開催場所:　大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室
定　　員:　各回とも30名程度
参加費用:　飲み物代(200円)が必要
共　　催:　豊中市立中央公民館
協　　力:　大阪大学21世紀懐徳堂

申込方法

Webフォームあるいは往復ハガキにてお申し込みください。

Webフォーム
申込受付期間確認ページ内のリンクをクリック。
http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

往復ハガキ
カフェ１タイトル、住所、氏名、電話番号、年齢を明記。ご家族でお申込の場合、同伴者のお名前、年齢をご記入の上、下記宛に送付。
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学総合学術博物館

申込期間
各カフェ開催日の2ヶ月前から1ヶ月前。各カフェのタイトルごとに確認願います。締め切り日必着。

※応募多数の場合、原則として抽選で決定。抽選結果はメールもしくはハガキでお知らせします。
※「制限なし」のカフェの参加可能年齢は「小学生以上」とさせていただきます。

大阪大学総合学術博物館
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13　URL:http://www.museum.osaka-u.ac.jp

6. 夏の小学生科学体験教室

時　期：2014 年 8 月 19 日（火）～ 21 日（木）
会　場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階セミナー室
主　催：大阪大学総合学術博物館・豊中市立中央公民館

文系、理系を問わず様々な分野に対する興味や関心を、子どもたちに持ってもらうことを目指して「夏の小学生科学体験教室」を開催した。昨年度と同じく自由応募制（小学校 5・6 年生対象）という形をとり、大阪大学総合学術博物館と豊中市立中央公民館が連携して開催した。大阪大学埋蔵文化財調査室、大阪大学大学院理学研究科および当館所属の教員が講師となり、実験・実演を交えた体験型理科授業を行った。当日は子どもたちの元気な声がとびかった。（当日の参加者数は延べ名 60 名、保護者含まず）



「めざせ！ 考古学者
なつやすみ考古学教室」



「雪は天から送られた手紙である」



「すごい機能を持ったポリマーを
さがしてみよう」

授業内容

8 月 19 日（火）

タイトル：「めざせ！ 考古学者 なつやすみ考古学教室」

講　　師：中久保 辰夫 氏（大阪大学埋蔵文化財調査室）

参加人数：11 人*

概　　要：みんなが歩いている地面の下には昔の人が生活していた遺跡が残っています。大阪大学豊中キャンパスの下では 600 年前のお墓や 2,000 年前のムラが発見され、待兼山遺跡と呼ばれています。
この体験教室では、カンタンなゲームをつうじて考古学のキホンを学びます。待兼山遺跡から発見された大昔の土器に実際にさわれるチャンスも！　こども考古学者として古代の謎に一緒に挑みましょう。

8 月 20 日（水）

タイトル：「雪は天から送られた手紙である」

講　　師：豊田 二郎（大阪大学総合学術博物館）

参加人数：34 人

概　　要：「雪は天から送られた手紙である」というのは北海道大学の中谷 宇吉郎 先生の有名な言葉です。雪がどんな形をしているのかは、「アナと雪の女王」の映画の中でしか見たことがない人も多いかもしれません。この体験教室では、ペットボトルの中で実際の雪の結晶を成長させ、その形を観察します。また、溶液の中で結晶が熱を出しながらキラキラと成長する様子を観察したり、結晶で雪の花を作ったりして、結晶とは何か？を体験します。

8 月 21 日（木）

タイトル：「すごい機能を持ったポリマーをさがしてみよう」

講　　師：青島 貞人 氏（大阪大学大学院理学研究科）

参加人数：15 人

概　　要：身の回りには新しい機能を持ったポリマー（高分子材料）がたくさんあります。今回は、赤ちゃん用のおむつを分解して、その中に秘められたさまざまな機能性材料を探していきます。自分の重さの百倍も千倍も水を含むポリマー、水を感じて色が変わる材料、刺激により香りを出すマイクロカプセルなどです。実際に使われている材料も合わせて説明します。

* 各日の参加者数は保護者の数を含まない

7. 専任教員活動報告

2014 年度 教員実績表

(2014 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日)

研究・教育部	資料基礎研究系		
	・准 教 授		髙橋　京子
	・特任助教(常勤)		高浦佳代子
	資料先端研究系		
	・教　　授		上田　貴洋
	・准 教 授		豊田　二郎
	・准 教 授		宮久保圭祐
	資料情報研究系		
	・教　　授		橋爪　節也(館長)
	・助　　教		横田　　洋
資料部	・特任講師(常勤)		松永 和浩

准教授　髙橋 京子

【教育活動】

担当授業

学　期　・　学　部	科　　目　　名
1学期・薬学部	漢方薬学［共担］
1学期・共通教育科目［全学部］	博物館体験コース［共担］

学生指導

学生数（留学生含む）	留　学　生　数	共同・分担した指導教官人数
5名	0名	0名

【研究活動】

学術論文

論　　文　　名	著 者 名	雑　誌	巻・号・頁	発行年月
生薬供給と資源ナショナリズム 大和・大宇陀『森野旧薬園』の生薬資源:環境社会学的意義	髙橋京子	生物工学会誌	巻：92 号：7 頁：335-339	2014年7月
緒方洪庵の薬箱由来生薬の本草学的意義と東西融合医療	髙橋京子	適塾記念会会誌『適塾』	号：47 頁：91-100	2014年12月
Role of ROS Production and Turnover in the Antioxidant Activity of Taurine	Kayoko Shimada Chian Ju Jong Kyoko Takahashi Stephen W. Schaffer	Advances in Experimental Medicine and Biology	巻：803 頁：581-596	2015年

著　書

著　　書　　名	著 者 名	出版社	頁　数	発行年月
大阪大学総合学術博物館叢書〈11〉 漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー	髙橋京子・小山鐵夫編著	大阪大学出版会	96頁	2015年3月

学術講演会など

講 演 タ イ ト ル	場　　所	年月日	備　考
学術シンポジウム「医・薬・理・農学の共創的連携：22世紀の薬草政策につなぐ今」 江戸期の薬種国産化政策：森野旧薬園からの示唆	大阪大学会館	2014年 6月7日	大阪大学総合学術博物館 第7回特別展 関連イベント
生薬材料学の基礎：基原と品質保証	東京農業大学 オホーツクキャンパス〔北海道〕	2014年 7月28日	東京農業大学セミナー
生薬資源：栽培技術継承と地域ニーズ	京都薬科大学	2014年 9月21日	京都漢方研究会 第24期講座
資源ナショナリズムと江戸期に渡来した生薬の資源植物学的意義：大和・森野旧薬園と松山本草	茨城県・牛久市ひたち野リフレ	2014年 11月9日	医食農連携産業化セミナー

研究（学会）発表など

タ　イ　ト　ル	場　所	年月日	備　考
Geological materials in Japanese natural history: Focus on Morino stone collection in the Edo Period.	Association of Pacific Rim Universities〔台湾〕	2014年 5月20−21日	ポスター発表
The effect of taurine depletion on cardiomyocyte metabolism.	19th International Taurine Meeting〔ポーランド〕	2014年 5月20−24日	口頭発表
「緒方洪庵の薬箱(阪大蔵)」研究からの示唆：實芰(ジギタリス)の実地臨床	第9回博物科学会〔愛媛〕	2014年 6月19−20日	口頭発表
「緒方洪庵の薬箱（大阪大所蔵）」に収納された生薬資料研究：角石の基原	第65回日本東洋医学会〔東京〕	2014年 6月28−29日	口頭発表
非侵襲的文化財分析法を応用した生薬の基原研究:緒方洪庵の薬箱に現存する「蒲公」	第65回日本東洋医学会〔東京〕	2014年 6月28−29日	口頭発表
森野初代藤助通貞賽郭真写「松山本草」の資源植物学的意義	第31回和漢医薬学会〔千葉〕	2014年 8月30−31日	口頭発表
「緒方洪庵の薬箱(阪大蔵)」研究：實芰の基原と実地臨床	第61回日本生薬学会〔福岡〕	2014年 9月13−14日	口頭発表
化石由来生薬「竜骨」の固体NMRによる分析	第53回NMR討論会〔大阪〕	2014年 11月4−6日	ポスター発表
動物性生薬「牛黄」の安全性評価：心臓由来培養細胞による検討	日本薬学会第135年会〔神戸〕	2015年 3月26−28日	口頭発表
地域特産果樹を活用した生薬国産化研究：シテイ(KAKI CALYX)の基原と使用動向	日本薬学会第135年会〔神戸〕	2015年 3月26−28日	口頭発表

報　道

タ　イ　ト　ル	場　所	年月日	備　考
生薬不足の恐れ 需要増で中国産高騰	産経新聞	2014年 5月30日	コメント掲載
江戸期の薬草 進む解読 森野旧薬園の秘蔵図鑑「松山本草」 デジタル化 カラー映像初公開	朝日新聞	2014年 6月5日	第7回特別展情報も含む
享保の薬草 今もすくすく	日本経済新聞	2014年 6月19日	研究紹介 第7回特別展情報も含む
大阪大学総合学術博物館 第7回特別展 漢方今昔物語　生薬国産化のキーテクノロジー	薬事日報	2014年 7月7日	展覧会解説
学術シンポジウム 医・薬・理・農学の共創的連携 22世紀の薬草政策につなぐ今	薬事日報	2014年 7月7日	シンポジウム解説
[薬用作物 産地化への挑戦8] 種苗 守るべきは遺伝資源	日本農業新聞	2014年 12月18日	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期　間	継続 / 新規
科学研究費補助金：挑戦的萌芽研究［分担金］ 博物学標本資料に基づく大阪学の確立：木村蒹葭堂と交遊ネットワークによる包括的研究	橋爪 節也	2013ー 2014 年度	継続
科学研究費補助金：基盤研究(B)［分担金］ 農業・農村を基盤とした医食農連携産業化の展開可能性	中川 光弘	2013ー 2015 年度	継続
科学研究費補助金：基盤研究(B) 本草学の新展開：医療文化財の非破壊分析法の開発と復元応用	高橋 京子	2013ー 2015 年度	継続
朝日新聞文化財団文化財保護助成［分担金］ 国史跡森野旧薬園所蔵『森野藤助繁通編纂・草木葉譜』の保存修復事業	森野 燾子	2014 年度	新規

寄　付

科　　目	金　額	受入年月
高橋京子薬用資源研究助成金	2,000,000 円	2015 年 3 月

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアム・レクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場　　所	主催者名	年月日
総合学術博物館 第 61 回ミュージアム・レクチャー 「森野旧薬園と松山本草：薬草のタイムカプセル」	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2014 年 5 月 10 日
国産生薬のルーツとマテリアルサイエンス	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園研究会	2014 年 11 月 25 日

特任助教（常勤）　髙浦 佳代子

【研究活動】

学術論文

論　文　名	著 者 名	雑　誌	巻・号・頁	発行年月
生薬供給と資源ナショナリズム メタロミクスによる芍薬の品質評価と代替品種の探索	島田佳代子	生物工学会誌	巻：92 号：7 頁：344-346	2014 年 7 月
Does Taurine Prolong Lifespan by Improving Heart Function?	Stephen W. Schaffer K. C. Ramila Chian Ju Jong Aza Shetewy Kayoko Shimada Takashi Ito Junichi Azuma Eugene Cioffi	Advances in Experimental Medicine and Biology	巻：803 頁：555-570	2015 年
Role of ROS Production and Turnover in the Antioxidant Activity of Taurine	Kayoko Shimada Chian Ju Jong Kyoko Takahashi Stephen W. Schaffer	Advances in Experimental Medicine and Biology	巻：803 頁：581-596	2015 年

研究（学会）発表など

タ　イ　ト　ル	場　所	年月日	備　考
Geological materials in Japanese natural history: Focus on Morino stone collection in the Edo Period.	Association of Pacific Rim Universities〔台湾〕	2014 年 5 月 20－21 日	ポスター発表
The effect of taurine depletion on cardiomyocyte metabolism.	19th International Taurine Meeting〔ポーランド〕	2014 年 5 月 20－24 日	口頭発表
『緒方洪庵の薬箱(阪大蔵)』研究からの示唆：實芰(ジギタリス)の実地臨床	第 9 回博物科学会〔愛媛〕	2014 年 6 月 19－20 日	口頭発表
「緒方洪庵の薬箱（大阪大所蔵）」に収納された生薬資料研究：角石の基原	第 65 回日本東洋医学会 〔東京〕	2014 年 6 月 28－29 日	口頭発表
非侵襲的文化財分析法を応用した生薬の基原研究:緒方洪庵の薬箱に現存する「蒲公」	第 65 回日本東洋医学会 〔東京〕	2014 年 6 月 28－29 日	口頭発表
森野初代藤助通貞賽郭真写「松山本草」の資源植物学的意義	第 31 回和漢医薬学会〔千葉〕	2014 年 8 月 30－31 日	口頭発表
『緒方洪庵の薬箱(阪大蔵)』研究：實芰の基原と実地臨床	第 61 回日本生薬学会〔福岡〕	2014 年 9 月 13－14 日	口頭発表
「緒方洪庵の薬箱(大阪大所蔵)」に収納された生薬資料研究：非植物由来生薬の基原	第 47 回日本漢方交流会 全国学術大会 京都大会	2014 年 11 月 23－24 日	口頭発表
動物性生薬『牛黄』の安全性評価：心臓由来培養細胞による検討	日本薬学会第 135 年回〔神戸〕	2015 年 3 月 26－28 日	口頭発表
地域特産果樹を活用した生薬国産化研究：シテイ(KAKI CALYX)の基原と使用動向	日本薬学会第 135 年回〔神戸〕	2015 年 3 月 26－28 日	口頭発表

教授　上田 貴洋

【教育活動】

担当授業

学　期　・　学　部	科　　目　　名
1学期・共通教育科目［全学部］	博物館体験コース［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーI［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーII［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学(I)［共担］
2学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーI［共担］
2学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーII［共担］
通年・理学部（化）	化学特別研究
通年・理学部（化）	化学文献調査
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーI
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーII
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーIII

学生指導

学生数（留学生含む）	留　学　生　数	共同・分担した指導教官人数
2名	0名	2名

学位論文審査等

学位申請者および論文名	主査 / 副査
［博士論文］片岡 沙織 Solution NMR using paramagnetic relaxation enhancement for the structure determination of loop-rich protein prepared with cold-shock vector containing GST tag	副査
［博士論文］篠森 直樹 Studies on the Lateral Diffusion Measurements of Fluorescent Molecules at Liquid/Liquid Interfaces	副査

学外での教育活動（集中講義等）

授　業　科　目　名	機　関　名	期　間
分析化学特論	東洋大学	2014年4―9月

【研究活動】

学術論文

論　文　名	著者名	雑　誌	巻・号・頁	発行年月
Melting Point Elevation of Tetramethylsilane Confined in a Zn-Based Metal-Organic Framework	T. Ushimi K. Miyakubo T. Eguchi T. Ueda	Chemistry Letters	巻：43 号：4 頁：423-425	2014年4月
NMRで見るナノ制約分子―微小空間を舞台にした分子科学―	上田 貴洋	オレオサイエンス	巻：14 号：6 頁：253-260	2014年6月

研究（学会）発表など

タ　イ　ト　ル	場　所	年月日	備　考
マチカネワニ化石産出層（大阪層群中部更新統）における堆積環境の再検討	日本第四紀学会 2014 年大会〔千葉〕	2014 年 9 月 5－9 日	ポスター発表 連名
Substituent Effect on Phase Transition of Guest Molecules Confined in Porous Coordination Polymers	4th International Conference on Metal-Organic Frameworks and Open Framework Compounds〔兵庫〕	2014 年 9 月 28 日 －10 月 1 日	ポスター発表 連名
化石由来生薬「竜骨」の固体 NMR による分析	第 53 回 NMR 討論会〔大阪〕	2014 年 10 月 4－6 日	ポスター発表 連名
多孔性配位高分子 ZIF-8 への蒸気吸着挙動とリンカーダイナミクス	第 28 回日本吸着学会研究発表会〔北海道〕	2014 年 10 月 23－24 日	ポスター発表 連名
多孔性配位高分子 ZIF-8 の分子吸着による構造変化とリンカーダイナミクスの固体 NMR による研究	日本化学会第 95 春季年会〔千葉〕	2015 年 3 月 25－29 日	口頭発表 連名
多孔性配位高分子 ZIF-8 の蒸気吸着速度とその温度依存性	日本化学会第 95 春季年会〔千葉〕	2015 年 3 月 25－29 日	ポスター発表 連名

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアム・レクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場　所	主催者名	年月日
手作り分光器で光を分けよう！	大阪大学豊中キャンパス	千里ライフサイエンス振興財団	2014 年 8 月 20 日

准教授　豊田 二郎

【教育活動】

担当授業

学　期　・　学　部	科　　目　　名
1学期・共通教育科目［工(電)］	化学概論
1学期・共通教育科目［全学部］	博物館体験コース［共担］
1学期・共通教育科目［医(医),薬］	化学実験［共担］
1学期・共通教育科目［理］	自然科学実験2化学［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーI［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーII［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学(I)［共担］
2学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーI［共担］
2学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーII［共担］

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアム・レクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場　　所	主催者名	年月日
大阪中学生サマー・セミナー ホタルの光のひみつ	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪中学生サマー・セミナー推進協議会	2014年 8月5日
夏の小学生科学体験教室 雪は天から送られた手紙である	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館、豊中市立中央公民館	2014年 8月20日
サイエンスカフェ@待兼山 No.122 ホタルの光のひみつ	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2015年 2月14日

准教授　宮久保 圭祐

【教育活動】

担当授業

学　期　・　学　部	科　　目　　名
1学期・共通教育科目［理］	基礎化学1
1学期・共通教育科目［医(医)］	化学概論
1学期・共通教育科目［全学部］	博物館体験コース［共担］
1学期・共通教育科目［歯,基(電,化)］	化学実験［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーI［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーII［共担］
1学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学(I)［共担］
2学期・共通教育科目［医(放,検),基(シ)］	化学実験［共担］
2学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーI［共担］
2学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナーII［共担］

【研究活動】

学術論文

論　　文　　名	著 者 名	雑　誌	巻・号・頁	発行年月
Melting Point Elevation of Tetramethylsilane Confined in a Zn-Based Metal-Organic Framework	T. Ushimi K. Miyakubo T. Eguchi T. Ueda	Chemistry Letters	巻：43 号：4 頁：423-425	2014年4月

研究（学会）発表など

タ　　イ　　ト　　ル	場　　所	年月日	備　考
Substituent Effect on Phase Transition of Guest Molecules Confined in Porous Coordination Polymers	4th International Conference on Metal-Organic Frameworks and Open Framework Compounds〔兵庫〕	2014年 9月28日 ―10月1日	ポスター発表 連名
化石由来生薬「竜骨」の固体NMRによる分析	第53回NMR討論会〔大阪〕	2014年 10月4―6日	ポスター発表 連名

教授　橋爪 節也

【教育活動】

担当授業

学　期　・　学　部	科　　目　　名
1学期・文学部	東洋美術史演習［共担］
1学期・文学部	日本美術史演習
1学期・共通教育科目［全学部］	現代文化を読み解く［共担］
1学期・共通教育科目［全学部］	博物館体験コース［共担］
1学期・文学研究科博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習［共担］
1学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習
1学期・文学研究科博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習［共担］
1学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習
2学期・文学部	東洋美術史演習［共担］
2学期・文学部	日本美術史講義
2学期・文学部	日本美術史演習
2学期・文学研究科博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習［共担］
2学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史講義
2学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習
2学期・文学研究科博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習［共担］
2学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊講義
2学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習
通年・文学部	日本美術史演習(見学演習1)［共担］
通年・文学部	日本美術史演習(見学演習2)［共担］
通年・文学部	博物館学(学内実習)［共担］
通年・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習(見学演習1)［共担］
通年・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習(見学演習2)［共担］
通年・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習(見学演習1)［共担］
通年・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習(見学演習2)［共担］

学生指導

学生数（留学生含む）	留 学 生 数	共同・分担した指導教官人数
29名	1名	3名

学位論文審査等

学 位 申 請 者 お よ び 論 文 名	主査 / 副査
［修士論文］ 与謝蕪村の丹後時代―「十二神仙図屏風」を中心に―	主査
［修士論文］ 聖衆来迎寺所蔵《六道絵》に関する一考察	副査
［博士論文］金子 岳史 日本における画馬の伝統の研究	副査
［博士論文］鈴木 雅子 来迎図の図像解釈　―往生の様相と伝統―	副査
［博士論文］山口 隆介 鎌倉時代彫刻史研究序説―様式・図像・機能―	副査

学位申請者および論文名	主査 / 副査
[博士論文] 曽田 めぐみ 幕末明治期の美術における祈りと遊びの表象 ―河鍋暁斎筆「地獄極楽めぐり図」を中心に―	主査

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
日本美術史特講Ⅲ	愛知県立芸術大学	2014年4月1日ー 2015年3月31日
古美術研究	愛知県立芸術大学	2014年10月1日ー 2015年3月31日
美の感動を生む場所ー美術館	放送大学大阪学習センター（放送大学学園）	2014年10月1日ー 2015年3月31日

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	巻・号・頁	発行年月
明治二十一年の巨獣たち ―大阪府立博物場美術館の天井画群―	橋爪節也	大阪の歴史	号：82 頁：69-95	2014年10月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	掲載誌他	報道年月
風雲ヱハガキ城の光芒 ―奥まった書肆の棚にて―	一枚の絵はがき　頁：1　（阪急古書のまち リーチアート）	2014年4月
翼のある大阪をめぐる旅。	THE ROYAL Summer 2014 （株式会社ロイヤルホテル）	2014年6月
特集◎大阪のほんまもん［第2部］ 近代モダンの花開いた大阪の百貨店文化	ひととき　巻：14　号：8　頁：54-61　（株式会社ウェッジ）	2014年7月
“遊歩者”よろしく、モダニズム逍遥。 ―戎橋筋の文化史遊覧―	戎橋とともに400年 なんば戎橋筋商店街100周年記念誌　頁：57-63　（戎橋筋商店街振興組合）	2014年7月
たゆまず『全集』刊行に進むべし	蒹葭堂だより　号：14　頁：7 （木村蒹葭堂顕彰会）	2014年11月
芸能・文化ジャーナル アヴァンギャルドな村野藤吾 ―大阪エッセンスに満ちた建築の去就は―	上方芸能　号：195　頁：82 （『上方芸能』編集部）	2015年3月
歴史を語り継ぐ[明治・大正・昭和] モダン中之島、アート探訪。	中之島の足あと　頁：10-15 （中之島連合新興町会）	2015年3月
大阪名所 じっくりMAP　ー絵になる街・中之島ー	ぞうさん通信「よんどこ」2015春～初夏 （大阪市民共済生活協同組合）	2015年3月
大坂美術学校を創設した画家 矢野橋村　没後50周年特別所蔵展 美術育んだ枚方を知る機会に	広報 ひらかた　号：1219　頁：40　（枚方市）	2015年3月
発表要旨 旧そごう心斎橋本店・藤川勇造《飛躍》の像再考 ――商都の象徴としてのメルクリウスとかかわって――	大正イマジュリィ　巻：10　頁：228　（大正イマジュリィ学会）	2015年3月
AS TIME GOES BY ～時の過ぎゆくままに～ 春野菜の天ぷらが食べたい……が。 ――わが生涯、最後に選ぶ曲	WHOLE EARTH MAGAZINE FM COCOLO 巻：2　号：5　頁：36 （MtS Publishing Factory）	2014年4月

タ　イ　ト　ル　等	掲　載　誌　他	報道年月
AS TIME GOES BY ～時の過ぎゆくままに～ 　自転車こぎのボレロ	WHOLE EARTH MAGAZINE FM COCOLO 巻：2　号：7　頁：36 （MtS Publishing Factory）	2014年10月
阪神高速開通50周年記念 HANSHIN HIGHWAY 時代の証言（1970年）日本万国博覧会	阪神ハイウェイ　号：195　頁：5 （（一般）阪神高速地域交流センター）	2014年5月
エッセイ 秋 季節の言葉 てるやまもみじ	阪神ハイウェイ　号：196　頁： 見返し（(一般)阪神高速地域交流センター）	2014年10月
エッセイ 冬 季節の言葉 これが冬、しかし、これが喜びをもたらす	阪神ハイウェイ　号：197　頁： 見返し（（一財）阪神高速地域交流センター）	2015年1月
おおさかKEYわーど 第45回 ユネスコの“インターナショナル・ジャズ・デイ”到来 世界のジャズの街、大阪	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：378　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年4月
おおさかKEYわーど 第46回 ふるほん三昧なにわの日々 　古書もまた、都市文化の精髄	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：379　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年5月
おおさかKEYわーど 第47回 “花”と“華”両方ありますが・・・ 　「浪花百景」は花盛り	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：380　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年6月
おおさかKEYわーど 第48回 通天閣がエッフェル塔 オオサカは巴里？	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：381　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年7月
おおさかKEYわーど 第49回 もちこんだ化石は大発見 発見50周年マチカネワニ化石を見よ	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：382　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年8月
おおさかKEYわーど 第50回 道頓堀に幻の名水　秋田屋の井戸はいずこに・・・	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：383　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年9月
おおさかKEYわーど 第51回 「時空の旅」学童疎開70年 ―成瀬少年の見たもの―	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：384　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年10月
おおさかKEYわーど 第52回 母校の歴史も知りたいし・・・ ―動きはじめた大阪の大学博物館―	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：385　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年11月
おおさかKEYわーど 第53回 ネオンサインの大阪は・・・ ―赤い灯青い灯どうとんぼり―	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：386　頁：3 （大阪市教育委員会）	2014年12月
おおさかKEYわーど 第54回 色彩の都オオサカ ―画材と塗料の大手がこの街に―	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：387　頁：3 （大阪市教育委員会）	2015年2月
おおさかKEYわーど 第55回 花から花へかつて咲き誇った"桃花"幻想	生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：388　頁：3 （大阪市教育委員会）	2015年3月
なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く⑧ 時空の旅へ 学童集団疎開を描く	大阪春秋　巻：42　号：154　頁： 89-91　（株式会社 新風書房）	2014年4月
美しき装釘 ――藤澤桓夫と美術家たち	大阪春秋　巻：42　号：155　頁： 30-33　（株式会社 新風書房）	2014年7月
なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く⑨ 落語を描く	大阪春秋　巻：42　号：155　頁： 87-89　（株式会社 新風書房）	2014年7月

タ　イ　ト　ル　等	掲　載　誌　他	報道年月
なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く⑩ おおさかの風俗画	大阪春秋　巻：42　号：156　頁：99-101　(株式会社 新風書房)	2014 年 10 月
「絵を飾る人のキモチ」 第 4 回 まことのとこのま／とこのまのこと ー日本流アンチーム(intime)な展示空間ー	SUMUFUMULAB COLUMN[いきかたのカタチ] Web 掲載 (積水ハウス)	2014 年 7 月
「絵を飾る人のキモチ」 第 5 回 都心ノ病院ニテ“絵画”ヲ見タルコト	SUMUFUMULAB COLUMN[いきかたのカタチ] Web 掲載 (積水ハウス)	2014 年 12 月

研究（学会）発表など

タ　イ　ト　ル	場　所	年月日	備　考
Geological Materials in Japanese natural history: Focus on Morino stone collection in the Edo Period	APRU Research Symposium on UNIVERSITY MUSEUMS 2014〔台湾〕	2014 年 5 月 21ー22 日	連名

報 道

タ　イ　ト　ル	場　所	年月日	備　考
大阪調査隊 パロディーで生き抜く商魂 菓子メーカー「オリオン」のお家芸	産経新聞	2014 年 6 月 7 日	コメント掲載
第 2 特集～今東光資料館 八尾を代表するあの作家が帰ってきました。	八尾市観光協会 (Yaomania　号：2 頁：11)	2014 年 6 月 10 日	コメント掲載 Vol.2 夏号
派手好みの系譜(下) 明治～大正～昭和 モガが美を競った心斎橋	産経新聞	2014 年 6 月 28 日	コメント掲載
文学周遊 429 純粋の大阪人である楢重もまた、温気の中毒者である。	日本経済新聞	2014 年 9 月 20 日	コメント掲載
未来都市へ“民族大移動” 見た、並んだ、大阪万博 〈遠見卓見〉 万博経験者の聞き取り必要	日本経済新聞出版社 (熱風の日本史 頁：282-283)	2014 年 11 月 19 日	
HOTEL NEW OSAKA 英文字パンフレット	株式会社ロイヤルホテル (THE ROYAL Winter 2014-2015)	2014 年 12 月	図版提供
第 63 回 平成 27 年度 今宮戎神社福娘発表会	BS11 (17:00～)	2014 年 12 月 29 日	審査員
大阪にも国会議事堂がある？　街のシンボル、いちびり精神　遊び感覚を建築に　つくりものの伝統根付く	日本経済新聞	2015 年 2 月 3 日	コメント掲載

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期　間	継続 / 新規
科学研究費補助金：挑戦的萌芽研究 博物学標本資料に基づく大阪学の確立:木村蒹葭堂と交遊ネットワークによる包括的研究	橋爪 節也	2013ー 2014 年度	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場　　所	主催者名	年月日
はびきの市民大学 芸術の都・大阪-再発見　近代大阪の美術・音楽・演劇 戦後の大阪モダニズムと美術-小出楢重と北野恒富ほか-	羽曳野市立生活文化情報センター〔大阪〕	羽曳野市 市民人権部 市民協働ふれあい課	2014 年 4 月 24 日
近代美術座談会 「大阪画壇とは何か？ー明治・大正の美術界を語る」	吹田市立博物館〔大阪〕	吹田市立博物館	2014 年 5 月 18 日
記念講演会 ～戦前モダニズムから戦後アヴァンギャルド芸術まで～ “大阪がとんがっていた時代”を再考する	ニューオーサカホテル心斎橋〔大阪〕	なにわ名物開発研究会	2014 年 5 月 23 日
アートアイランド探索 ―モダニズム時代の大阪を発信する中之島―	大阪マルビル	北倶楽部	2014 年 5 月 30 日
2014 年度 立命館大阪プロムナードセミナー 大阪・京都文化講座 前期 「水の都」京都と大坂 ―水辺をめぐる二都物語― 第 4 回 都市への画家のまなざし―水都大阪のイメージはどのように絵画化されたか―	立命館大阪梅田キャンパス	大阪大学大学院文学研究科、大阪大学 21 世紀懐徳堂、立命館大学文学部、立命館大阪オフィス	2014 年 6 月 9 日
道頓堀探検 ー大正時代の道頓堀と今後の街造りを目指してー	千日前弘昌寺〔大阪〕	水都の会	2014 年 6 月 11 日
はびきの市民大学 芸術の都・大阪-再発見　近代大阪の美術・音楽・演劇 戦後の大阪アヴァンギャルド-終戦から‘70 万博まで-	羽曳野市立生活文化情報センター〔大阪〕	羽曳野市 市民人権部 市民協働ふれあい課	2014 年 7 月 3 日
「大阪春秋」第 155 号発刊記念シンポジウム（本誌第 44 回講演会）没後 25 年・生誕 110 年 回想・小説家 藤澤桓夫のモダン大阪　トークライブ 「藤澤文学の魅力・モダン大阪そのものの小説」	大阪市立中央図書館	大阪市立中央図書館	2014 年 7 月 13 日
サントリー文化財団研究助成プロジェクト第 1 回国際シンポジウム 「東アジアにおける大衆的図像の視覚文化論」全体討論	同志社大学今出川校〔京都〕	広告レトリック研究会（科学研究費助成事業[基盤研究 C] 研究代表者・岸文和）	2014 年 8 月 22 日
常翔歴史館 開館記念講演会 《モダン都市 大阪》の原風景を求めて ―映画「大大阪観光」が織りなす都市イメージ―	大阪工業大学	常翔歴史館	2014 年 9 月 27 日
特別展「村野藤吾 やわらかな建築とインテリア」座談会 村野藤吾と大阪の文化を語る―建築・アート・まちなみ― 村野建築を飾ったアーチストたち ー藤川勇造、辻普堂とその時代ー	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館	2014 年 10 月 4 日
天神寄席　名人・達人・職人の落語会　座談会	天満天神繁昌亭	公益財団法人上方落語協会	2014 年 10 月 25 日
豊中市小・中学校理科展 受賞作品表彰式 「大阪大学総合学術博物館長賞」 「大阪大学総合学術博物館待兼山賞」	豊中市教育センター〔大阪〕	豊中市教育センター	2014 年 11 月 15 日
シンポジウム「大学ミュージアムを熱く語る！ ー街と大学の記憶をめぐってー」基調報告 “待兼山少年”プロジェクトー大学と地域の“記憶”によるキャンパスのエコミュージアム化	大阪大学中之島センター	大阪大学総合学術博物館、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会	2014 年 11 月 23 日

講 演 名 ・ 題 目	場　　所	主催者名	年月日
第63回 平成27年度今宮神社福娘発表会（審査員）	大阪商工会議所	今宮戎神社	2014年 12月7日
トークイベント「阪大石橋宿舎おみおくり・プロジェクト」	大阪市中央公会堂	大阪大学総合学術博物館、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会	2014年 12月9日
大阪市中央公会堂展示室オープン記念 講演会 華麗なる歴史 ――中央公会堂はアートとともに――	大阪市中央公会堂	大阪市	2014年 12月11日
大阪まちなかカレッジ＜歴史文化　もうひとつの大阪を探検する＞『浪花百景』から大大阪まで 「ふたたび『浪花百景』ー絵師の描く幕末の大坂にタイムトラベルするとー」	大阪市立難波市民学習センター	大阪まちなかカレッジ	2014年 12月12日
サントリー文化財団研究助成プロジェクト第2回国際シンポジウム「東アジアにおける大衆的図像の視覚文化論」対談	同志社大学今出川校〔京都〕	大正イマジュリィ学会	2014年 12月27日
ミュージアムレクチャー 朝の光が待てなくて―水墨画家松本奉山と関西―	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2015年 1月10日
第14回なにわ歴史シンポジウム 上町台地未来遺産フェスタ 第1部 講演 道頓堀から淀君へ ―アートにみる400年―	大阪歴史博物館	エリーニ・ユネスコ協会	2015年 1月11日
第14回なにわ歴史シンポジウム 上町台地未来遺産フェスタ 第2部 パネルディスカッション 大坂の陣と道頓堀	大阪歴史博物館	エリーニ・ユネスコ協会	2015年 1月11日
第52回 なにわ芸術祭新人賞選出 新進落語家競演会（審査員）	天満天神繁盛亭〔大阪〕	上方落語協会、産経新聞社	2015年 1月16日
ラボカフェスペシャル アヴァンギャルド？ オオサカ ここは大阪 なかのしま ～私流・中之島論	アートエリアB1〔大阪〕	大阪大学総合学術博物館、JST(科学技術振興機構)科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成型」	2015年 1月31日
大阪まちなかカレッジ＜歴史文化　もうひとつの大阪を探検する＞『浪花百景』から大大阪まで 「木村蒹葭堂-町人に支えられた大坂の文化サロン-」	大阪市立難波市民学習センター	大阪まちなかカレッジ	2015年 2月6日
大阪まちなかカレッジ＜歴史文化　もうひとつの大阪を探検する＞『浪花百景』から大大阪まで 「大大阪を読み解く」～『大大阪イメージ―増殖するマンモス/モダン都市の幻像』より～	大阪市立難波市民学習センター	大阪まちなかカレッジ	2015年 2月20日
文楽の将来を考えるフォーラム	追手門学院 大阪城スクエア	関西楽劇フェスティバル協議会	2015年 3月10日
コレクショントーク 「憧れの百貨店・商店街と大阪の都市居住文化」	高津宮〔大阪〕	大阪ガスエネルギー・文化研究所（CEL）	2015年 3月14日
中之島の地域誌『中之島の足あと』完成お披露目会 講演会	大阪大学中之島センター	月刊島民ナカノシマ大学事務局	2015年 3月15日
中之島ルネサンス「サロン・ド・中之島 ～ミューズが微笑むナカノシマ～」	大阪府立中之島図書館、大阪市中央公会堂	大阪府立中之島図書館	2015年 3月23日

助教　横田 洋

【教育活動】

担当授業

学　期　・　学　部	科　　目　　名
1学期・共通教育科目［全学部］	博物館体験コース［共担］
通年・文学部	博物館学(学内実習)［共担］

学外での教育活動（集中講義等）

授　業　科　目　名	機　関　名	期　　間
映画の歴史	大手前大学	2014年9月ー 2015年3月
国際社会と日本文化Ⅲ（伝統芸能）	大阪国際大学	2014年10月ー 2015年3月

【研究活動】

著　書

著　　書　　名	著 者 名	出版社	頁　数	発行年月
近代日本演劇の記憶と文化 1 忘れられた演劇	神山彰　編	森話社	352頁	2014年 5月
近代日本演劇の記憶と文化 2 商業演劇の光芒	神山彰　編	森話社	376頁	2014年 12月

研究（学会）発表など

タ　　イ　　ト　　ル	場　　所	年月日	備　考
明治期の映画取り締まりについて	日本映像学会 第40回大会〔沖縄〕	2014年 6月8日	口頭発表

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期　間	継続 / 新規
科学研究費補助金：若手研究(B) 日本の初期映画の制度的環境に関する研究	横田 洋	2012ー 2014年度	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアム・レクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場　　所	主催者名	年月日
はびきの市民大学 芸術の都・大阪-再発見　近代大阪の美術・音楽・演劇 明治大正期の大阪の演劇	羽曳野市立生活文化情報センター〔大阪〕	羽曳野市 市民人権部 市民協働ふれあい課	2014年 5月22日
はびきの市民大学 昭和初期の大阪の演劇	羽曳野市立生活文化情報センター〔大阪〕	羽曳野市 市民人権部 市民協働ふれあい課	2014年 6月19日

特任講師（常勤）　松永 和浩

【教育活動】

担当授業

学　期　・　学　部	科　　目　　名
1学期・共通教育科目	博物館体験コース［共担］
通年・文学部	博物館学(学内実習)［共担］

学外での教育活動（集中講義等）

授　業　科　目　名	機　　関　　名	期　　間
人間と文化C（国際関係史A）	帝塚山大学	2014年4－8月
人間と文化D（国際関係史B）	帝塚山大学	2014年9月－ 2015年3月

【研究活動】

学術論文

論　　文　　名	著 者 名	雑　誌	巻・号・頁	発行年月
「森野旧薬園文書」翻刻の構想 ―多分野研究における歴史資料の活用を目指して―	松永和浩	生物工学会誌	巻：92 号：7 頁：340-343	2014年7月
南北朝内乱と公武関係	松永和浩	〈生活と文化の歴史学〉	巻：5 頁：40-65	2014年10月

著書

著　　書　　名	著 者 名	出版社	頁　数	発行年月
大阪大学総合学術博物館叢書〈11〉 漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー	高橋京子・小山鐵夫編著	大阪大学出版会	頁：23-40	2015年3月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タ　イ　ト　ル　等	掲　載　誌　他	報道年月
大阪大学総合学術博物館における学芸員養成の取り組み	MUSEO ACADEMIAE 大学博物館等協議会ニューズレター　号：16 頁：7-9　（大学博物館等協議会）	2014年6月
「マッサン」を輩出した大阪高工醸造科	阪大NOW　号：143　頁：14-21 （大阪大学）	2015年1月
ジャパニーズ・ウイスキーを誕生させた山崎蒸溜所初代ポットスチル	会誌『ヒストリア』　号：248 頁：100-107　（大阪歴史学会）	2015年2月

研究（学会）発表など

タ　イ　ト　ル	場　　所	年月日	備　考
Cultural property repair and publication for promotion of registration in the World Heritage	APRU Research Symposium on UNIVERSITY MUSEUMS 2014〔台湾〕	2014年 5月20―23日	ポスター発表
文化財の修復・公開と世界遺産登録の推進	第9回博物科学会〔愛媛〕	2014年 6月19―20日	ポスター発表

報　道

タ　イ　ト　ル	場　　所	年月日	備　考
NHK平成26年度後期連続テレビ小説「マッサン」	日本放送協会(NHK)	2014年2月― 2015年3月	洋酒関係資料提供
酔いしれた醸造学の父 揖斐川町に「マッサン」恩師	中日新聞	2015年 2月13日	
竹鶴政孝とリタ～国産ウイスキーへの夢～	アサヒビール吹田工場	2015年 2月13日	資料提供

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期　間	継続 / 新規
科学研究費補助金：挑戦的萌芽研究［分担金］ 博物学標本資料に基づく大阪学の確立：木村蒹葭堂と交遊ネットワークによる包括的研究	橋爪 節也	2014年度	新規
科学研究費補助金：基盤研究(B)［分担金］ 本草学の新展開： 医療文化財の非破壊分析法の開発と復元応用	高橋 京子	2014年度	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアム・レクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場　　所	主催者名	年月日
大阪大学21世紀懐徳堂i-spot講座 「マッサン」～竹鶴雅孝物語 ―ジャパニーズ・ウイスキーの誕生と大坂―	大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」	大阪大学21世紀懐徳堂、大阪市都市計画局	2014年 9月22日
豊中市 冬の歴史講座 「マッサン」～竹鶴雅孝物語 ―ジャパニーズ・ウイスキーの誕生と大坂―	原田しろあと館(原田城跡・旧羽室家住宅)〔大阪〕	豊中市教育委員会	2015年 2月15日
サイエンスカフェ@待兼山 No.126 「マッサン」と竹鶴政孝 ―ドラマと史実の“ビミョーな距離感”―	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館	大阪大学総合学術博物館	2015年 3月14日
大阪大学ウイスキー開発プロジェクト 製品完成記念イベント「ジャパニーズ・ウイスキーのレジェンド3／4」	大阪大学中之島センター	大阪大学	2015年 3月19日

8. 資料

掲載項目

・2014 年度の主な活動一覧
・入館者数及びアンケート集計結果一覧
・団体見学一覧
・受賞・表彰等一覧
・関連記事一覧
・寄贈図書一覧
・館内配置図

2014 年度の主な活動一覧

期　間	主 な 活 動
2014年	
4月26日～7月19日	大阪大学総合学術博物館 第７回特別展「漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：森野旧薬園、高知県立牧野植物園　協力：農研機構 九州沖縄農業研究センター、㈱栃本天海堂、小太郎漢方製薬㈱、奈良県、パナソニック㈱、大阪大学大学院薬学研究科、兵庫県立人と自然の博物館、大阪大学 21 世紀懐徳堂、大阪大学適塾記念センター　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館、大阪大学会館）
5月10日	大阪大学総合学術博物館 第 61 回ミュージアム・レクチャー「森野旧薬園と松山本草：薬草のタイムカプセル」を開催した。（講師：大阪大学総合学術博物館　髙橋京子　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
5月10日	「第 11 回植物探検隊 @ 春の待兼山を訪ねて」が開催された。（主催：大阪大学 21 世紀懐徳堂　協力：大阪大学総合学術博物博物館）
5月17日	大阪大学総合学術博物館 ワークショップ「450 年の伝統を今に伝える～吉野本葛」（株式会社 森野吉野葛本舗）を開催した。（会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
5月17日	「第 11 回植物探検隊 @ 春の待兼山を訪ねて」が開催された。（主催：大阪大学 21 世紀懐徳堂　協力：大阪大学総合学術博物博物館）
5月31日	大阪大学総合学術博物館 第 62 回ミュージアム・レクチャー「植物園の歴史をひも解く：薬草研究から植物学へ」（講師：高知県立牧野植物園　田中伸幸氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
6月7日	大阪大学総合学術博物館 学術シンポジウム「医・薬・理・農学の共創的連携：22 世紀の薬草政策につなぐ今」を開催した。（シンポジスト：高知県立牧野植物園 名誉園長　小山鐵夫氏、国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長　合田幸広氏、奈良県立医科大学大和漢方医学薬学センター 特任教授　三谷和男氏、農研機構 中央農業総合研究センター 主任研究員　後藤一寿氏、㈱栃本天海堂 副社長　姜東孝氏、大阪大学総合学術博物館 准教授　髙橋京子　会場：大阪大学会館）
6月14日	大阪大学総合学術博物館 ワークショップ「漢方をよりよく、より多くの人に」（小太郎漢方製薬 株式会社）を開催した。（会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
7月5日～12月9日	阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクトを開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学大学院文学研究科　協力：大阪大学大学院工学研究科、大阪大学大学院情報科学研究科、大阪芸術大学、かんさい・大学ミュージアムネットワーク、大阪大学 21 世紀懐徳堂　会場：大阪大学石橋職員宿舎 他）
7月5日～2015年3月31日	人材育成プログラム「劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業ー〈声なき声、いたるところにかかわりの声、そして私の声〉芸術祭Ⅱー」が開催された。（主催：大阪大学文学研究科　共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター、大阪大学国際公共政策研究科、大阪大学総合学術博物館　助成：平成 25 年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」「劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業」）
7月12日	大阪大学総合学術博物館 第 63 回ミュージアム・レクチャー「大和産生薬を守れ：栽培指導者の育成」（講師：奈良県医療政策部 薬務課　辻元康人氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
7月19日	大阪大学総合学術博物館 ワークショップ「生薬にー意専心～五感でみる生薬の品質」（株式会社 栃本天海堂）を開催した。（会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
7月26日～8月30日	マチカネワニ化石発見 50 周年記念事業 大阪大学総合学術博物館 2014 年夏期特集展覧会「奇跡の古代鰐 マチカネワニー発見 50 年の軌跡ー」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市・豊中市教育委員会　協力：北海道大学総合博物館、京都造形芸術大学、兵庫県立大学自然・環境科学研究所、早稲田大学、大阪 ECO 動物海洋専門学校、大阪市立自然史博物館、きしわだ自然資料館、兵庫県立人と自然の博物館、和歌山県立自然博物館、島根県立三瓶自然館、栃木県立博物館、北九州市立自然史歴史博物館、近畿地学会、益富地学会館、パナソニック㈱、海洋堂㈱、大成モナック㈱、大阪大学 21 世紀懐徳堂　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）

期　間	主 な 活 動
8月2日	大阪大学総合学術博物館 豊中市との共催企画 ワークショップ「ガチンコ化石調査体験！マチカネワニがいた時代の化石を発見しよう！！」を開催した。(講師：きしわだ自然資料館 渡辺克典氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月5日	平成 26 年 大阪中学生サマー・セミナー 大阪大学総合学術博物館開設講座「ホタルの光のひみつ」が開催された。(主催：大阪中学生サマー・セミナー推進協議会　後援：大阪府 講師：大阪大学総合学術博物館　豊田二郎　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月9日	大阪大学総合学術博物館 豊中市との共催企画 ワークショップ「世界に一つだけのマチカネワニを作ろう！」を開催した。(講師：株式会社 海洋堂　古田悟郎氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月19日	平成 26 年度 夏の小学生科学体験教室「めざせ！考古学者　なつやすみ考古学教室」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館、豊中市立中央公民館　講師：大阪大学埋蔵文化調査室　中久保辰夫氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月20日	平成 26 年度 夏の小学生科学体験教室「雪は天から送られた手紙である」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館、豊中市立中央公民館　講師：大阪大学総合学術博物館　豊田二郎　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月21日	平成 26 年度 夏の小学生科学体験教室「すごい機能を持ったポリマーをさがしてみよう」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館、豊中市立中央公民館　講師：大阪大学理学研究科　青島貞人氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月22日	大阪大学総合学術博物館 豊中市との共催企画 ワークショップ「レゴブロックでワニを作ろう」を開催した。(講師：大阪大学レゴ部一同　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
9月8日～9月13日	大阪大学美術部夏部展「にわにはわにがい展 阪美の夏 2014」を開催した。(主催：大阪大学美術部　共催：大阪大学総合学術博物館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
9月13日	大阪大学美術部夏部展ワークショップ「阪大うちわをつくろう」を開催した。(講師：大阪大学美術部部員　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
10月11日	「第 12 回植物探検隊 @ 秋の待兼山を訪ねて」が開催された。(主催：大阪大学 21 世紀懐徳堂　協力：大阪大学総合学術博物館　講師：大阪大学 21 世紀懐徳堂招へい研究員・大阪大学出版会『キャンパスに咲く花』編著　栗原佐智子氏)
10月12日	「第30回 湯川記念講演会」が開催された。(主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室　共催：日本物理学会大阪支部　後援：日本物理教育学会近畿支部　講師：東北大学大学院理学研究科教授　今井正幸氏、橋本幸士氏　会場：大阪大学中之島センター 10 階　佐治敬三メモリアルホール)
10月18日～11月22日（毎週土曜日）	「最先端の物理を高校生に Saturday Afternoon Physics 2014　6 週間でファラデーになろう！」(全 6 回) が開催された。(主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室　共催：大阪大学大学院理学研究科、大阪大学大学院工学研究科、大阪大学大学院基礎工学研究科、大阪大学全学教育推進機構、大阪大学核物理研究センター、大阪大学レーザーエネルギー学研究センター　後援：大阪府教育委員会、京都府教育委員会、奈良県教育委員会、兵庫県教育委員会、京都市教育委員会、大阪府高等学校理化教育研究会、日本物理教育学会近畿支部、朝日新聞社、大阪大学大学院工学研究科附属フロンティア研究センター　場所：大阪大学豊中キャンパス)
10月25日	「第 12 回植物探検隊 @ 秋の待兼山を訪ねて」が開催された。(主催：大阪大学 21 世紀懐徳堂　協力：大阪大学総合学術博物館　講師：大阪大学 21 世紀懐徳堂招へい研究員・大阪大学出版会『キャンパスに咲く花』編著　栗原佐智子氏)
10月25日～2015年1月16日	世界結晶年 2014（International Year of Crystallography 2014）記念 大阪大学総合学術博物館 第 18 回企画展「魅惑の美 Crystal ―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学蛋白質研究所　共催：大阪大学大学院理学研究科、Protein Data Bank Japan　協力：日本結晶学会、リガク株式会社、日本電波株式会社、株式会社福田結晶技術研究所、株式会社イーディーピー、大阪大学 21 世紀懐徳堂　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月1日～11月28日	大阪大学総合学術博物館 阪大生がつくった展覧会 2014 ベスト「新劇の菊枝 ーくるみ座の女優 毛利菊枝ー」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館　会場：大阪大学会館)

期　間	主 な 活 動
11月16日	マチカネワニ化石発見 50 周年記念事業 大阪大学シンポジウム「マチカネワニ・サミット 2014」を開催した。(主催：大阪大学　企画：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市・豊中市教育委員会　協賛：北海道大学総合博物館　後援：大阪府教育委員会、朝日新聞社、産経新聞大阪本社、日本経済新聞社大阪本社、毎日新聞社、読売新聞社　協力：大阪市立自然史博物館、大阪大学 21 世紀懐徳堂)
11月22日	大阪大学総合学術博物館 体験教室「のぞいてみよう結晶の世界」を開催した。(講師：大阪大学蛋白質研究所 教授　栗栖源嗣氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月23日	シンポジウム「大学ミュージアムを熱く語る！ ―街と大学の記憶をめぐって―」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会　後援：全国大学博物館等協議会　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　出演者：大阪芸術大学博物館　柳知明氏、大阪商業大学商業史博物館　明尾圭造氏、北海道大学総合博物館　藤田良治氏、愛媛大学ミュージアム　徳田明仁氏、大阪大学総合学術博物館　橋爪節也、大阪天満宮文化研究所　高島幸次氏、関西大学博物館　熊博毅氏、大阪商業大学商業史博物館　伊木稔氏　会場：大阪大学中之島センター 10 階 佐治敬三メモリアルホール)
11月29日	日本動物学会近畿支部講演会「見え方の仕組み」が開催された。(主催：日本動物学会近畿支部　共催：大阪大学総合学術博物館　講師：大阪大学名誉教授　木下修一氏、大阪大学大学院生命機能研究科　河村悟氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月6日	サイエンスカフェ @ 待兼山 No.117「ゲノム編集ってどんな技術？ ～遺伝子組み換えマウスの未来～」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学微生物学研究所　伊川正人氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月9日	トークイベント「阪大石橋宿舎おみおくり・プロジェクト」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会　後援：全国大学博物館等協議会　協力：大阪芸術大学、大阪大学 21 世紀懐徳堂　出演者：大阪大学総合学術博物館　橋爪節也、美術家　伊達伸明氏　大阪大学大学院工学研究科　小浦久子氏、大阪大学大学院情報科学研究科　安藤英由樹氏、大阪大学大学院国際公共政策研究科　富田大介氏、大阪大学大学院文学研究科　永田靖氏、大阪大学大学院文学研究科　山崎達哉氏、音楽家・音楽プロデューサー・大阪芸術大学音楽学科非常勤講師　宇都宮泰氏　会場：大阪市中央公会堂)
12月10日 ～2015年1月23日	大阪大学総合学術博物館 阪大生がつくった展覧会 2014 ベスト「松本奉山 THE SUIBOKU EYES」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館　会場：大阪大学会館)
12月13日	大阪大学総合学術博物館 ワークショップ わくわくこども教室「筆と墨で絵を描こう」を開催した。(講師：松本奉山水墨画会　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月13日	大阪大学総合学術博物館 体験教室「雪は天から送られた手紙である」を開催した。(講師：大阪大学総合学術博物館 准教授　豊田二郎　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月20日	世界結晶年 2014（International Year of Crystallography 2014）記念 シンポジウム「魅惑の美 Crystal ―最先端科学が拓く新しい結晶の魅力―」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館、大阪大学蛋白質研究所　共催：大阪大学大学院理学研究科、Protein Data Bank Japan　協力：日本結晶学会、株式会社リガク、日本電波工業株式会社、株式会社福田結晶技術研究所、株式会社イーディーピー、大阪大学 21 世紀懐徳堂　講演者：大阪大学蛋白質研究所 教授　栗栖源嗣氏、東京理科大学グリーン & セーフティ研究センター長　中井泉氏、画家　森山知己氏、㈱イーディーピー 代表取締役社長　藤森直治氏　会場：大阪大学基礎工学部国際棟Σホール)
2015年	
1月10日	大阪大学総合学術博物館 ミュージアムレクチャー「朝の光が待てなくて―水墨画家松本奉山と関西―」を開催した。(講師：大阪大学総合学術博物館教授　橋爪節也　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
1月10日	サイエンスカフェ @ 待兼山 No.118「錯覚を利用したインタフェース」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学大学院情報科学研究科　安藤英由樹氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)

期　間	主 な 活 動
1月24日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.119「紛争解決の新しい方式」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学大学院法学研究科　仁木恒夫氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
1月31日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.120「ニュートリノが解き明かす不思議」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学大学院理学研究科　佐藤透氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
1月31日	ラボカフェスペシャル「アヴァンギャルド？ オオサカ　ここは大阪 なかのしま ～私流・中之島論」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　支援：JST（科学技術振興機構）科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成型」　会場：アートエリア B1、大阪市中央公会堂）
2月7日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.121「「食べる」はたらきを科学してみよう」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学大学院歯学部招聘教授・新潟大学医歯学総合研究科　小野高裕氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
2月14日	マチカネワニ発掘 50 周年記念企画「高校生マチカネワニクイズ王決定戦」が開催された。（主催：豊中市教育委員会　共催：大阪大学総合学術博物館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館、大阪大学会館）
2月14日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.122「ホタルの光のひみつ」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学総合学術博物館　豊田二郎　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
2月21日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.123「絵巻物賞翫」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学大学院文学研究科　橋本遼太氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
2月28日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.124「コンピューターで分子を“見て”みよう」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学大学院理学研究科　川上貴資氏　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
3月7日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.125「マーケット化石群集を考える」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学総合学術博物館　西岡佑一郎　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
3月14日	サイエンスカフェ＠待兼山 No.126「「マッサン」と竹鶴政孝 ―ドラマと史実の“ビミョーな距離感”―」を開催した。（主催：大阪大学総合学術博物館　共催：豊中市立中央公民館　協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂　講師：大阪大学総合学術博物館　松永和浩　会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）

入館者数及びアンケート集計結果一覧

・2014 年度 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 入館者数

第 7 回特別展
会　　期：4 月 26 日(土) ～ 7 月 19 日(土)
入館者数：5,423 人

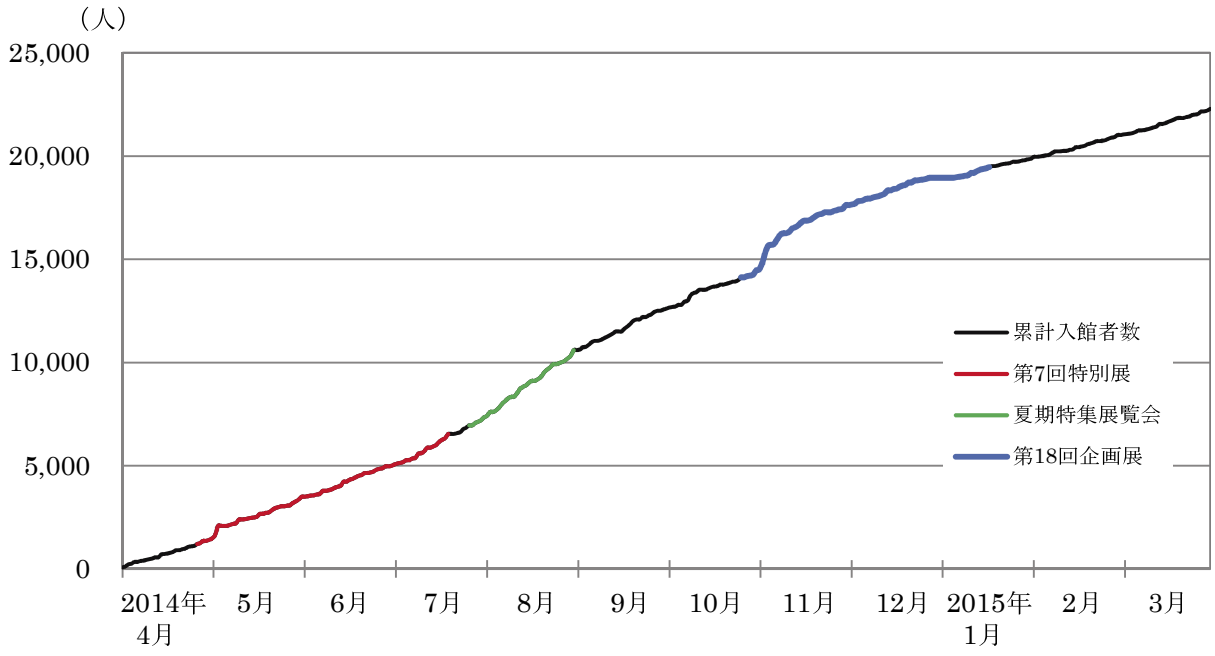
マチカネワニ化石発見 50 周年記念事業
2014 年夏期特集展覧会
会　　期：7 月 26 日(土) ～ 8 月 30 日(土)
入館者数：3,757 人

第 18 回企画展
世界結晶年 2014（International Year of Crystallography 2014）記念
会　　期：10 月 25 日(土) ～ 2015 年 1 月 16 日(金)
入館者数：5,481 人

休館日：日曜・祝日、年末年始
（12 月 28 日(日) ～ 2015 年 1 月 4 日(日)）
ただし、下記の日は開館
4 月 27 日(日)、5 月 3 日(土・祝)、
11 月 2 日(日)、11 月 3 日(月・振休)
2015 年 1 月 12 日(月・祝)

（単位：人）

	入 館 者 数
2014 年 4 月	1,416
5 月	2,086
6 月	1,495
7 月	2,347
8 月	3,259
9 月	2,007
10 月	1,897
11 月	3,120
12 月	1,322
2015 年 1 月	1,015
2 月	1,055
3 月	1,272
合計	22,291



※以下の内容のアンケート（任意記入）を実施した。

大阪大学総合学術博物館ー待兼山修学館
アンケート

本日はご来館いただき誠にありがとうございます。今後の参考のため、皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。以下の項目の該当する欄にチェック ☑ をつけてください。

■ 来館日 _____年 _____月 _____日（ ）

■ 年齢 □１０代未満 □１０代 □２０代 □３０代 □４０代
□５０代 □６０代 □７０代以上

■ 住所 □大阪府 □京都府 □兵庫県 □奈良県 □和歌山県 □滋賀県
□その他（ ）

■ 学年 □小学生未満 □小学生 □中学生 □高校生 □大学生・大学院生（阪大）
□大学生・大学院生（阪大以外）□専門学校生 □一般（ ）

■ 大阪大学総合学術博物館ー待兼山修学館についてお尋ねします。

Ｑ１ どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数可）
□通りがかり □パンフレット □ホームページ □ガイドブック等
□友人・知人より □その他（ ）

Ｑ２ どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）
１階 □玄関ホールのマチカネワニ □世界にはばたく研究者
□コンピュータの黎明期
２階 □大阪大学の系譜 □みる科学
３階 □待兼山に学ぶ
Ｒ階 □自然教室
□その他（ ）

Ｑ３ 来館は何回目ですか？
□はじめて □２回目 □３回目 □４回目以上

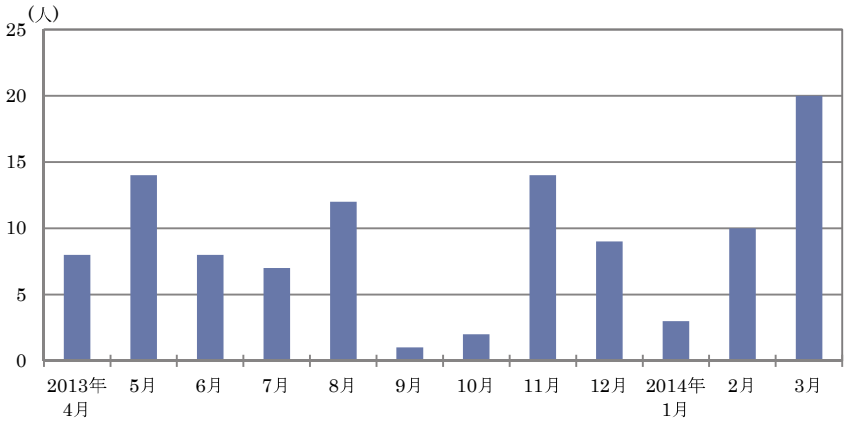
Ｑ４ その他ご意見・ご感想などをお書き下さい。

アンケートにお答え頂きありがとうございました。
貴重なご意見・ご感想などを今後の総合学術博物館発展のため、参考とさせて頂きます。

大阪大学総合学術博物館

・アンケート集計結果

◆ アンケート回答総数



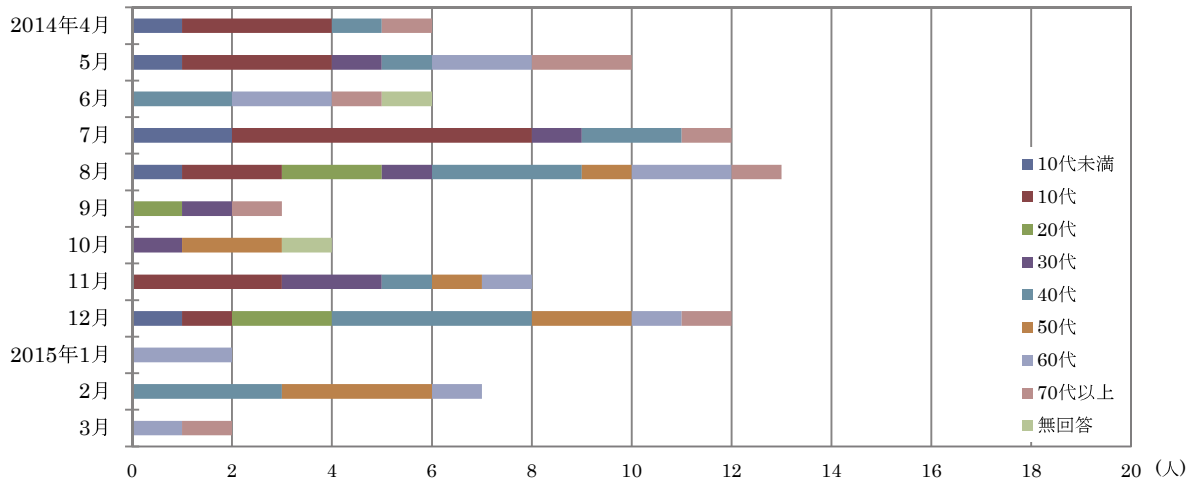
（単位：人）

2014 年 4 月	6
5 月	10
6 月	6
7 月	12
8 月	13
9 月	3
10 月	4
11 月	8
12 月	12
2015 年 1 月	2
2 月	7
3 月	2
合計	85

■ 年齢分布

（単位：人）

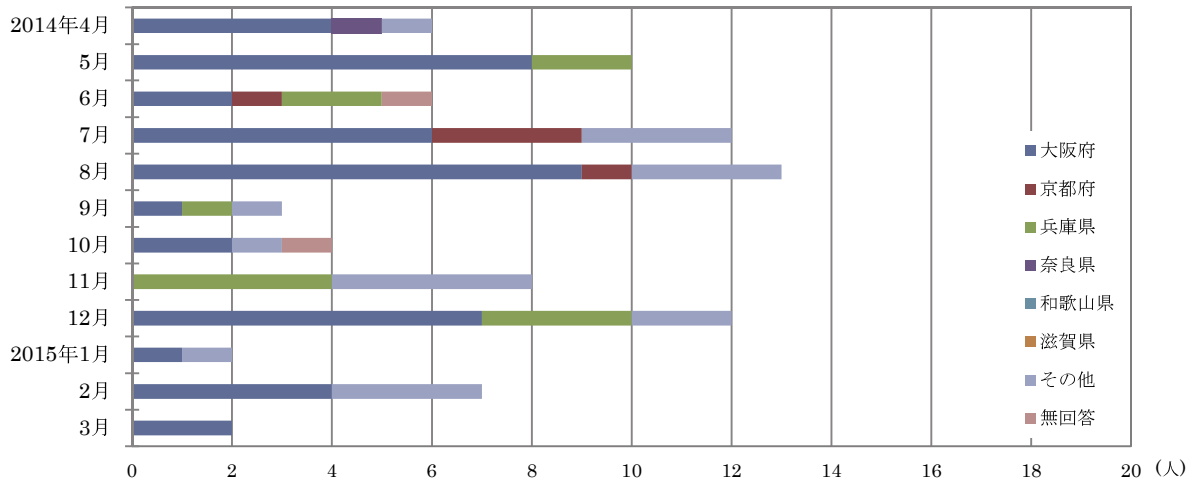
	10 代未満	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	無回答
2014 年 4 月	1	3	0	0	1	0	0	1	0
5 月	1	3	0	1	1	0	2	2	0
6 月	0	0	0	0	2	0	2	1	1
7 月	2	6	0	1	2	0	0	1	0
8 月	1	2	2	1	3	1	2	1	0
9 月	0	0	1	1	0	0	0	1	0
10 月	0	0	0	1	0	2	0	0	1
11 月	0	3	0	2	1	1	1	0	0
12 月	1	1	2	0	4	2	1	1	0
2015 年 1 月	0	0	0	0	0	0	2	0	0
2 月	0	0	0	0	3	3	1	0	0
3 月	0	0	0	0	0	0	1	1	0
合計	6	18	5	7	17	9	12	9	2



■住所分布

（単位：人）

	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	その他	無回答
2014 年 4 月	4	0	0	1	0	0	1	0
5 月	8	0	2	0	0	0	0	0
6 月	2	1	2	0	0	0	0	1
7 月	6	3	0	0	0	0	3	0
8 月	9	1	0	0	0	0	3	0
9 月	1	0	1	0	0	0	1	0
10 月	2	0	0	0	0	0	1	1
11 月	0	0	4	0	0	0	4	0
12 月	7	0	3	0	0	0	2	0
2015 年 1 月	1	0	0	0	0	0	1	0
2 月	4	0	0	0	0	0	3	0
3 月	2	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	5	12	1	0	0	19	2



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2014 年 4 月
・秋田県

7 月
・徳島県
・徳島県

8 月
・東京都
・愛知県
・岩手県

9 月
・北海道

10 月
・福岡

11 月
・福岡
・岡山
・東京都

12 月
・名古屋
・愛知県

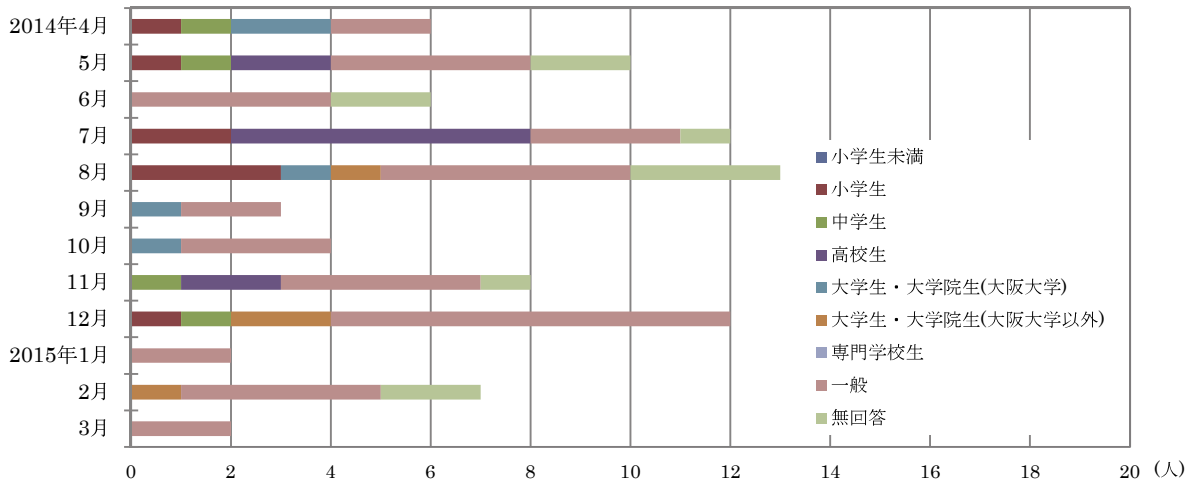
2015 年 1 月
・三重県

2 月
・台湾台北市
・福岡県

■ 入館者学年分布

（単位：人）

	小学生未満	小学生	中学生	高校生	大学生 大学院生 (大阪大学)	大学生 大学院生 (大阪大学以外)	専門学校生	一般	無回答
2014年4月	0	1	1	0	2	0	0	2	0
5月	0	1	1	2	0	0	0	4	2
6月	0	0	0	0	0	0	0	4	2
7月	0	2	0	6	0	0	0	3	1
8月	0	3	0	0	1	1	0	5	3
9月	0	0	0	0	1	0	0	2	0
10月	0	0	0	0	1	0	0	3	0
11月	0	0	1	2	0	0	0	4	1
12月	0	1	1	0	0	2	0	8	0
2015年1月	0	0	0	0	0	0	0	2	0
2月	0	0	0	0	0	1	0	4	2
3月	0	0	0	0	0	0	0	2	0
合計	0	8	4	10	5	4	0	43	11



● 一般 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2014年5月
・シルバー
・主婦

6月
・OB

7月
・教員
・高校教員

10月
・職員

11月
・保護者
・阪大院修了

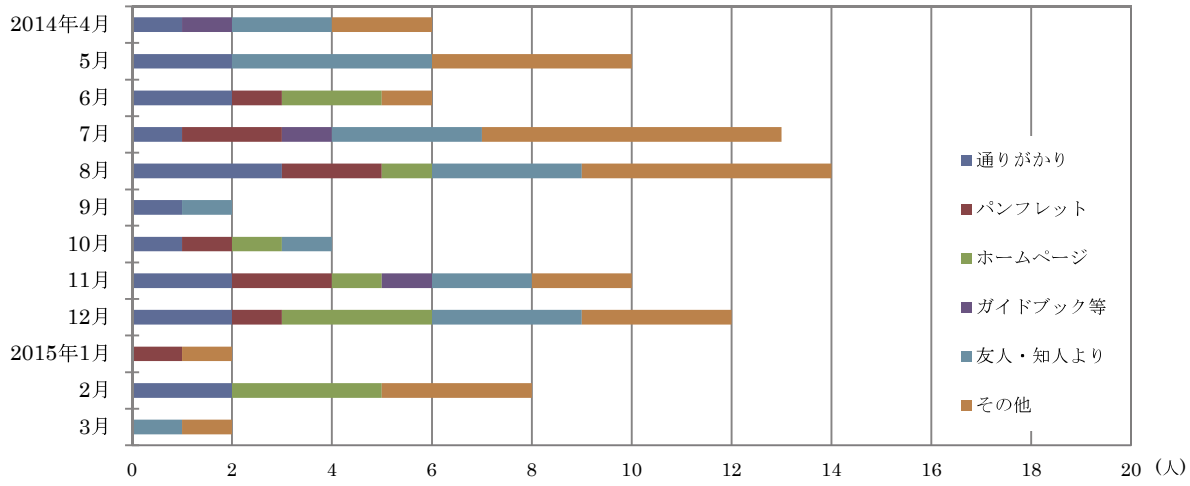
2015年2月
・卒業生

■ 大阪大学総合学術博物館 ― 待兼山修学館についてお尋ねします。

Q1 どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数可）

（単位：人）

	通りがかり	パンフレット	ホームページ	ガイドブック等	友人・知人より	その他
2014 年 4 月	1	0	0	1	2	2
5 月	2	0	0	0	4	4
6 月	2	1	2	0	0	1
7 月	1	2	0	1	3	6
8 月	3	2	1	0	3	5
9 月	1	0	0	0	1	0
10 月	1	1	1	0	1	0
11 月	2	2	1	1	2	2
12 月	2	1	3	0	3	3
2015 年 1 月	0	1	0	0	0	1
2 月	2	0	3	0	0	3
3 月	0	0	0	0	1	1
合計	17	10	11	3	20	28



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2014 年 4 月
・ごはんを食べにきた
・ごはんをたべにきた

5 月
・以前から知っていたが機会がなかった
・いつとはなく
・阪大の先生
・本日の集まり(WS)に来て

6 月
・インターネットグーグル検索
・漢方のお店でもらった(紹介)

7 月
・アイウォッチ TV
・教え子の学生より
・学校行事
・学校行事
・学校の課題
・先生から

8 月
・いつも展示案内のチラシを送って頂きありがとうございます
・科学教室
・卒業生
・毎日新聞

11 月
・学校行事
・ポスター

12 月
・卒業生
・母と祖母
・日経新聞

2015 年 1 月
・よく通っている

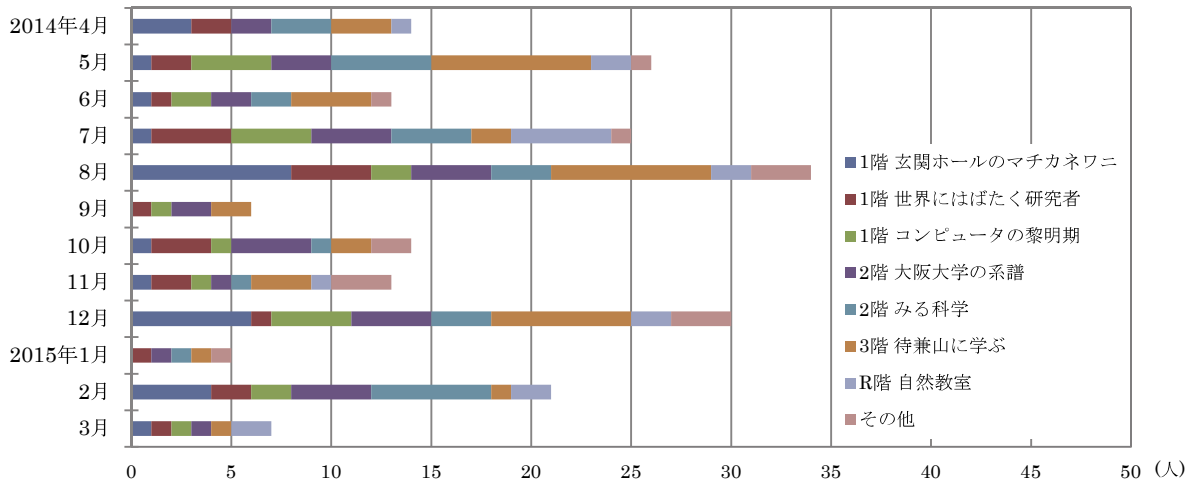
2 月
・卒業生
・豊中市報その他

3 月
・ずっと以前から知っている

Q2 どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）

（単位：人）

	1　階			2　階		3　階	R　階	その他
	玄関ホールのマチカネワニ	世界にはばたく研究者	コンピュータの黎明期	大阪大学の系譜	みる科学	待兼山に学ぶ	自然教室	
2014 年 4 月	3	2	0	2	3	3	1	0
3 月	1	2	4	3	5	8	2	1
6 月	1	1	2	2	2	4	0	1
7 月	1	4	4	4	4	2	5	1
8 月	8	4	2	4	3	8	2	3
9 月	0	1	1	2	0	2	0	0
10 月	1	3	1	4	1	2	0	2
11 月	1	2	1	1	1	3	1	3
12 月	6	1	4	4	3	7	2	3
2015 年 1 月	0	1	0	1	1	1	0	1
2 月	4	2	2	4	6	1	2	0
3 月	1	1	1	1	0	1	2	0
合計	27	24	22	32	29	42	17	15



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2014 年 5 月
・やく薬てんじ

6 月
・3 階漢方今昔物語
・自然教室が少しおざなりな印象を受けました

7 月
・漢方

8 月
・マチカネワニ企画展
・マチカネワニ展
・ワニのかせき

10 月
・結晶展
・人工水晶／尾形光琳

11 月
・結晶
・特別展示(Crystal)

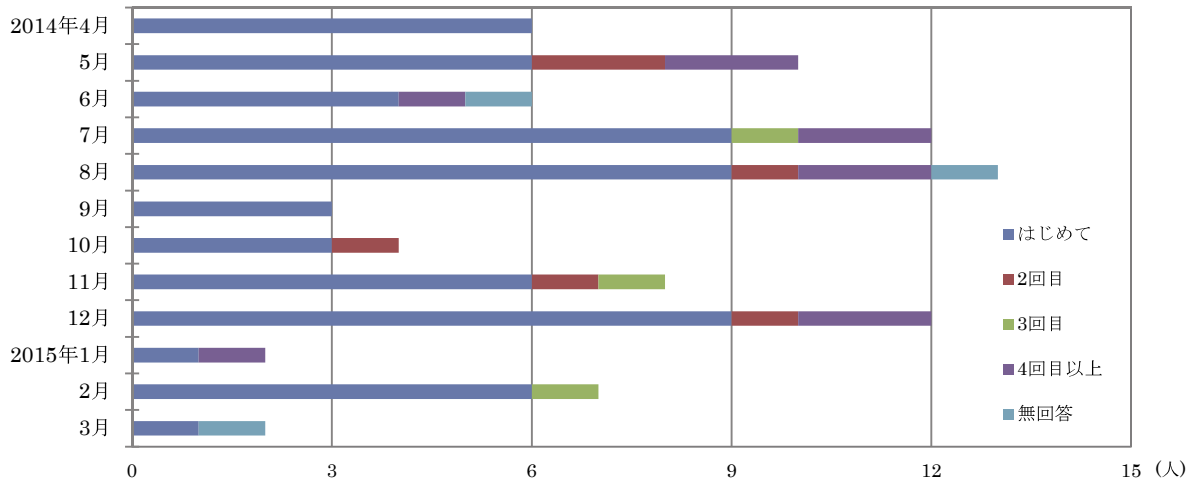
12 月
・クリスタル
・結晶の展示
・ワニ

2015 年 1 月
・企画展

Q3 来館は何回目ですか？

（単位：人）

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
2014年4月	6	0	0	0	0
5月	6	2	0	2	0
6月	4	0	0	1	1
7月	9	0	1	2	0
8月	9	1	0	2	1
9月	3	0	0	0	0
10月	3	1	0	0	0
11月	6	1	1	0	0
12月	9	1	0	2	0
2015年1月	1	0	0	1	0
2月	6	0	1	0	0
3月	1	0	0	0	1
合計	63	6	3	10	3



Q4 その他ご意見・ご感想などをお書きください。

◎ アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

● 2014年4月

・おもしろかったです。
・キャンパス（豊中）の植物の本75ｐ、下からＬ4「雄しべ」は「雌しべ」の違いでは？
・豊中市キャラクターの「本物」を見ることができて満足しました。校内も気持ち良く散策させて頂きありがとうございます。
・本物を見れてうれしかった！また見に行きたいです。本物を見られて満足しました。ありがとうございました。
・マチカネワニが意外に大きくてびっくりしました!!!

● 5月

・こんな立派な施設にもっと大勢の人がこれるよう宣伝して下さい。日祝休みといわず開けてほしい。九大の博物館よりずっと良い、北大には負けているが。
・順路があれば、見る順etcわかりやすいかと。
・討論おもしろい。
・中がとても、きれいで、すごく良いと思いました!!また、来たいです。
・人が説明して下さったら、いいのにと思います。大変勉強になりありがとうございました。親切にありがとうございました。日曜日があいていたらいいのに。
・もう少し勉強すれば良かったかもしれない。「阪大には入れなかったけど、阪大病院には通っている」というブラックジョークが知人にうけました。
・無料がありがたいです。

● 6月

・3F、ビデオの音声をもう少し落としてください。他の展示が落ち着いて見れないので。
・これだけの展示を無料で見られた。
・大変有意義な展示でした。もう少し体験できるものがあるとよいかもしれません。顕微鏡が意外と楽しめました。
・とても新鮮で楽しく勉強になりました。とても快適な空間に感謝します。ありがとうございました!!

● 7月

・以前からあるのは知っていた。やっと来館できてうれしく思う。
・うん、なんかいい!!よぉ～し!!
・最高ですか？最高です!!We love　はんだい。よーし。
・知らないこともたくさんあってたのしかったです。また来たいです。
・すばらしい。高校生にもぜひ見せたい。帰ってからPRしておきます。
・たのしかった!!
・とてもわかりやすかった！そしてたのしかった！
・豊中市に住んで70年になります。今日は薬草のことの展示があるのできました。マチカネワニがあり大変感動しました。このような博物館が一般の人に見られるのはうれしいことです。知人にも伝えます。
・一つの館内でたくさんの分野を学べてとても勉強になりました。
・理科教員としての目線で見ると非常におもしろかった。教科書等に出てくる科学者たちをぜひ生徒にも見せてあげたい。

● 8月

・映像資料の分かりやすさ、完成度が高かった。これにぜひさらに多くの実物を見てみたい。
・おもしろかったです。ガイドツアーがあるなら参加してみたいと思いました。
・社内誌でマンホールのフタ特集をしているきっかけでマチカネワニのことを知りました。も少し早く着いていればレゴブロックが動くのが見れたのにざんねんでした。夜もっと長くあいてるとうれしいです。(今日は半日年休で来ました)
・楽しかったです。
・展示解説が少し難しかったです。子供にも分かりやすい展示にして頂けると有難いです。マチカネワニは迫力があり、感動しました。
・とてもすばらしい空間。
・とても見応えのある博物館です。また来たいと思います。今回のような企画展があると理解も深まるため、ぜひこれからも継続して楽しい展示会を企画して下さい。
・毎回楽しみにしております。平日来れませんので、５月の連休とか、本日は会社が盆休みに入ったので来れました。
・毎回ユニークなテーマで展示で、大変楽しい、おもしろいです。学びのうえにおもしろみのあるので次々とまちどうしいです。
・息子がお世話になっているので、夏休みを利用し、改めて阪大キャンパスを見にきました。そしてこの博物館にも寄ってみました。早くに知っていれば、もっとゆっくり見せていただきたかったです。改めて、阪大のすばらしさを知る機会となり、息子がこの大学で学んでいることに誇りを持つことができました。
・もういちどよくみにきたい
・ワニのレゴブロックが面白かったり、そのコーナーの手で、ワニをくるくるまわしてよくみるのも面白かったです。ワニの動くところが見たい。

● 9月
・説明が長いので最後まで聞かなかった。埋蔵物の場所などもう少し分かりやすい絵、模型が欲しい。

● 10月
・いろんないあっぱいあります。いろかたちがこおりようなにピカピカひかているのようをしてます。
・大阪大学の系譜を1Fに持っていったほうがよいのでは？見ごたえがあり、これを見たあとで個々の研究内容を見ると、心にグッとくるから。
・大学博物館で研究員(非常勤)をしています。九大では工作機械のコレクションを核にした産業機器の展示を企画していますが、まだ始まったばかりです。貴館パネル展示等、色々参考になりました。

● 11月
・充実した展示と思います。個人的には、系譜のところで、当時の大阪、豊中キャンパスを知ることができて（映像で）良かったです。
・とくになし
・初めてでしたが、時間切れで、もっと見たいと思いました。マチカネワニの展示とシンポジウムもよかったです（面白かった）。
・無料なのがすごいですね。京大は400円ぐらいとられます。ワニは圧倒的ですね。カフェもゆったりできていいと思います。
・免疫や医学、薬学系、生命科学系の展示を見たいです。
・よかったと思う。

● 12月
・いつ見てもワニが面白いです。
・水晶にさわれると思ってなくてびっくりした。マチカネワニが大きくてびっくりした。楽しかった、また来たい。
・会場全て撮影禁止とあちこちに書かないと、マークのないところはカメラOKと思っている人が多いようです。
・とてもおもしろかったし興味深かったです。
・非常に見応えがあり、貴重な時間を過ごせました。阪大万歳！！
・もっと来館者がいてもいいですね。もったいないです。「天地有大・・・」のポストカードとか欲しいです。・ほぼ全面的に撮影禁止で失望した。文書等や撮影で傷むものならわかるが、ほとんど禁止する意味のないものばかりだと思う。他大学と比べてみては？
・ゆっくり見れて楽しかったり、おお！っとおどろいたりドキドキしたりしました。
・わくわくする時間でした。もっと大人の人（特に子供）がこの博物館を訪れてほしいです。

● 2015年1月
・ここに通うと少しでも頭の栄養になるのでは、と遅ればせに

● 2月
・以前医療短大の学生でしたので、なつかしく訪れました。
・ずーっと以前（娘が小学生時代）から来ようって思いつつも月日が流れ去りました。2度（現役と）編入（3年次）で（大阪大学）法学部を受験した想い出が懐かしいですが・・・、残念ながら・・・。その娘も私大ですが法学部を首席で卒業し大学院を終え、現在は東京でがんばってます。遠ーい日がまぶしいです。本日は有難うございました。
・とてもいい博物館です。
・部分的でも撮影許可部を作ってほしい。知り合いに広めたい。

● 3月
・次回は特別展に期待！！
・すばらしい

団体見学一覧

※事前に申し込みのあった団体のみを掲載

No.	月日	曜日	団体名	人数	説明館員
2014 年					
1	4 月 3 日	木	大阪よどがわ市民生活協同組合	30	豊田
2	4 月 14 日	月	［共通教育科目］大阪大学の歴史	105	なし
3	4 月 18 日	金	豊中市人権文化部文化芸術室	15	宮久保
4	4 月 21 日	月	［共通教育科目］考古学基礎 A	23	なし
5	4 月 23 日	水	大阪大学 初任者研修	55	なし
6	4 月 28 日	月	［共通教育科目］地球科学 A	40	なし
7	4 月 30 日	水	大阪偕星学園高等学校	11	豊田
8	5 月 10 日	土	第 11 回植物探検隊＠春の待兼山を訪ねて	30	なし
9	5 月 16 日	金	［知のジムナスティックス科目］文化資源学入門	15	松永
10	5 月 17 日	土	第 11 回植物探検隊＠春の待兼山を訪ねて	28	なし
11	5 月 19 日	月	カルガリ大学（カナダ）学生訪問団	27	なし
12	5 月 21 日	水	和歌山県立橋本高等学校	34	なし
13	5 月 22 日	木	阪大物理学科 1962 卒クラス会	14	なし
14	5 月 23 日	金	京都府立桃山高等学校	3	なし
15	5 月 28 日	水	［共通教育科目］宇宙地球科学の考え方	79	なし
16	5 月 29 日	木	阪大経済学研究会	28	なし
17	5 月 30 日	金	豊中観光あるき能勢街道コースツアー	30	なし
18	5 月 30 日	金	［専門科目］研究室エクスプローラ	30	なし
19	5 月 31 日	土	大宇陀観光ボランティアガイドの会	12	髙橋
20	6 月 11 日	水	石川県立野々市明倫高校	40	なし
21	6 月 12 日	木	［知のジムナスティックス科目］アジア環境・マネジメント	20	伊藤
22	6 月 14 日	土	岡山県立倉敷青陵高等学校	45	宮久保
23	6 月 16 日	月	川西市中央公民館わがまち同好会	47	宮久保
24	6 月 18 日	水	出雲北陵高等学校	20	豊田
25	6 月 19 日	木	兵庫県立明石西高等学校国際人間科	42	なし
26	6 月 25 日	水	兵庫県立川西北陵高等学校	42	なし
27	7 月 9 日	水	兵庫県立社高等学校	160	なし
28	7 月 11 日	金	北三和会	20	伊藤
29	7 月 11 日	金	大阪府立市岡高等学校	53	なし
30	7 月 12 日	土	甲南大学文学部	17	髙橋
31	7 月 15 日	火	大阪市立咲くやこの花高等学校総合学科	20	なし
32	7 月 16 日	水	京都府立桃山高等学校	113	横田
33	7 月 17 日	木	韓国慶山高校	28	なし
34	7 月 18 日	金	JICA 博物館研修（大阪府教育委員会）	6	なし
35	7 月 18 日	金	須磨学園高等学校	10	なし
36	7 月 19 日	土	近畿大学附属広島高等学校	47	豊田
37	7 月 19 日	土	豊中市職員サンマテオクラブ	10	豊田
38	7 月 24 日	木	学校法人 大谷学園 大谷中学校	80	松永
39	7 月 24 日	木	学校法人 湯梨浜学園 湯梨浜中学校・高等学校	20	宮久保
40	7 月 31 日	木	京都府立綾部高等学校	50	なし
41	7 月 31 日	木	富山県立南砺福野高校	39	なし
42	8 月 20 日	水	AEARU Student	48	なし
43	8 月 21 日	木	全国中学生理科教育研究会 OB 会	40	なし
44	8 月 28 日	木	仁川学院中学校	17	豊田
45	8 月 28 日	木	私立昭和薬科大学附属高等学校	22	伊藤
46	8 月 29 日	金	城南学園中学校	17	なし
47	8 月 30 日	土	隠岐の島町	9	伊藤
48	9 月 2 日	火	上宮太子高等学校	80	なし
49	9 月 4 日	木	台湾大学	4	伊藤
50	9 月 5 日	金	京都学園高等学校	80	なし
51	9 月 5 日	金	台湾大学	3	上田・伊藤
52	9 月 9 日	火	大阪大学経済学部 第 12 期同窓会	38	宮久保
53	9 月 18 日	木	香川県立三本松高等学校	36	宮久保
54	9 月 19 日	金	大阪大学 技術職員研修	23	なし

No.	月日	曜日	団体名	人数	説明館員
55	9月19日	金	比叡山高等学校	48	なし
56	9月22日	月	理学部 見学会	20	高橋・伊藤
57	9月26日	金	京都工芸繊維大学高度技術支援センター	14	なし
58	9月30日	火	神戸大学技術職員研修	8	豊田
59	10月 6日	月	島根県立出雲高等学校	88	横田
60	10月 6日	月	奈良市立一条高等学校	44	なし
61	10月 8日	水	島根県立出雲高等学校	82	豊田
62	10月 8日	水	大阪府立三島高校 PTA	30	なし
63	10月 9日	木	全国大学史資料協議会 2014 年度全国研究会	90	なし
64	10月11日	土	植物探検隊	30	なし
65	10月14日	火	和歌山県初芝橋本高等学校	29	宮久保
66	10月17日	金	大阪府立三島高等学校	80	宮久保
67	10月24日	金	豊中観光あるき	30	なし
68	10月25日	土	住八会ハイキングサークル	16	宮久保
69	10月25日	土	植物探検隊	28	なし
70	10月27日	月	さくらサイエンスプラン・漢陽大学	12	豊田
71	10月29日	水	豊中商工会議所	7	なし
72	10月30日	木	豊中識字・日本語連絡会	20	松永
73	10月30日	木	大阪府立東住吉高等学校	83	豊田
74	10月30日	木	大阪府立東住吉高等学校	42	豊田
75	11月 6日	木	大阪府立池田高等学校	57	豊田
76	11月 6日	木	大阪府立池田高等学校	100	松永・西岡
77	11月10日	月	日本福音ルーテル豊中教会女性会	10	宮久保
78	11月11日	火	鹿児島県立伊集院高等学校	41	なし
79	11月11日	火	豊中市立第八中学校	87	豊田
80	11月12日	水	仙台高等専門学校 知能エレクトロニクス工学科	30	なし
81	11月13日	木	大阪府高齢者大学校同窓会豊中	28	なし
82	11月13日	木	大阪ミュージアムめぐり兵庫大阪編	20	横田
83	11月14日	金	大阪府立住吉高等学校	23	松永
84	11月14日	金	和歌山信愛高等学校	75	西岡
85	11月18日	火	放送大学大阪学習センター 学習サークル「旅クラブ」	26	宮久保
86	11月19日	水	東洋大学附属姫路高等学校	54	なし
87	11月20日	木	石川県立金沢二水高等学校	43	横田
88	11月25日	火	仙台向山高等学校	44	宮久保
89	11月29日	土	池田市立山の家スマイルファクトリー	25	なし
90	12月 3日	水	［専門科目］応用地質学	33	宮久保
91	12月 3日	水	岩手県立宮古高等学校	44	なし
92	12月 3日	水	豊中の歴史研究会	8	豊田
93	12月 6日	土	高槻市立阿武山中学校科学部	14	なし
94	12月 8日	月	桜ヶ丘自治会 桜樹会の歩こう会	13	豊田
95	12月12日	金	兵庫県立西宮北高等学校	33	なし
96	12月15日	月	兵庫県立宝塚北高等学校 グローバルサイエンスコース第二学年	39	豊田
97	12月17日	水	大阪国際大和田高等学校	58	なし
98	12月22日	月	［専門科目］生物科学概論 B	84	伊藤・西岡
2015 年					
99	1月14日	水	電気通信普及財団	2	松永
100	1月15日	木	パナソニック OB 大学役員見学会	6	豊田
101	1月20日	火	Universiti Malaysia Sarawak (UNIMAS)	17	なし
102	1月31日	土	国際問題を考える日	24	なし
103	2月6日	金	シニア自然大学校 インタープリテーション科	31	西岡
104	2月14日	土	高校生マチカネワニクイズ王決定戦	13	なし
105	2月16日	月	高齢者大学同窓会	10	なし
106	2月17日	火	大阪府高齢者大学校　世界遺産を通じて環境を学ぶ科	11	西岡
107	2月18日	水	大阪府高齢者大学校　大阪の史跡探訪科	42	豊田
108	3月10日	火	JST さくらサイエンスプラン・国立マレーシア大学	12	宮久保
109	3月14日	土	豊中市立中央公民館講座 豊中歴史散歩 刀根山城を探る	36	なし
110	3月17日	火	兵庫県立豊岡高等学校	10	なし
111	3月19日	木	きのくに子どもの村中学校電子工作所	9	なし
			計	3,968 人	

受賞・表彰等一覧

◆ マチカネワニ化石が「登録記念物（動物植物地質鉱物関係）」に登録

国は文化財としての価値をかんがみ、保存および活用のための措置が特に必要とされるものを文化財登録原簿に登録し、記念物として管理しています。

マチカネワニ化石は、日本の古脊椎動物学の歴史上、最も重要なもののひとつであり、またワニ類の進化を解明する研究においても不可欠なタイプ標本として世界から注目されてきました。現代の大人たちは勿論、未来を生きる子供たちがマチカネワニのような大型ワニが日本に生息していたことを示す化石を見ることにより、生物の進化や生物多様性、地球環境について考える機会を与える事は有意義であると考えられます。

これらのことから、国の文化審議会において国の登録記念物として登録するよう認められ、2014 年 10 月 6 日に登録されました。

2014 年 5 月に発掘から 50 年を迎えた大阪大学総合学術博物館収蔵のマチカネワニ化石は、日本で初めて発掘されたワニ化石であり、最も完全な骨格化石の一つでもあります。ワニ類の中でも大型で、頭骨の長さが 1m を優に超えるという他のワニ類には見られない変わった特徴を示しています。

大阪大学総合学術博物館では実物化石を常設展示として学内外に対し公開しており、地元豊中市でもシンボリックな文化遺産として保護・継承活動が活発に行われています。

登録内容

登録年月日	2014 年 10 月 6 日
登 録 名 称	マチカネワニ化石
登 録 種 別	登録記念物（動植物地質鉱物関係）
年　　代	約 45 万年前



総合学術学物館 待兼山修学館に常設展示されているマチカネワニ化石



銘板を持つ江口前館長（写真左）と橋爪館長（写真右）



登録記念物に登録されたことを示す銘板

◆ 『第一号磁界型電子顕微鏡および関連資料』が「分析機器・科学機器遺産」に認定

一般社団法人日本分析機器工業会（JAIMA）と一般社団法人日本科学機器協会（JSIA）では、2012年度から「分析機器・科学機器遺産」の認定制度を導入しました。この制度は分析計測技術・機器ならびに科学技術・機器の発展史上重要で、次世代に継承していく大きな意義を持ち、国民生活、産業、経済、社会、文化の発展と在り方に顕著な影響を与えたものを文化的遺産として後世に伝えることを目的とするものです。

第3回目となる2014年度、総合学術博物館所有の日本で最初に作られた磁界レンズを用いた透過型電子顕微鏡である第一号磁界型電子顕微鏡および関連資料（設計図、ガラス乾板など電顕制作に関わる一連の資料）が「分析機器・科学機器遺産」に認定されました。

第一号磁界型電子顕微鏡は大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館に常設展示されており、顕微鏡開発の経緯や構造についても詳しく紹介されています。

分析機器・科学機器遺産 認定内容

認定年月日	2014年8月11日
認 定 Ｎｏ.	No.38
認 定 名 称	第一号磁界型電子顕微鏡および関連資料



総合学術学物館 待兼山修学館に常設展示されている
第一号磁界型電子顕微鏡



分析機器・科学機器遺産であることを示す認定証

関連記事一覧

新聞

※教員関連の記事は「7. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載日	曜日	掲載紙名	内　　容
2014 年				
1	4 月 16 日	水	大阪日日新聞	26 日から特別展「漢方今昔物語」 阪大学術博物館
2	4 月 21 日	月	産経新聞	薬草栽培 映像で伝承　生薬の国内生産につなげて！
3	5 月 11 日	日	読売新聞	漢方テーマに特別展
4	5 月 29 日	木	朝日新聞	大学 お宝ざくざく 博物館整備、PR 学生確保へ 新島襄の聖書■巨大ワニ全身化石
5	6 月 1 日	日	日本経済新聞	科学技術遺産⑤ 阪大総合学術博物館 「マチカネワニの化石」7 メートル超、全身骨格を展示
6	6 月 21 日	土	産経新聞	「軍艦島」国史跡に 45 万年前 マチカネワニ化石は登録記念物　文化審答申
7	6 月 21 日	土	毎日新聞	国文化審答申 稲荷塚古墳など 3 基 史跡へ
8	6 月 21 日	土	毎日新聞	マチカネワニで盛り上げ
9	6 月 21 日	土	読売新聞	マチカネワニ化石 登録記念物 ――文化審答申 豊中市長「認められうれしい」
10	6 月 21 日	土	読売新聞	大和古墳群 史跡に　■文化審答申 （マチカネワニ化石 登録記念物へ）
11	6 月 21 日	土	大阪日日新聞	軍艦島、国史跡に　文化審答申 （マチカネワニ化石 登録記念物へ）
12	6 月 21 日	土	日本経済新聞	「軍艦島」などを国の史跡に　文化審議会、9 件の指定答申 （マチカネワニ化石 登録記念物へ）
13	6 月 21 日	土	朝日新聞	マチカネワニ化石　国登録記念物に
14	6 月 24 日	火	朝日小学生新聞	ニュースあれこれ 「マチカネワニ」登録記念物に
15	6 月 25 日	水	産経新聞	巨大ワニ化石「大阪大の至宝」国の登録記念物に
16	7 月 9 日	水	朝日新聞	マチカネワニ化石発見 50 年 復元の取り組み紹介
17	7 月 18 日	金	日本経済新聞	探訪サイエンス　大阪大学総合学術博物館 巨大ワニの全身骨格展示
18	7 月 26 日	土	毎日新聞	マチカネワニの化石を紹介　阪大豊中キャンパスでの発見 50 周年 阪大総合学術博物館で夏期展覧会
19	8 月 10 日	日	鍼灸柔整新聞	ちょっと、おじゃまします 大阪大学総合学術博物館 特別展『漢方今昔物語――生薬国産化のキーテクノロジー』
20	10 月 8 日	水	朝日新聞	朝日カルチャーセンター（10 ～ 12 月期講座） 『マチカネワニ、どこがそんなにすごいのか？』
21	10 月 16 日	木	大阪日日新聞	大学と地域の“記憶”を発信　解体される阪大豊中職員宿舎「お見送り」企画展示 幼少期過ごした美術家と学生ら　人肌の生活感再現
22	10 月 16 日	木	毎日新聞	芸術の「境界」は今（上）　脳を刺激、ないものを見る
23	10 月 27 日	月	読売新聞	マチカネワニ化石発見 半世紀 阪大
24	10 月 27 日	月	日本経済新聞	大学の博物館　集客スクラム
25	10 月 29 日	水	産経新聞	ワニの化石考える　来月 16 日、豊中でシンポ
26	10 月 30 日	木	毎日新聞	シンポジウム「マチカネワニを語る 阪大で化石発見から 50 年」
27	11 月 7 日	金	朝日新聞	TOWN　マチカネワニ・サミット 2014
28	11 月 7 日	金	産経新聞	23 日に「大学ミュージアムを熱く語るー街と大学の“記憶”をめぐってー」 中之島センターで開催
29	11 月 7 日	金	朝日新聞	謎待つマチカネワニ　阪大敷地内で発見から半世紀　豊中・16 日シンポ
30	11 月 9 日	日	朝日中高生新聞	情報ナビ　45 万年前のワニの化石
31	11 月 14 日	金	大阪日日新聞	両手を上下に、おクチぐわー！　園児が歌とダンス披露へ マチカネワニ化石発見 50 周年、16 日サミット
32	11 月 17 日	月	大阪日日新聞	マチカネワニ発見 50 年でシンポ　全身骨格化石の情報 環境変化究明も　豊中
33	11 月 18 日	火	毎日新聞	化石研究の現状紹介　マチカネワニ・サミット　豊中
34	11 月 19 日	水	朝日新聞	おおさか昭和旅行：マチカネワニ化石発見現場（1964 年ごろ） 「全長 7 メートル生物」に驚き

その他 刊行物

※教員関連の記事は「7. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載誌 / 発行	発行日 / 巻 / 号 他	内　　容
1	関西スクエア 朝日新聞大阪本社	2014年10月 No.165	今こそ生かしたいマチカネワニ
2	関西スクエア 朝日新聞大阪本社	2014年12月 No.167	マチカネワニ・サミット2014　論じて 踊って
3	Hello! Doctor アミューズ	2014年5月9日 通巻66号	大阪大学総合学術博物館 第 7 回特別展 漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー
4	Hello! Doctor アミューズ	2014年11月5日 通巻69号	大阪大学総合学術博物館 第 18 回企画展 魅惑の美 Crystal 最先端科学が拓く新しい結晶の魅力
5	これがウチのおはこやねん！ いしばし商店街	2015年3月	2015 年 3 月 18 日～ 20 日 展示会予告「第 8 回特別展 待兼山少年」
6	広報いけだ 池田市	2014年4月1日 No.1121	みゅうじあむ・がいど 第 7 回特別展　漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー
7	広報いけだ 池田市	2014年5月1日 No. 1122	みゅうじあむ・がいど 第 7 回特別展　漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー
8	広報いけだ 池田市	2014年6月1日 No.1123	みゅうじあむ・がいど 第 7 回特別展　漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー
9	広報いけだ 池田市	2014年7月1日 No.1124	みゅうじあむ・がいど 第 7 回特別展「漢方今昔物語：生薬国産化のキーテクノロジー」 夏期特集展覧会「奇跡の古代鰐・マチカネワニー発見 50 年の軌跡ー」
10	広報いけだ 池田市	2014年8月1日 No.1125	みゅうじあむ・がいど 夏期特集展覧会「奇跡の古代鰐・マチカネワニー発見 50 年の軌跡ー」
11	広報いけだ 池田市	2014年9月1日 No.1126	みゅうじあむ・がいど 2014 年度大阪大学美術部夏展 「にわにはわにがい展（てん）ー阪美の夏 2014」
12	広報いけだ 池田市	2014年10月1日 No.1127	みゅうじあむ・がいど ●第 18 回企画展 「魅惑の美 Crystal ー最先端科学が拓く新しい結晶の魅力ー」
13	広報いけだ 池田市	2014年11月1日 No.1128	みゅうじあむ・がいど ●第 18 回企画展 「魅惑の美 Crystal ー最先端科学が拓く新しい結晶の魅力ー」
14	広報いけだ 池田市	2014年12月1日 No.1129	みゅうじあむ・がいど ●第 18 回企画展 「魅惑の美 Crystal ー最先端科学が拓く新しい結晶の魅力ー」
15	広報いけだ 池田市	2015年1月1日 No.1130	みゅうじあむ・がいど ●第 18 回企画展 「魅惑の美 Crystal ー最先端科学が拓く新しい結晶の魅力ー」
16	広報いけだ 池田市	2015年2月1日 No.1131	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館
17	広報いけだ 池田市	2015年3月1日 No.1132	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館
18	螢雪時代 旺文社	2014年7月14日 第84巻8号	［オープンキャンパス特集］ ユニバーシティ・ミュージアムに行こう！　大阪大学総合学術博物館
19	OSAKA モノレール PRESS 大阪高速鉄道、大阪モノレールサービス	2015年3月	街の逸品　マチカネワニ化石 45 万年の時を超えて
20	U7（七大学をつなぐ総合情報誌 学士会会報） 学士会	2015年1月 vol.59	七大学の秘宝めぐり 大阪大学・登録記念物「マチカネワニ化石」
21	第 12 回 関西文化の日 関西広域連合 関西元気文化圏推進協議会	2014年	府県別 入館無料 施設リスト 大阪府 北部 大阪大学総合学術博物館
22	第 12 回 関西文化の日 関西広域連合 関西元気文化圏推進協議会	2015年3月	2014（平成 26）年度 第 12 回関西文化の日 実施報告書
23	大学の扉を開く かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会	2015年1月	関西圏大学ミュージアム連携活性化事業／交流する大学ミュージアムを目指して　―関西における文化遺産の継承―　実施報告書 第 3 章　大学博物館に関するシンポジウム　他
24	重要科学技術史資料 ～未来技術遺産～ 国立科学博物館	2014年	平成 20 ～ 25 年度登録　重要科学技術史資料一覧 第 00014 号　大阪大学真空管式計算機　一式 第 00092 号　第一号磁界型電子顕微鏡および関連資料

その他 刊行物

※教員関連の記事は「7. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載誌 / 発行	発行日 / 巻 / 号 他	内　　容
25	はろーあさひ 坂田新聞舗 川西山下店 ときわ台店	2014年5月 第360号	大阪大学総合学術博物館 第 7 回特別展 漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー 4 月 26 日（土）～ 7 月 19 日（土）
26	リビング大阪 サンケイリビング新聞社	2015年3月28日	魅力いっぱいの“初めて”を発見 古代から来た街のアイドルです　（大阪大学総合学術博物館）
27	シティライフ北摂 WEST 版 シティライフ NEW	2014年5月1日 vol.135	北摂イベント Information 漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー
28	シティライフ北摂 WEST 版 シティライフ NEW	2014年10月1日 vol.140	From City Life まちの気になるネタ、根掘り葉掘り調査します !!
29	Como 主婦の友社	2014年6月28日 通巻293号	まだまだあります 0 円スポット 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
30	育脳 Como キッズ 主婦の友社	2014年10月31日	まだまだあります 0 円スポット 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
31	書道界 藤樹社	2014年6月15日 通巻295号	漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー
32	広報とよなか 豊中市	2014年7月1日 vol.771	太古からの贈り物マチカネワニ化石 ～マチカネワニ化石 発見 50 周年記念特集～
33	広報とよなか 豊中市	2014年8月1日 vol.772	人権・文化　中央公民館 夏の小学生科学体験教室
34	広報とよなか 豊中市	2014年10月1日 vol.774	まちかど スケッチ 世界に 1 つのマチカネワニ　ブロックでワニを作ろう
35	広報とよなか 豊中市	2014年11月1日 vol.775	人権・文化 マチカネワニ・サミット　よみがえるワニ王国・大阪
36	とよなか物語 豊中市	2014年12月 vol.2	ひとりでふらりと、知を探求してみないか 週末は、学術文化に触れる
37	広報とよなか 豊中市	2015年1月1日 vol.777	人権・文化 サイエンスカフェ@待兼山
38	広報とよなか 豊中市	2015年2月1日 vol.778	人権・文化 マチカネワニクイズ王決定戦
39	はびきの市民大学だより はびきの市民大学	2014年10月 No.112	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館を訪ねて
40	ポプラディア大図鑑 WONDA 大昔の生きもの ポプラ社	2014年7月	新生代 第四紀③［人類・爬虫類・無脊椎動物］ マチカネワニ
41	ともも 有限会社 ともも	2014年5月6日 No.149	ともも メッセージボード　ギャラリー・催し 大阪大学総合学術博物館『漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー』

インターネット

No.	掲載ホームページ	内容
1	関西文化 .com イベント情報	大阪大学総合学術博物館 第 7 回特別展「漢方今昔物語」
2	まいぷれ [豊中市] イベント情報	第 7 回特別展「漢方今昔物語」
3	関西文化 .com イベント情報	マチカネワニ化石発見 50 周年記念事業・大阪大学総合学術博物館 2014 年夏期特集展覧会「奇跡の古代鰐・マチカネワニ」
4	豊中市 Facebook	【豊中なう】マチカネワニ発見から 50 年を記念した展覧会を開催
5	Hello! Doctor	イベントガイド　大阪大学総合学術博物館　奇跡の古代鰐　マチカネワニ
6	阪急電鉄	イベント情報 2014 年夏期特集展覧会『奇跡の古代鰐・マチカネワニ』
7	阪急電鉄	イベント情報 第 18 回企画展『魅惑の美 Crystal ー最先端科学が拓く新しい結晶の魅力ー』
8	関西文化 .com 関西文化の日	2014 年 11 月実施 ※大阪大学総合学術博物館
9	関西文化 .com イベント情報	大阪大学総合学術博物館第 18 回企画展 魅惑の美 Crystal

ラジオ・テレビ 等

No.	番組名 / 放送局	放送日時	内容
1	週末応援ナビ☆あほやねん！すきやねん！ NHK 総合テレビ	4月12日（土） 10：50〜12：00	ぶらぼ〜キャンパス 大阪大学 豊中キャンパス 大学内でぶらぼーなモノ探し
2	三関王 洛西ケーブルビジョン	5月16日（金）	勝手に三関王 関西三大化石ロマンスポット
3	スーパーニュースアンカー 関西テレビ	6月20日（金） 17：54〜	マチカネワニ 国登録記念物へ
4	ニューステラス関西 NHK	6月20日（金） 18：10〜	マチカネワニ 国登録記念物に
5	キャスト 朝日放送	6月20日（金） 18：25〜	マチカネワニ 国登録記念物へ
6	関西 845 NHK	6月20日（金） 20：45〜	マチカネワニ 国登録記念物へ
7	かたらいプラザ J:COM 豊中・池田	7月11ー20日	まちある記（刀根山小学校区編） マチカネワニ
8	やっぱ地元っ Show 03 ステーション J:COM 豊中・池田	7月17ー23日 期間中8：30〜 火・木19：30〜	総合学術博物館 2014 夏期特集展覧会の案内
9	関西 TODAY J:COM 豊中・池田	7月21ー25日 19：58〜	総合学術博物館 2014 夏期特集展覧会の案内
10	かたらいプラザ J:COM 豊中・池田	8月11ー20日 期間中9：00〜、 12：00〜、22：00〜	あのまちこのまち マチカネワニがいた時代の化石を発見しよう！
11	かたらいプラザ J:COM 豊中・池田	8月21ー31日 期間中9：00〜、 12：00〜、22：00〜	あのまちこのまち 世界に一つだけのマチカネワニをつくろう！
12	かたらいプラザ J:COM 豊中・池田	9月1ー10日 期間中9：00〜、 12：00〜、22：00〜	あのまちこのまち レゴ ® ブロックでワニを作ろう！
13	MBS 1179.com	11月23日 8：00〜	日曜コンちゃんおはようさん シンポジウム「大学ミュージアムを熱く語る」（イベント情報）
14	かたらいプラザ J:COM 豊中・池田	12月1ー10日 期間中9：00〜、 12：00〜、22：00〜	特集 マチカネワニ化石発見 50 周年
15	FM 千里 83.7MHz 千里ニュータウン FM 放送株式会社	12月27日 10：00〜13：00	馬場章夫のぼらぼら千里（大阪大学総合学術博物館）

寄贈図書一覧

No.	寄贈者	書名
1	BB プラザ美術館	堀尾貞治　あたりまえのこと　2000-2013 の記録
2	秋田大学大学院工学資源学研究科附属鉱業博物館	鉱業博物館所蔵標本目録　展示関連鉱物
3	池田郷土史学会	池田郷土研究　第 16 号
4	池田市立歴史民俗資料館	モダニズムの記憶
5	泉大津市教育委員会	かわりゆくふるさと　泉大津市の 70 年
6	和泉市久保惣記念美術館	特別展　微の美術
7	和泉市久保惣記念美術館	紀要　19
8	宇治市歴史資料館	年報　平成 24 年度　2012
9	宇治市歴史資料館	収蔵資料調査報告書 16
10	宇治市歴史資料館	日本パノラマ大図鑑
11	浦上家史編纂委員会	玉堂片影―シンポジウム浦上玉堂 2013
12	大阪市立大学　恒藤記念室	恒藤記念室叢書 4　恒藤恭「欧州留学日記」(1925 年)
13	大阪市立大学大学史資料室	大阪市立大学史紀要　第 7 号
14	大阪工芸協会	歩みと道標　90th　ANIVERSARY
15	大阪狭山市立郷土資料館	重源狭山池改修碑収容文化財指定記念特別展　「重源と東大寺」
16	大坂城天守閣	大阪の陣 400 年記念特別展　豊臣と徳川
17	大阪城天守閣	乱世からの手紙―大阪城天守閣収蔵古文書選
18	大阪城天守閣	徳川時代大坂城関係史料集　第一七号　大坂城代記録（七）
19	大阪城天守閣	特別展「浪人たちの大坂の陣」
20	大阪市立東洋陶磁美術館	韓国陶磁研究報告 8「東アジア海域と高麗青磁Ⅰ」
21	大阪府教育委員会事務局文化財保護課	第 43 回　日本伝統工芸近畿展
22	大阪府教育委員会文化財保護課	大阪府の金属工芸　「鍛金のわざ―熱間鋳造の研究」　サハリに挑む　Ⅱ
23	大阪府立狭山池博物館	研究報告 8　2014
24	大阪歴史博物館	特別展　手塚治虫×石ノ森章太郎　マンガのちから
25	大阪歴史博物館	特別展　手塚治虫×石ノ森章太郎　マンガのちから　別冊
26	大阪歴史博物館	エヴァンゲリオンと日本刀
27	大阪歴史博物館	幽霊　妖怪画大全集
28	大阪歴史博物館	特別展　変わり兜×刀装具　戦国アバンギャルドとその昇華
29	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報　平成 25 年度
30	大阪歴史博物館	大阪遺産　難波宮　遺跡を読み解くキーワード
31	大阪歴史博物館	上方の浮世絵－大坂・京都の粋と技－
32	小樽市総合博物館	小樽市総合博物館紀要
33	帯広百年記念館	アイヌの工芸－東北のコレクションを中心に－
34	香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアム　年報　第 6 号 (平成 25 年度)
35	鹿児島大学総合研究博物館	与論島の魚類
36	鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報　No.12　2012
37	柏原私立歴史資料館	柏原市古文書調査報告書第 9 集　南西尾家文書目録Ⅰ
38	柏原私立歴史資料館	柏原市立関市史料館館報　第 26 号　2013 年度
39	金沢大学資料館	金沢大学資料館紀要　第 9 号　2014.3
40	茅野市教育委員会	「九頭井太夫家文書の世界」「茅野市神長官守矢史料館」図録
41	関西学院大学博物館	聖なる光に照らされて　聖書から生まれた美
42	関西大学	関西大学博物館紀要　第 20 号
43	関西大学大阪都市遺産研究センター	大阪都市遺産研究　第 4 号
44	関西大学大阪都市遺産研究センター	大阪都市遺産研究叢書　別集 5　名所図会でめぐる大阪　摂津Ⅰ
45	関西大学大阪都市遺産研究センター	大阪都市遺産研究叢書　別集 6　「牧村史陽旧蔵写真」目録
46	関西大学大阪都市遺産研究センター	再現！道頓堀の芝居小屋　～道頓堀開削 399 年～
47	関西大学大阪都市遺産研究センター	叢書　別集 7　名所図会でめぐる大阪 - 摂津Ⅱ・河内・和泉 -
48	関西大学大阪都市遺産研究センター	叢書　別集 8　三村光一が撮った昭和の祭り・行事
49	関西大学博物館	交流する大学ミュージアムを目指して～関西における文化遺産の継承～
50	関西大学博物館・関西大学図書館	連携企画展　関西大学名品万華鏡
51	関西学院大学	Gift for the Future 125years
52	岸和田自然資料館	大阪湾の魚類
53	九州国立博物館	大ベトナム展　ベトナム物語
54	九州国立博物館	江戸のサイエンス―武雄蘭学の軌跡―

No.	寄贈者	書名
55	九州国立博物館	日中国交正常化 40 周年　特別展　中国　王朝の至宝
56	九州国立博物館	視覚革命！異国と出会った江戸絵画―神戸市立博物館名品展―
57	九州国立博物館	徳川美術館展　尾張徳川家の至宝
58	九州国立博物館	竈門神社肇祀 1350 年記念　山の神々―九州の霊峰と神祇信仰―
59	九州国立博物館	ロシアが見たアイヌ文化―ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館のコレクションより
60	九州国立博物館	国宝　大神社展
61	九州国立博物館	館蔵　近世絵画名品展
62	九州国立博物館	第 5 回　東アジア紙文化財保存修理シンポジウム　報告書
63	九州国立博物館	東風西声　九州国立博物館　紀要　第 9 号　2013
64	九州産業大学美術館	平成 24.25 年度　九州産業大学美術館年度報告書
65	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告　第 12 号　2014 年 3 月
66	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館年報　第 5 号　2011-2012 年度
67	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館概要　平成 26 年
68	京都造形芸術大学　芸術館	JOMON
69	京都造形芸術大学　芸術館	シルクロード
70	京都大学総合博物館	総合博物館年報　平成 25 年度
71	京都府立丹後郷土資料館	丹後発掘　縄文・弥生・古墳時代
72	京都文化博物館地域共働事業実行委員会	“まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せなかたち
73	国學院大学博物館	富士山－その景観と信仰・芸術－
74	熊本大学五高記念館	熊本大学五高記念館館報　第 2 号
75	神戸大学大学院海事科学研究所	海事博物館研究年報　2013（平成 25 年度）No.41
76	神戸大学大学院海事科学研究所	海事博物館　企画展　図録　2013
77	国立民族博物館	イメージの力
78	佐賀大学美術館	平成 25 年度　年報＋紀要
79	サントリー美術館	サントリー美術館研究紀要　二〇一四
80	滋賀大学経済学部附属史料館	研究紀要　第 47 号　2014 年 3 月
81	島根県大田市教育委員会	石見銀山遺跡発掘調査報告書Ⅲ
82	吹田市立博物館	平成 26 年度春季特別展　近代趣味人の美意識―第十一代　西尾與衛門の世界―
83	吹田市立博物館	館報　14
84	西南学院大学博物館	Sea　Route　海路
85	西南学院大学博物館	ジュダイカ・コレクションⅢ　祈りの継承
86	西南学院大学博物館	年報　第 6 号　2013
87	西南大学	西南学院大学博物館研究紀要
88	総合地球環境学研究所	総合地球環境学研究所『要覧 2014』
89	総合地球環境学研究所	RIHN Prospectus 2014-2015
90	台湾大学	標本・文物・我們的歷史
91	台湾大学	2007　原生植物
92	武田科学振興財団	杏雨　第 17 号　2014
93	たばこと塩の博物館	2013 年度　年報　第 29 号
94	筑紫野市歴史博物館	年報 14　（平成 24 年度）
95	筑波大学 芸術系 美術史研究室	シンポジウム アート・リソースの活用と大学付属美術館の設置
96	筑波大学芸術系	石井コレクション研究 3　藤田嗣治
97	帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告　XⅥ
98	帝塚山大学考古学研究所	シンポジウム報告書　那賀郡の軒瓦に見られる東アジアとの交流
99	帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報　Ⅸ
100	同志社大学歴史資料館	館報　第 17 号
101	東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum No.13 2014
102	東北大学大学院	博物館年報　平成 24 年度（2012）
103	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	年報 5　2013
104	道修町資料保存会	第 21 回道修町文化講演会
105	道修町資料保存会	道修町文書近世編　第三巻
106	富山大学和漢医薬学総合研究所	民族薬物資料館　生薬目録［Ⅱ］
107	長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター　年報　30
108	名古屋市科学館	名古屋市科学館紀要　第 40 号　2014
109	名古屋市博物館	研究紀要　第 37 巻　2014

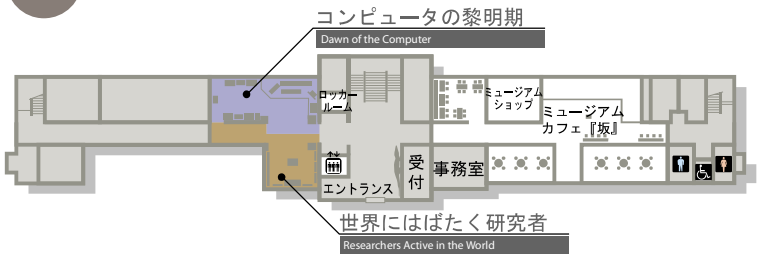
No.	寄贈者	書名
110	奈良大学博物館	企画展　鉄道と地図と地域変容
111	南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要　第 32 号
112	南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要　第 33 号
113	西宮市立郷土資料館	研究報告　第十集
114	西宮市立郷土資料館	西宮歴史調査団年報　2012 年度版
115	根津美術館	根津美術館　紀要　此君　第五号
116	根津美術館	根津美術館　紀要　此君　第六号
117	根津美術館	名画を切り、名器を継ぐ
118	阪急文化財団	阪急文化研究年報
119	姫路科学館	姫路科学館収蔵資料目録第 2 号
120	姫路科学館	姫路科学館収蔵資料目録第 3 号
121	姫路科学館	姫路科学館　収蔵資料目録　第 4 号
122	兵庫県立芸術文化センター	薄井憲二バレエ・コレクション　目録第 3 巻
123	広島大学総合博物館	広島大学総合博物館研究報告 5
124	広島大学総合博物館	広島大学総合博物館研究報告 6
125	福井県立恐竜博物館	スペイン奇跡の恐竜たち
126	福井県立歴史博物館	白山曼荼羅
127	福井県立歴史博物館	敦賀湊と三国湊
128	福井県立歴史博物館	福井県立歴史博物館紀要　第 11 号
129	仏教大学宗教文化ミュージアム	佛教大学宗教ミュージアム研究紀要　第 10 号
130	北海道大学総合博物館	Biodiversity and Biogeography of the Kuril Islands and Sakhalin　Volume 4
131	北海道大学総合博物館	学船　北海道大学　洋上のキャンパス　おしょろ丸
132	北海道大学総合博物館	美術の北大展
133	松代文化施設等管理事務所	真田宝物館収蔵品目録－茶器－
134	松代文化施設等管理事務所	松代＜付・年報＞第 27 号 (2013 年)
135	松代文化施設等管理事務所	松代藩の国絵図城下絵図町絵図
136	三重県総合博物館	開館記念企画第 1 弾　MieMu 発進！
137	三重県総合博物館	開館記念企画第 3 弾　でかいぞミエゾウ！
138	三重県総合博物館	開館記念企画第 4 弾　熊野
139	三重県総合博物館	開館記念企画第 5 弾　ふたりのウェディング事情
140	宮崎大学農学部附属農業博物館	宮崎大学農学部附属農業博物館年報　第 14 号　平成 24 年度
141	八尾市内文化財保存公開施設連携強化事業実行委員会	歴史都市八尾プロジェクト報告書
142	八尾市立歴史民俗資料館	館報　平成 25 年度
143	八尾市歴史民俗資料館	変わる寺内町像－発掘調査の成果から－
144	八尾市歴史民俗資料館	高安郡の総合的研究
145	山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学埋蔵文化財資料館年報―平成 22 年度―
146	立命館大学	立命館平和研究　立命館大学国際平和ミュージアム紀要　第 16 号
147	和歌山県立博物館	特別展　きのくにの城と館　―紀中の戦国史―
148	和歌山県立博物館	研究紀要　第 20 号　2014.3
149	和歌山市立博物館	和歌山市史研究 42
150	和歌山市立博物館	平成 25 年度　和歌山市立博物館館報
151	和歌山市立博物館	'14 夏季特別展　荘園の景観と絵図
152	和歌山市立博物館	特別展　江戸時代を観光しよう
153	和歌山市立博物館	研究紀要　第 29 号
154	和歌山市立博物館	和歌山市史研究 43
155	和歌山大学紀州経済史文化史研究所	紀州経済史文化史研究所紀要　第 35 号
156	国土交通省関東地方整備局　長野県埋蔵文化財センター	中部横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 5
157	国土交通省関東地方整備局　長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化センター　発掘調査報告書 105　佐久市周防畑遺跡群

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

「知」を軸に人・モノ・情報が出会い、交流し、新たな「知」の創造を目指す。

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館のご案内

1F



コンピュータの黎明期 Dawn of the Computer

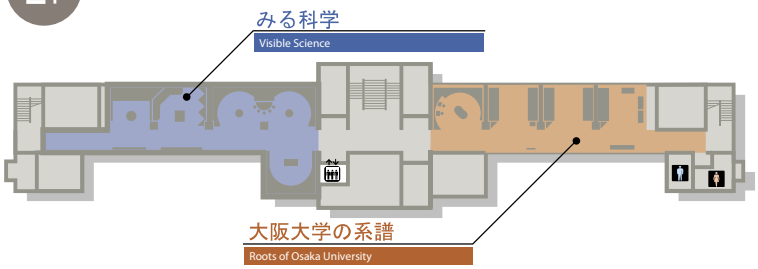
阪大では、第二次世界大戦後まもなく真空管式コンピュータの研究と試作を始めました。その当時誕生したばかりの真空管式コンピュータと、時代の先駆を担った研究者たちを紹介しています。

世界にはばたく研究者 Researchers Active in the World

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹が、中間子論を着想した大阪大学物理学教室。当時、日本の科学の中心といわれた理学部の自由な研究環境、そこに関わりのある様々な研究者を紹介しています。

ミュージアムカフェ「坂」 Museum Café「SAKA」

2F



みる科学 Visible Science

光学顕微鏡、電子顕微鏡、超高圧電子顕微鏡のしくみや、細胞より小さい分子の構造や、仕組みを明らかにするX線構造解析などの技術と、それらを利用した研究の一端を紹介しています。

大阪大学の系譜 Roots of Osaka University

かつての懐徳堂、適塾といった大坂市民の学問からの流れを継承し、今日まで受け継がれてきた大阪大学。その学問や研究活動と、社会との関わりの歴史を紹介しています。

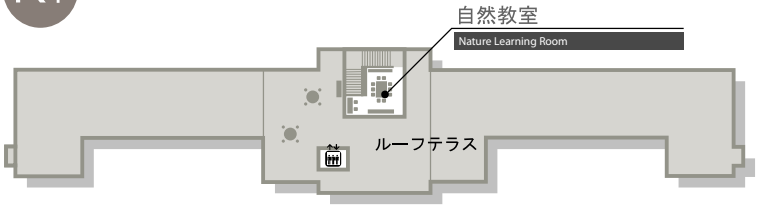
3F



待兼山に学ぶ Learning from Machikaneyama

阪大豊中キャンパスが位置する待兼山。古代の生物や、地形の変遷から、現在の豊かな自然の中で棲息する生き物の営みまで、地域に根ざしその変化を解明する研究を紹介しています。

RF



自然教室＆ルーフテラス Nature Learning Room

阪大キャンパスは豊中、吹田共に自然がいっぱいです。自然教室内に設置されたPCでは「阪大キャンパスに咲く花」を検索することができます。また、ルーフテラスに出れば背後の待兼山の息吹を感じることができます。

Museum of Osaka University

編集後記

2014 年は当館を代表する収蔵品であるマチカネワニ化石が 1964 年に豊中キャンパスの理学部工事現場で発掘されてから 50 年の記念の年で、4 月にマチカネワニをモチーフにしたワニ博士が大阪大学の公式マスコットキャラクターに認定されたのをはじめ、当館でも夏期特集展覧会「奇跡の古代鰐 マチカネワニ ー発見 50 年の軌跡ー」を開催しました。10 月には国の登録記念物として登録される嬉しい知らせもあり、11 月に大阪大学シンポジウム「マチカネワニ･サミット 2014」を企画し、さらにかんさい･大学ミュージアムネットワークのスタンプラリー記念品にシールを配布するなど、マチカネワニ尽くしの一年でした。これらが実現したのは多くの方のご助力の賜物であり、そのおかげで認知度もアップしたのではないかと期待しています。さらに資料関連では「第一号磁界型電子顕微鏡および関連資料」も「分析機器・科学機器遺産」に認定されました。こういった貴重な資料の実物をぜひ一度足を運んで見ていただければと思います。

（文責　宮久保　圭祐）

大阪大学総合学術博物館
年報　2014

2015 年 8 月発行

編集・発行　大阪大学総合学術博物館
〒 560-0043　豊中市待兼山町 1 － 13

印　　刷　株式会社　セイエイ印刷
〒 536-0016　大阪市城東区蒲生 2 － 10 － 33

表紙デザイン　辻村紀子（アトリエツジムラ）



MOU
Museum of Osaka University